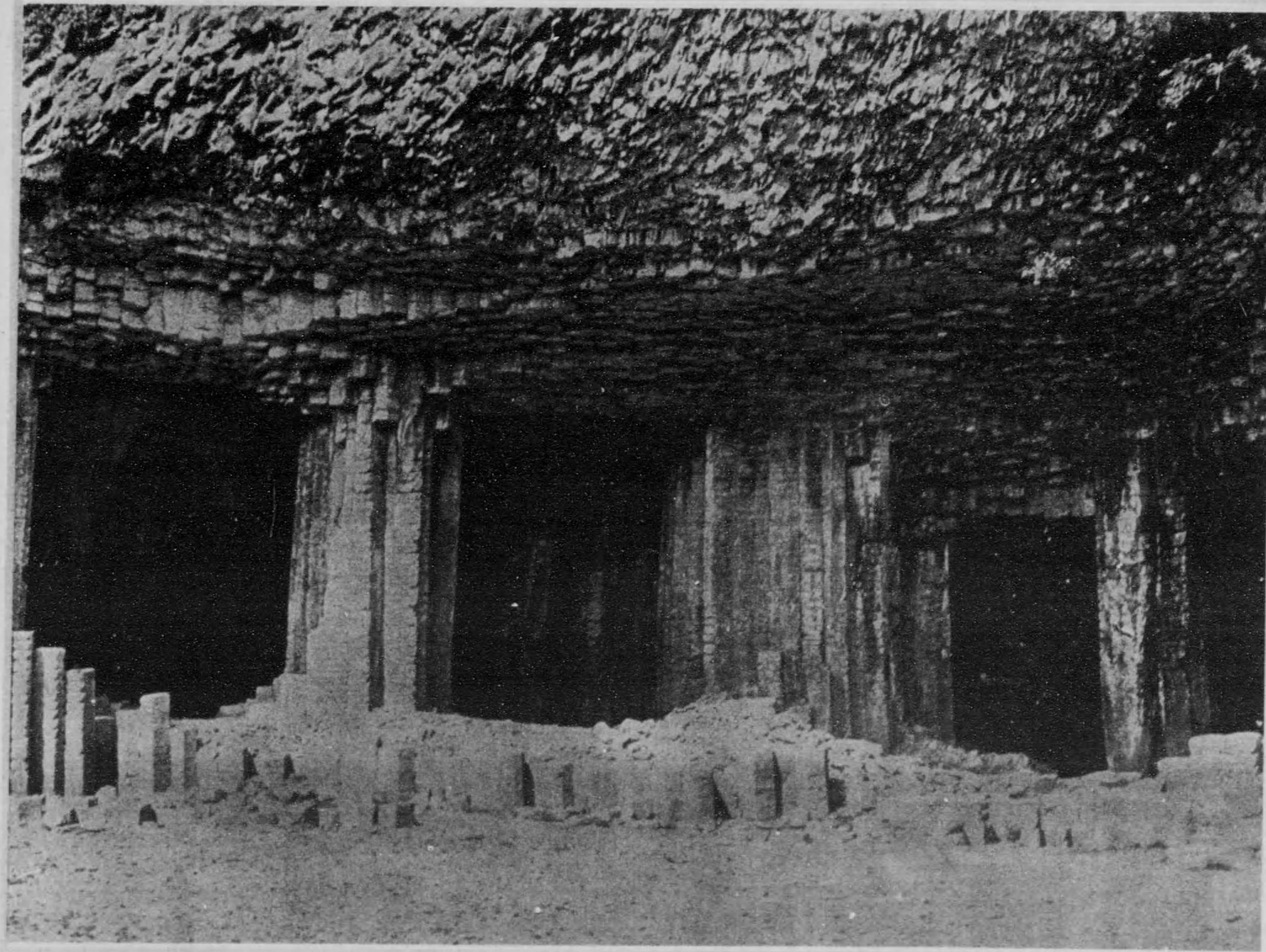


洞 武 玄



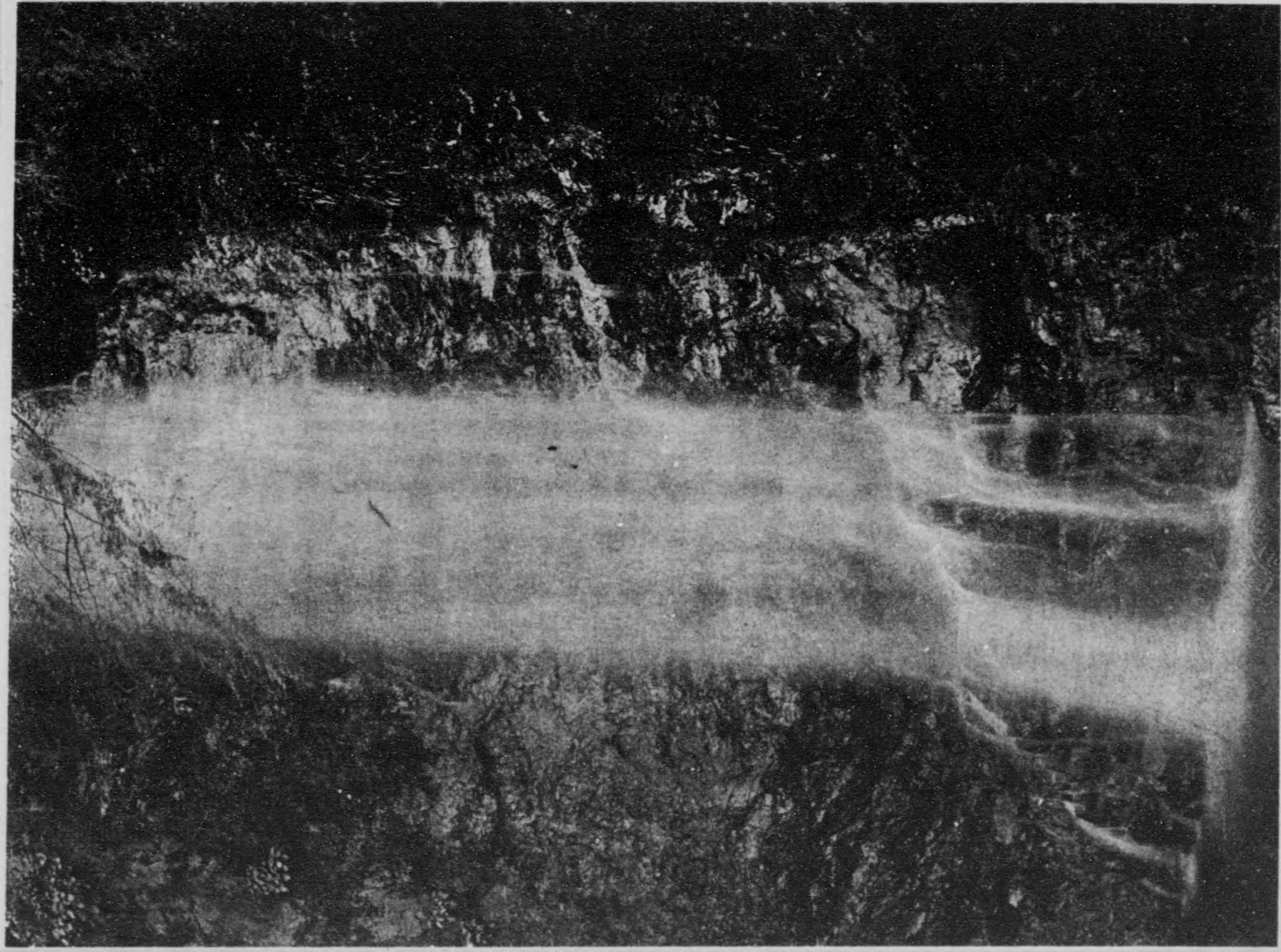
Genbudo (Cave) Tajima.

るもの幾何となく矗立し、此柱七八寸乃至一尺毎に破目ありて、自然扁平の切石をなせり、我邦火山に富むが故に、水成岩に  
 属する六方石の奇観は寡からずと雖、玄武洞の如きは、實に偉觀なり。野田笛浦の時に『龜文無三縱綫一萬柱如三龍石砥一偉哉造  
 物才、崑洞出三奇詭一把筆欲無言、天貌誰得擬』

兵庫縣城崎郡内川村に在り、こゝに玄武洞と稱する鐵道停車場あり、主として遊覽客の便に供ふ、洞は俚俗石山と呼ぶ、全山  
 悉く巖石より成る、其形柱の如く、堆積して山を成す、六角八角の石柱は竹を束ねたるが如くに、斜に山側に横はり、其狀恰  
 かも描ける玉簾の絲房の風に飄へるを見るが如し、又洞の前後左右、五角乃至八角の標柱形を成せる黒き堅石の長さ數十丈な

に就くや、以後毎年其事ありし夕に當り、海上人無くして、網を投ずる聲あり、里人爲に祠を建て、漁夫の幽魂を慰むと。  
 浦上の叢林に碑一基あり、阿漕塚の三字を刻す、其下芭蕉の句に『月の夜の何を阿古木に啼く千鳥』

大坂市の北方六里、豊能郡箕面村に在り、山は海拔千六百五十尺、古來紅葉の名所にして、府所屬の公園たり、山中に瀑布あり、所謂箕面の瀧にして、落下二百尺、飛沫雪と化し霧と散り、壯絶言ふばかりなし、瀑上の巖に白龍石、坐禪石、錫杖石等の名石あり、尙登ること六町餘にして奥の瀧あり、飛下八十尺、途



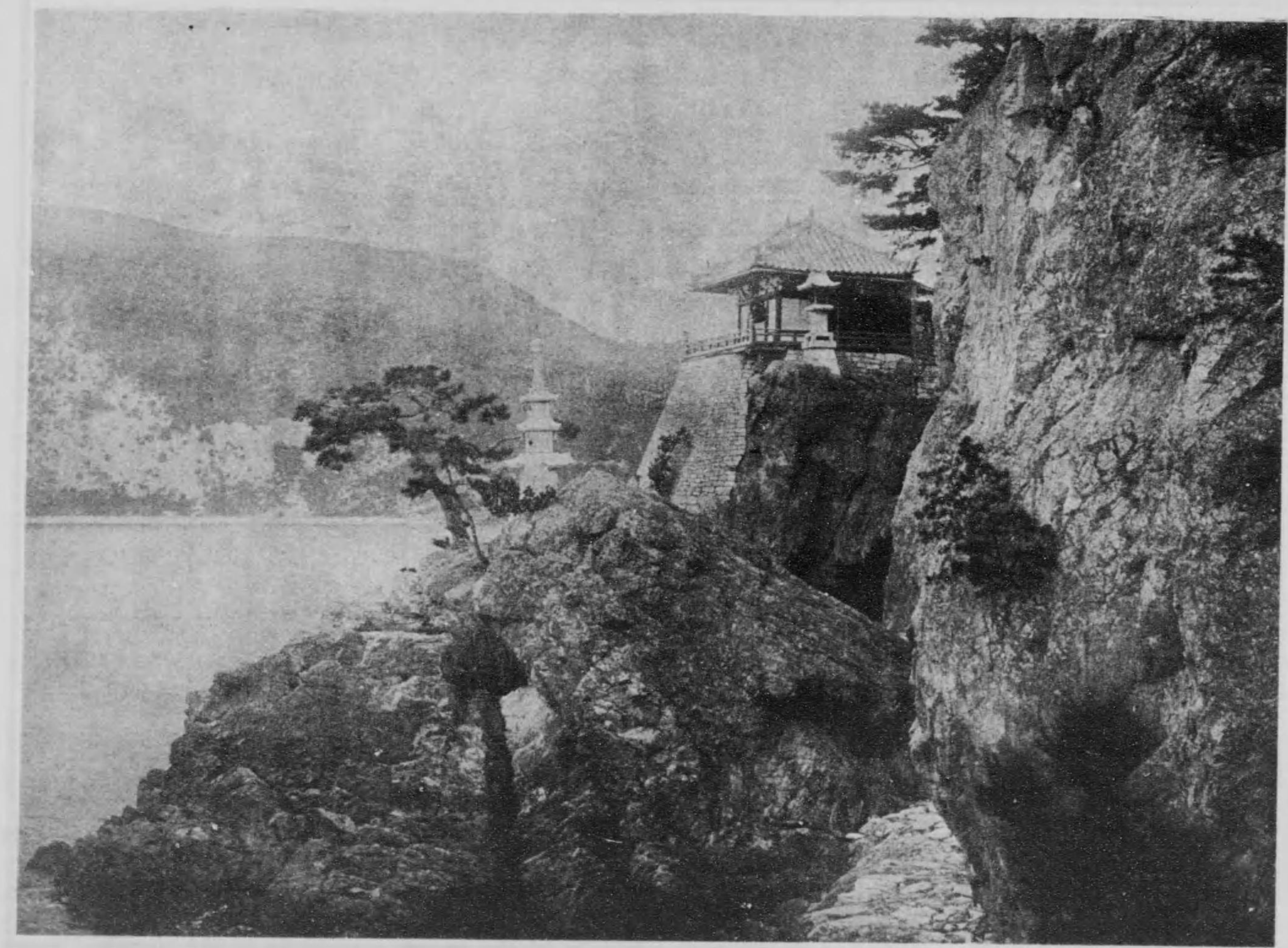
Minomo Fall, Settsu.

箕 面 の 瀧

中に唐人戻り巖と稱するあり、巨巖屹立して道を扼す、傳へ云ふ、昔唐使此に來り、險に恐れ、遂に其巖を擁めずして去れりと、園中特に注目すべきは動物園にして、其自然的なる生存状態は、遂かに東京の夫れを凌駕す、梅田驛より頻繁に電車往復す。樂悅巖の時に「界設香松墨石瀧、畫夫漫作嵐山看、却產白雲三十丈、幾畫天風六月寒」

山陽本線福山驛より瀬の津に沿ひ、西に迂迴すること一里にして、一岬海上に突出する處あり、之を阿伏兔の岬と云ふ、口無の瀬戸を隔て、田島と相對す、瀬戸は濶き二鏈にして、潮流頗る急なり、峭巖の上に大悲閣あり、之を阿伏兔觀音と

阿伏兔觀音

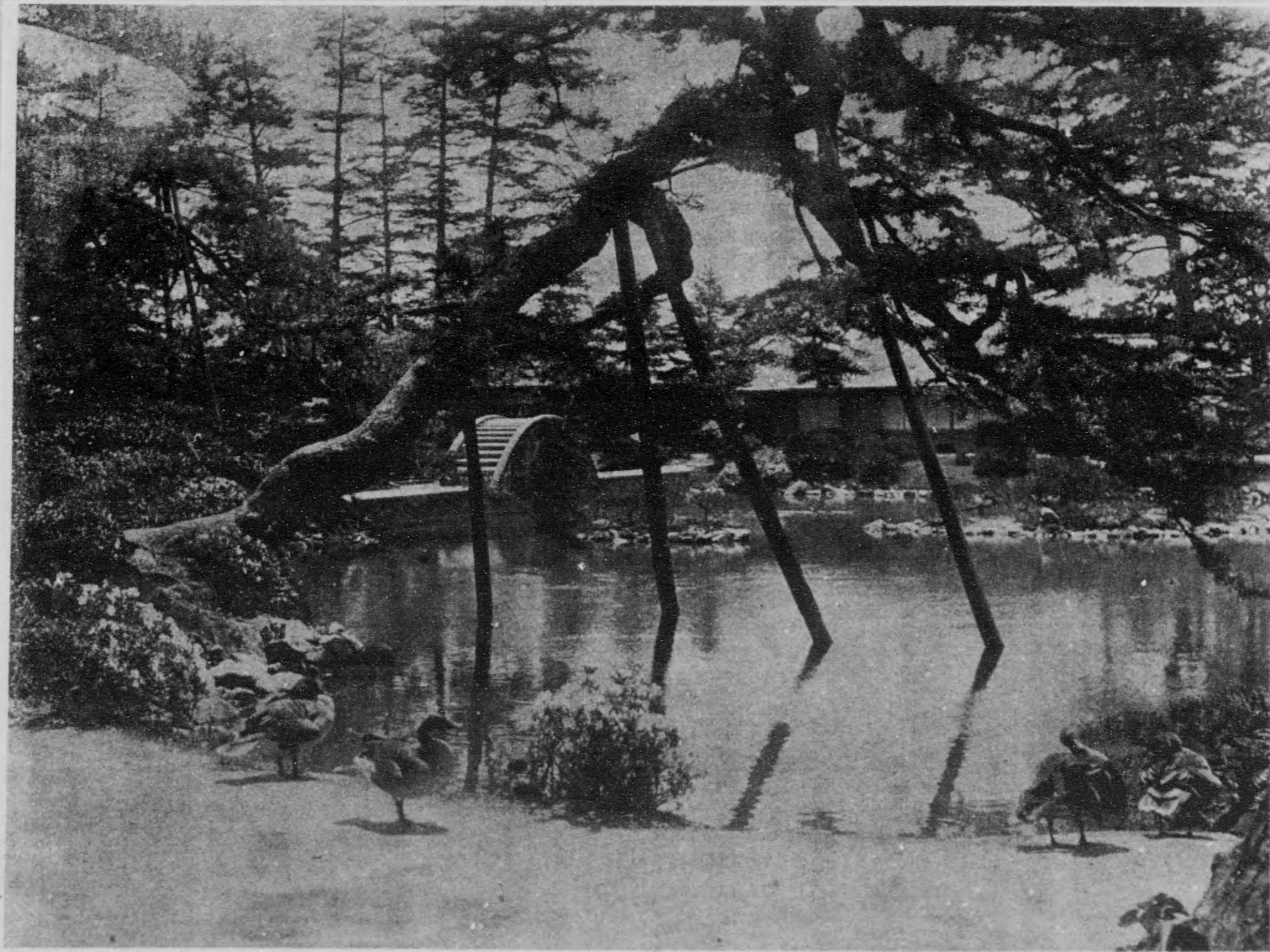


山陽本線福山驛より瀬の津に沿ひ、西に迂廻すること一里にして、一岬海上に突出する處あり、之を阿伏兔の岬と云ふ、口無の瀬戸を隔て、田島と相對す、瀬戸は濶き二鎰にして、潮流頗る急なり、峭巖の上に大悲閣あり、之を阿伏兔觀音と

云ふ、水濱より磴道を開き、廊を造りて之を蔽ふ、廊の中程に鐘樓あり、閣は潮より高きこと九十二尺、欄に倚りて下瞰すれば海山の眺望奇絶身は空外に懸るが如し。

Kannon Temple Abuto, Bingo.

廣島淺野泉邸



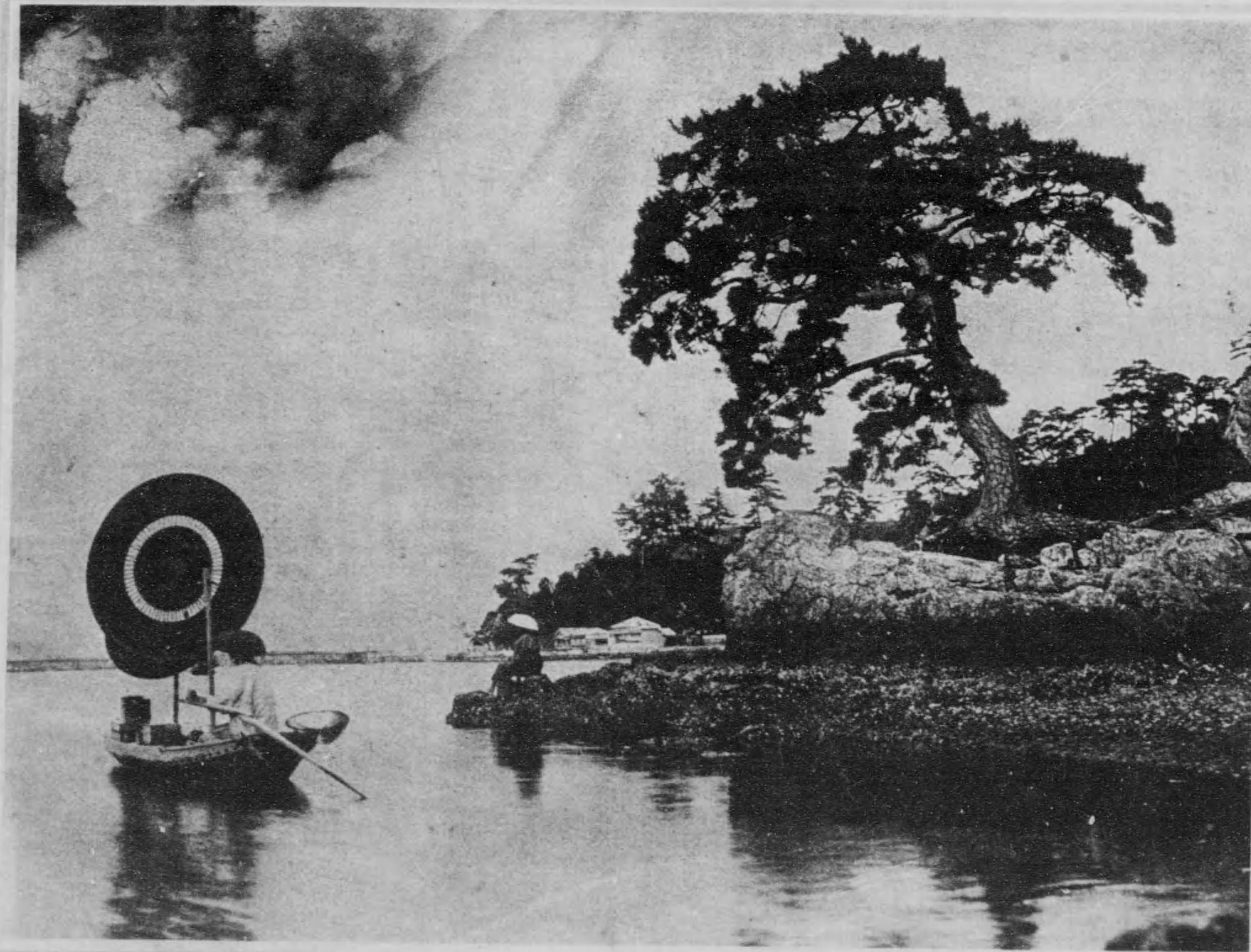
圖は藝州廣島なる淺野侯庭園の泉邸にして、邸は其名の命ずる如く、清澄の大泉水を擁し、人工に依る泉石の配置妙を極め、附近に於ける蒼鬱たる樹木は、問はずして歴史の古きを語り、中國名所の一に數へらる。今や季秋に入りて其色漸く

甜ならんとする時、天高く水清く、氣澄みて靜寂なる邸内の紅葉、落寞たる秋風に誘はれて、一片二片泉面に漂ふ態など、捨て難き風情を示し、飽くを知らざる眺めなり。

Sentei Asanos at Hiroshima.

土佐浦戸灣内の北方に狭少なる深人あり、之を吸江と云ふ、土佐第一の勝地にして、古より吸江十景の稱あり、東岸を五台山と云ひ頂上に僧行基の開きたる竹林寺の古刹あり、吸江の南邊に突出せる一岬あり、土俗法師鼻と稱ぶ、十景の其一

土佐吸江の泊船岸



泊船岸即ち是なり、高知市街より僅に一水を隔てるのみにして、風光最も明媚なる地點なり、此地に特有の傘帆あり、蛇の目傘に涼風を孕まして悠々小舟を遣るあたり、附近の大自然と共に、見るから爽快を覺ゆ。

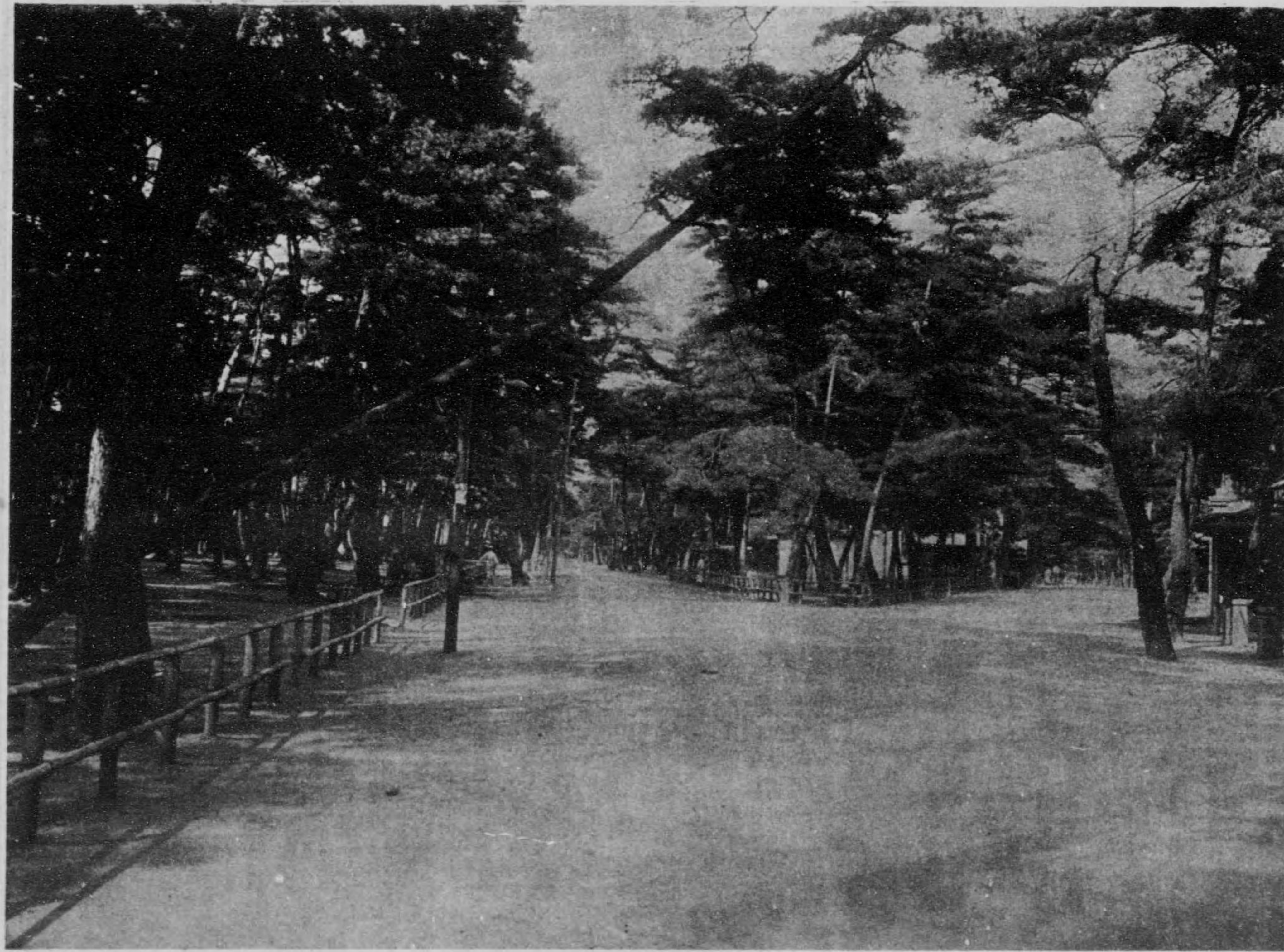
土佐浦戸灣内の北方に狭少なる深入あり、之を吸江と云ふ、土佐第一の勝地にして、古より吸江十景の稱あり、東岸を五台山と云ひ頂上に僧行基の開きたる竹林寺の古刹あり、吸江の南邊に突出せる一岬あり、土俗法師鼻と稱ぶ、十景の其一

醜ならんとする時、天高く水清く、氣澄みて静寂なる邸内の紅葉、落葉たる秋風に誘はれて、一片二片泉面に漂ふ態など、捨て難き風情を示し、飽くを知らざる眺めなり。

Hakusengan at Kyukō, Tōsa.

千代の松原

鹿兒島本線博多の名勝にして、東多々良川の邊より箱崎を経て吉塚の西、即ち博多市外に至る一里餘の砂濱にして、満目着松參差として、颯々の聲空に絶ゆることなく、松鉞地に敷いて、砂の軟かなる、恰も蒲團の上を歩むが如く、東は香椎

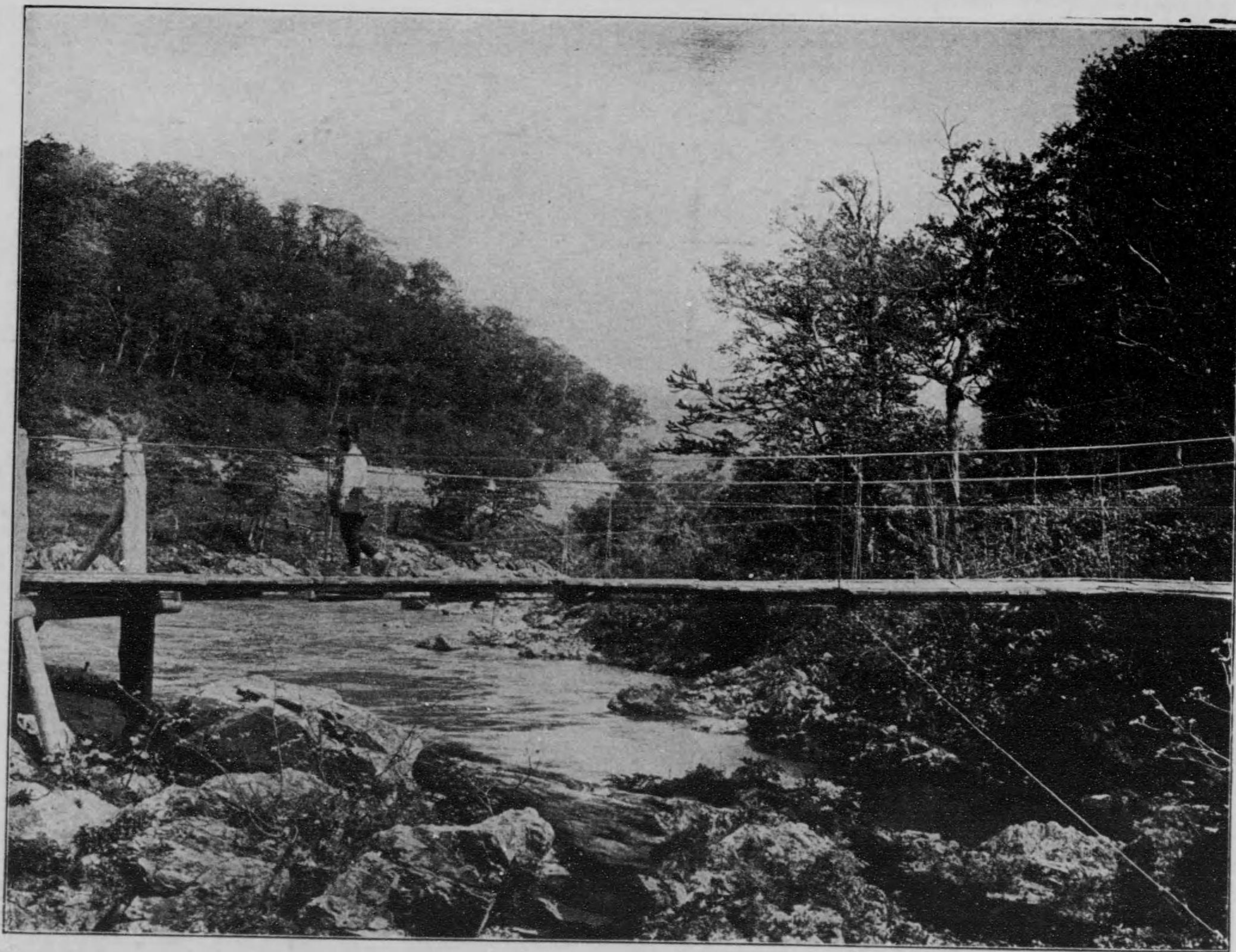


灣に隣り、北は那多濱、志賀島長く連り、荒津の浦山近く、能古の浦、唐泊まで遙に見え渡りて、風光の佳絶筆紙に盡し難し、此松林中に、箱崎八幡宮、崇福寺あり、近時福岡市東公園として、經營せられ、元寇記念館、龜山天皇、僧日蓮の銅像あり、遊子暫く元寇の古に返らん。

石狩國上川郡鷹栖村に在り、則ち彼の有名なる石狩平原より、上川平原に通ずる隘峽の勝地にして、巉岩屏障の如く立ち、左右山迫りて石狩川其間を奔流し、此に匯して一大深淵を成す、試みに岸に佇み巖上に踞して目の之くに任かせば、山光水色自然の妙

Chiyo-no Matsubara (Pine-grove), Chikuzen.

神 居 古 譚



に驚かんのみ、仙臺寔に稀有に屬す、停車場を距る六町餘の河岸に鑛泉あり、攝氏三十四度、火力を用ゐて入浴に供せり、旅館あり欄に倚りて展望を恣にするべし、因に『カムイコタン』は土語の『恐ろしき』又は『廣き』又は『威嚴ある地』の義なりとぞ。

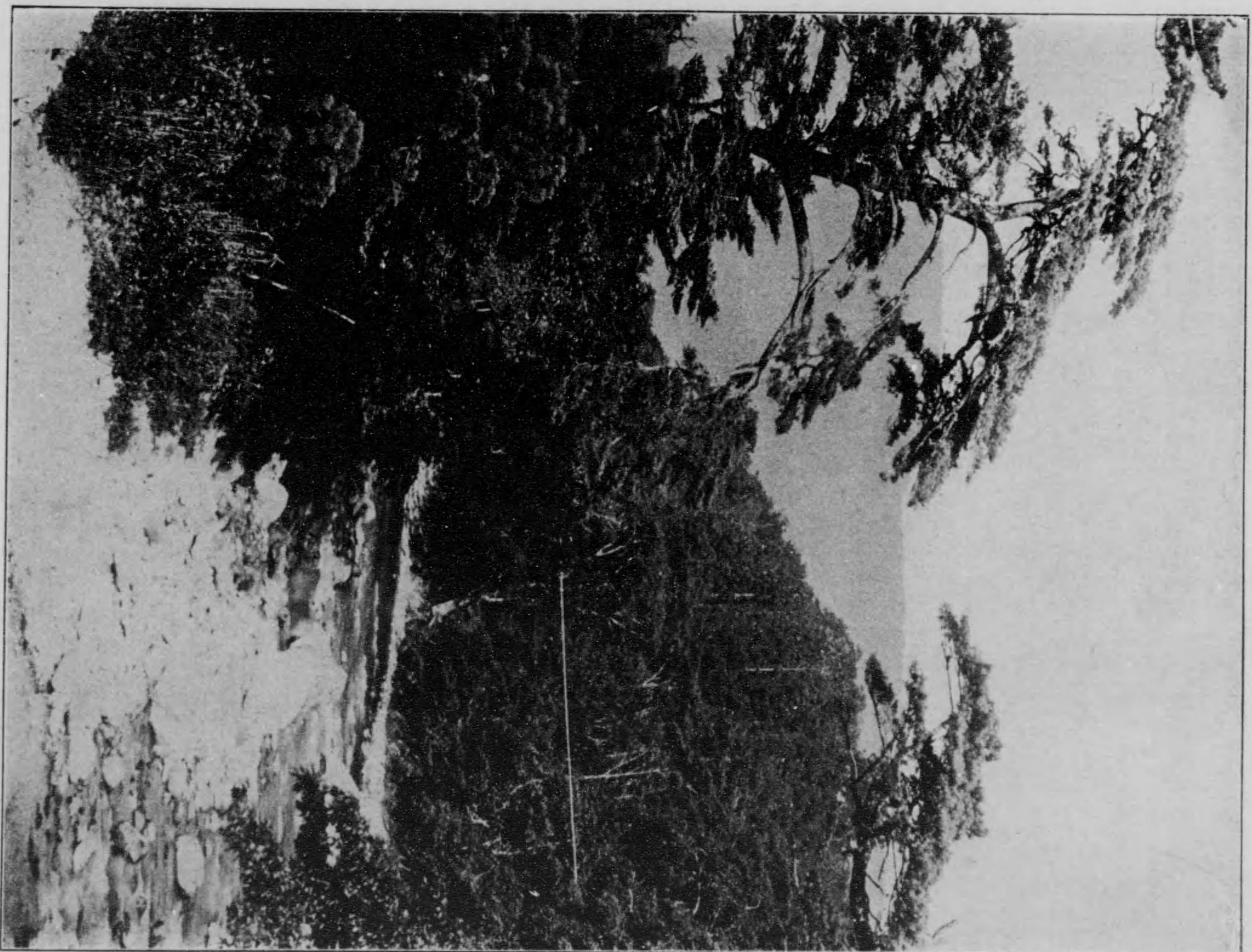
石狩國上川郡鷹栖村に在り、則ち彼の有名なる石狩平原より、上川平原に通ずる隘峽の勝地にして巖屏障の如く立ち、左右山迫りて石狩川其間を奔流し、此に匯して一大深淵を成す、試みに岸に佇み巖上に踞して目の之くに任かせば、山光水色自然の妙

灣に隣り、北は那多濱、志賀島長く連り、荒津の浦山近く、能古の浦、唐泊まで遙に見え渡りて、風光の佳絶筆紙に盡し難し、此松林中に、箱崎八幡宮、崇福寺あり、近時福岡市東公園として、經營せられ、元寇記念館、龜山天皇、僧日蓮の銅像あり、遊子暫く元寇の古に返らん。

An indescribably fine view of Kamui-Kotan, Hokkaido.

秋の原鹽

東北本線西那須野驛より五里、途次櫻花を以て名高き鳥ヶ森あり、道路平坦荒蕪たる那須野篠原を過ぎて關谷村迄馬車の便あり、村の盡頭入勝橋を渡りて終に出に入る、白羽坂を離へ、回懸橋に三十尺の飛瀑をふみて、山中の景初めて奇たり、之より遡れば水あり、水あれば必ず橋あり、全徑にして三十橋、山われ



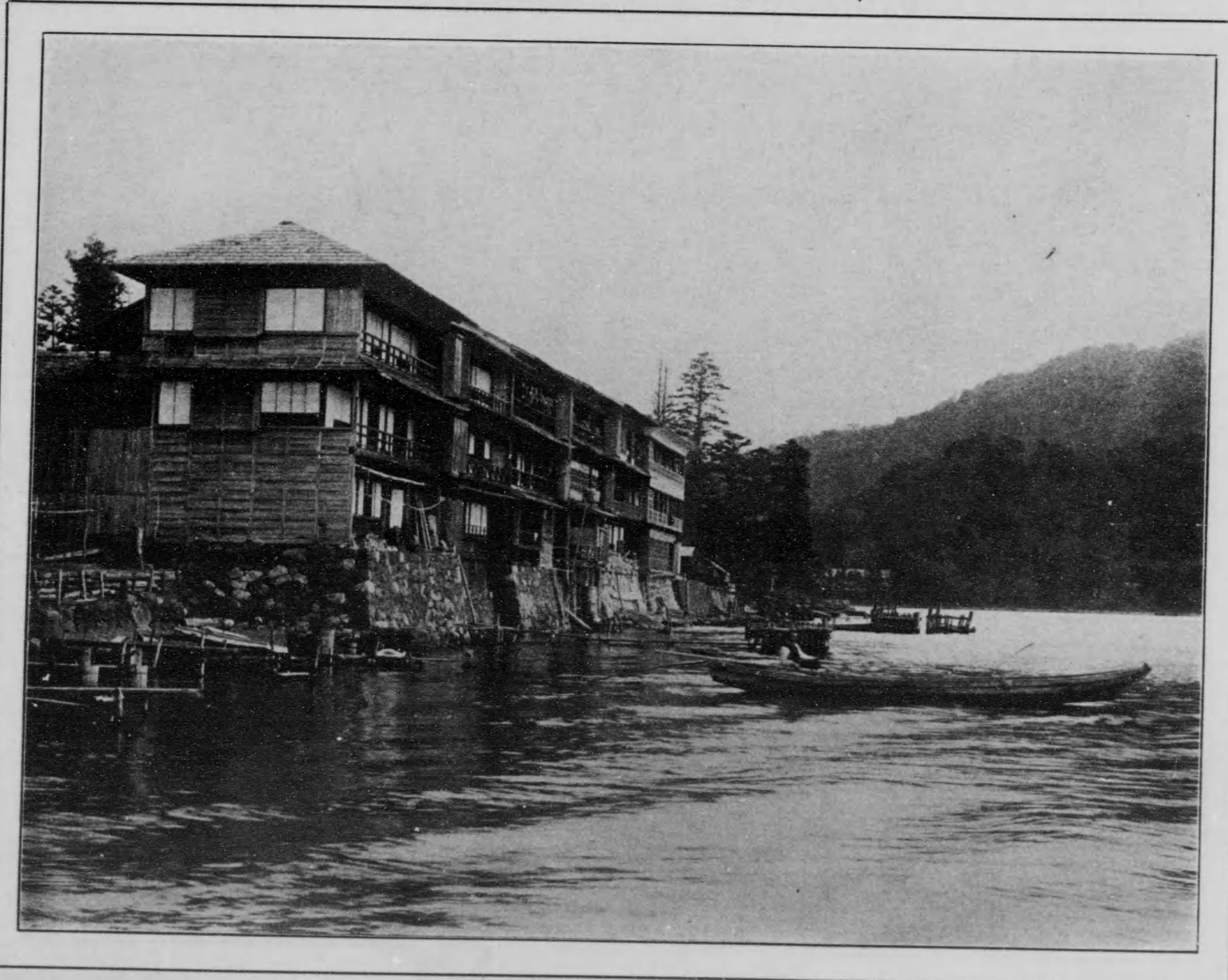
The autumn scenery at Shiobara.

ば巖あり、巖あれば必ず瀑あり、全嶺にして七十瀑、地あれば泉あり、泉あれば必ず熱あり、全村にして四十五湯、此地十二勝、十六名所、七不思議、一々探り得べくもあらず、圖は福渡戸附近に於ける溪澗の秋色を示す。

日光線の終點日光驛より四里、華嚴よりは十敷町、東西二里、南北三十町、水光一碧拭へる鏡の如く、倒涌の四山、浮游の閑雲、洗洋として瀟も及ばず、圖は中宮祠の岸にして、岸に沿へる建物は旅館なり、之より北岸湯元温泉に通ず、道に戰場ヶ



中 禪 寺 湖 畔



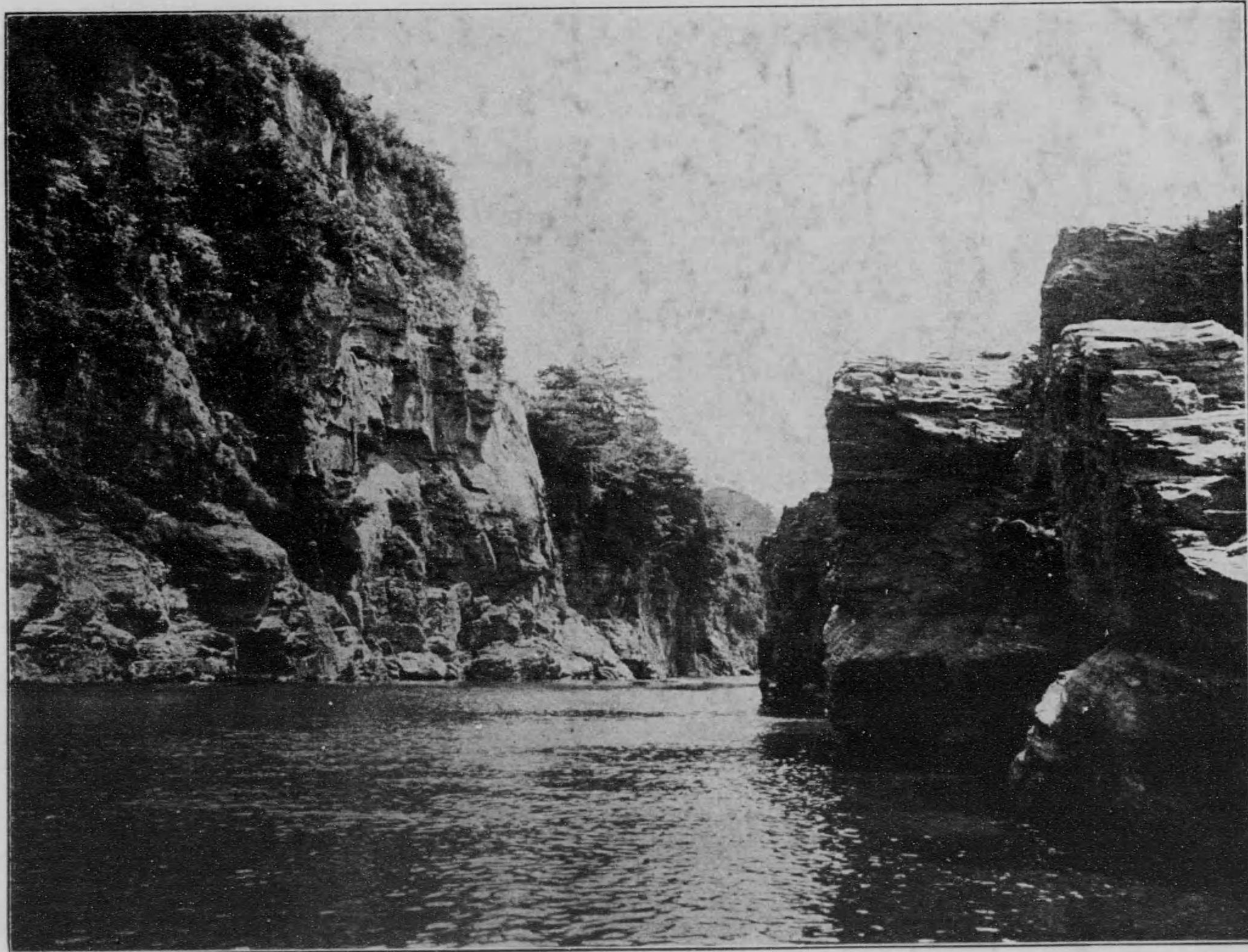
Chuzenji Lake, Nikko.

原あり、原は夏期に至りて漸く春の時氣を得、數百種の花一時に開き、秋は又滿目錦を織りて蟲の音悲しき詩境なり、湖を訪ふ者、此原に一日の清遊を試むるも妙なるべし。

日光線の終點日光驛より四里、華嚴よりは十數町、東西二里、南北三十町、水光一碧拭へる鏡の如く、倒瀆の四山、浮游の閑雲、洗洋として畫も及ばず、圖は中宮祠の岸にして、岸に沿へる建物は旅館なり、之より北岸湯元温泉に通ず、道に戰場ヶ

The autumn scenery at Shiobara.

長 瀬 (一 名 秩 父 赤 壁)



View of Nagatoro, Chichibu, Musashi.

武州熊谷驛より分岐して上武線なる寶登山驛の附近に在り、實に武蔵野の異彩たり、世に秩父赤壁と稱するは即ち此形勝にして曳杖の客絶えず、圖は其一部を示すものなるが、奇巖怪石相迫り、或は劍の如く、或は雷に裂けたる巨木の一片とも見え、

峡間清流を湛えて倒瀆の景、寧ろ慄然たらしむるの神境なり、今や季秋に入りて景趣更に掬すべし。

橋 猿

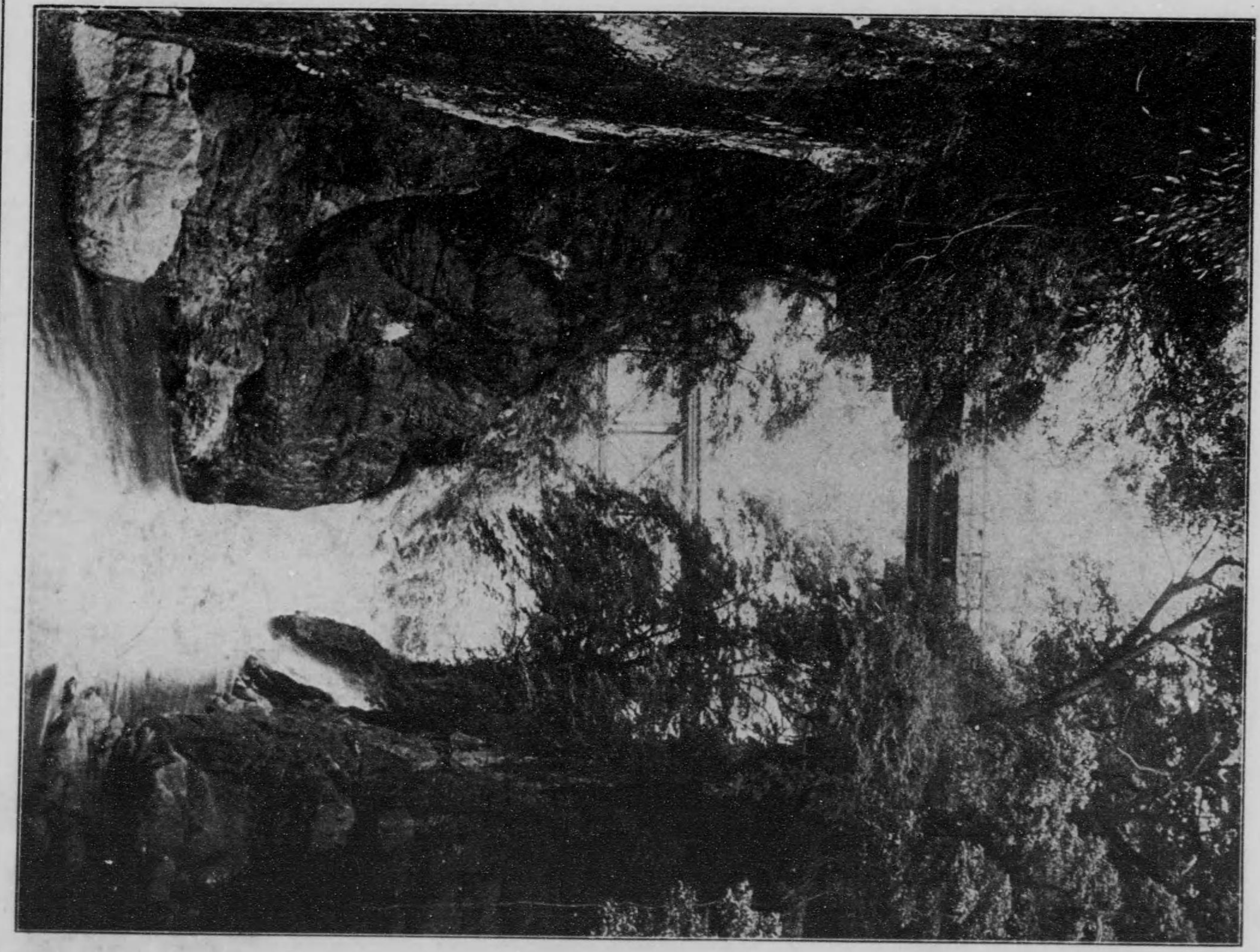
而も其時代の

馬人の水上  
長き十七間



峡間清流を流えて倒涌の景、寧ろ慄然たらしむるの神境なり、今や季秋に入りて景趣更に拘すべし。

橋 猿

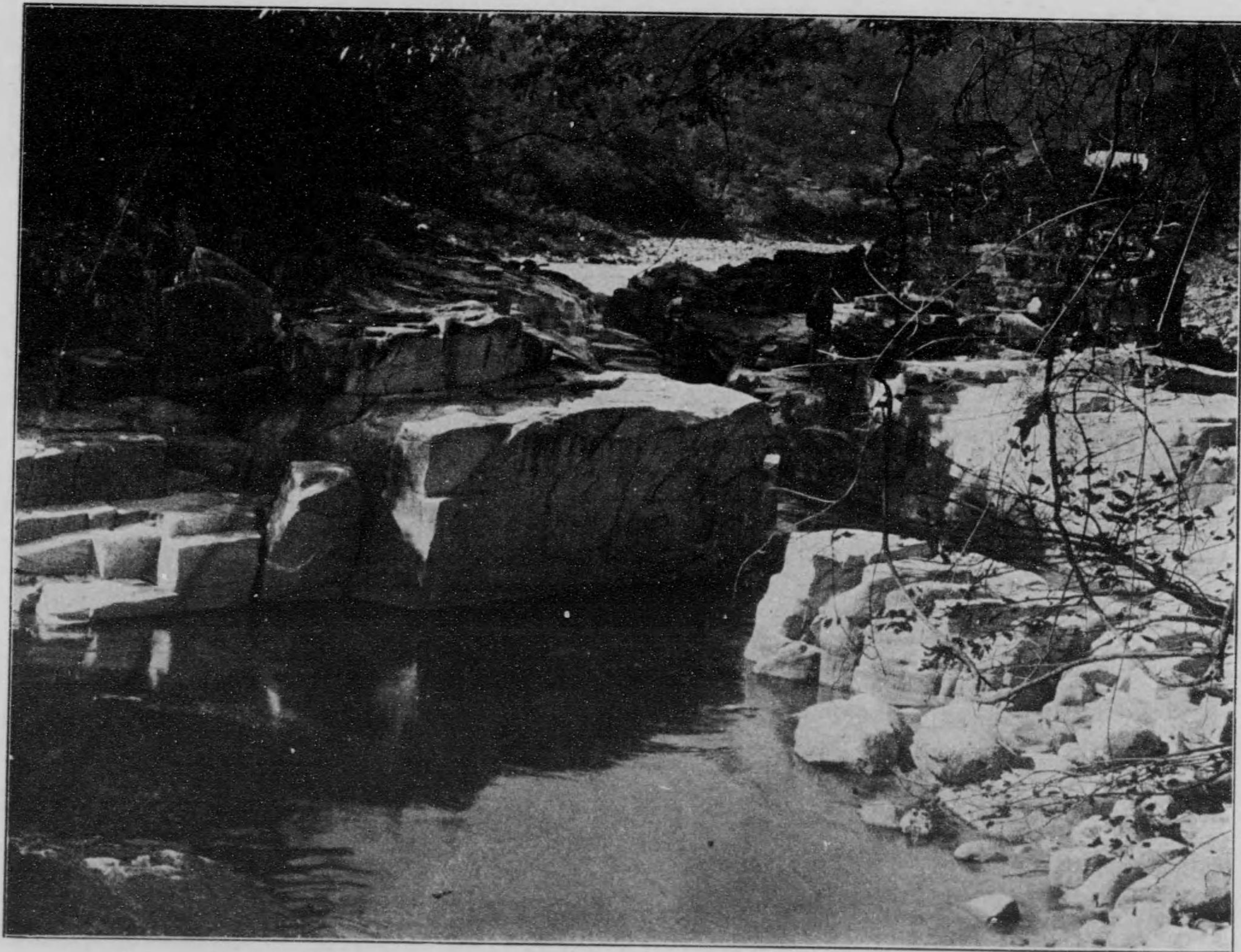


馬入の水上、桂川の清流、遠く群山の翠を載せ来つて、猿橋町を横断する處、兩岸屹立すること數百尺、水石相衝つて玉屑を吐く、一橋飛ぶが如く其上に懸る、長さ十七間、橋下一柱の支ふるものなく、兩端を穿りて礎を置き、横きまに木を加へ、互に層疊して、寸必延べ尺を過り、以て架外に台が奇巧眞に驚くべし。

而も其時代の土木事業を想像するに於て尙感ず、中央本線猿橋驛より九町、峡中山水の勝實に之を以て首とす。

An indescribably fine view of Enkyo, Kai.

床の覺寢



中央西線福島驛を距る二里半、長野縣西筑摩郡駒根村に在り、木曾川の兩岸相逼りて碧潭を成し、花崗石の巨巖崛起錯綜して、千態萬狀を極め、西岸には屏風岩、硯岩、烏帽子岩、蓮華岩、釜岩、組岩、浦島釣舟岩あり、東岸には腰掛石、象岩、獅子石、

床石、葛籠石等ありて、木曾山中の奇勝たり。近衛家熙の歌に『谷川の音には夢もむすはしを寢覺の床と誰かなつけけん』又士朗の句に『春の月寢覺の里を通りけり』

An indescribably fine view of Nezamenotoko at Kiso, Shinano.

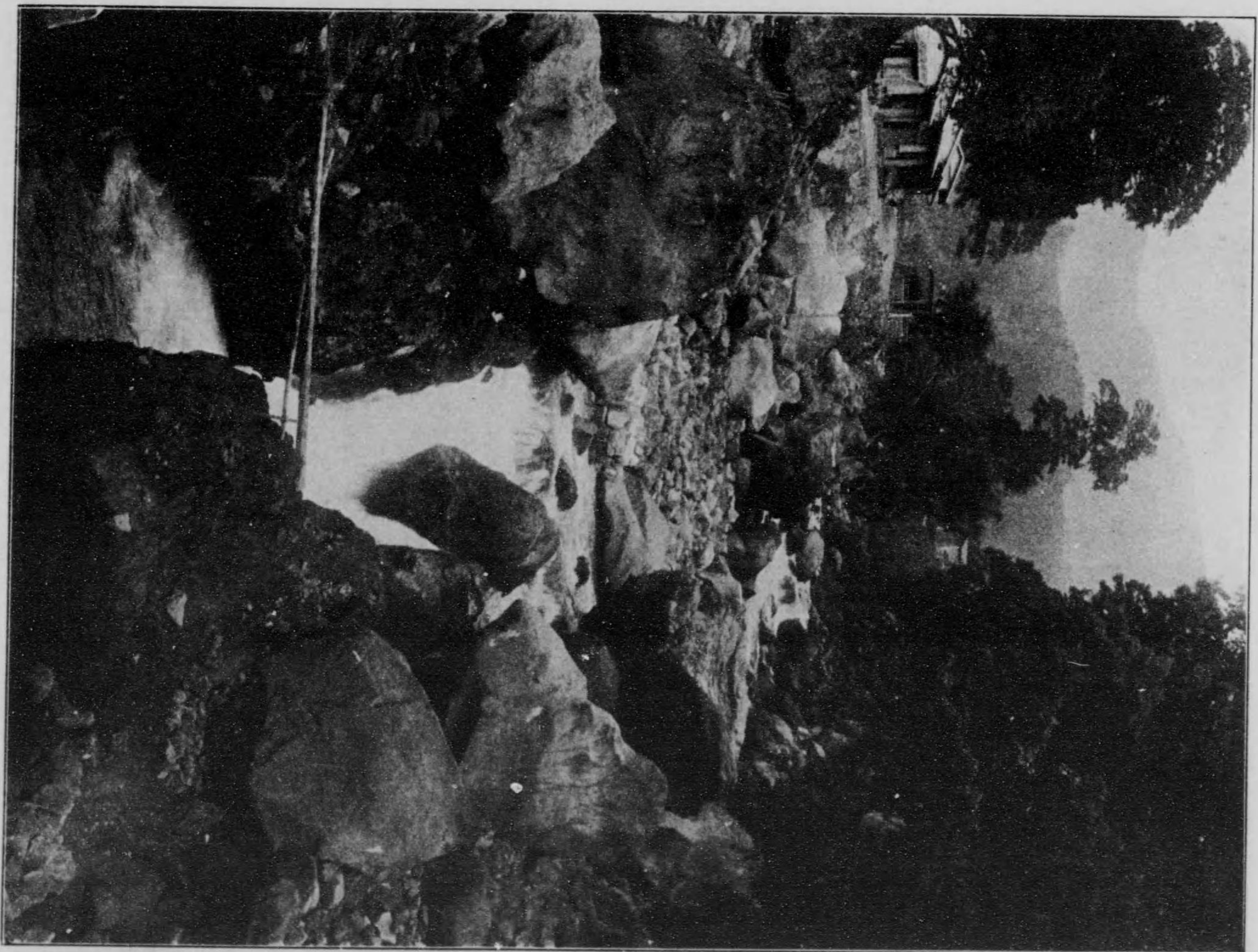
(川野城宮) 秋色の根箱

此地奇勝の  
早川

東海

床石、葛籠石等ありて、木曾山中の奇勝なり。近衛家熙の歌に『谷川の音には夢もむすはしを寝覺の床と誰かなつけけん』又  
士朗の句に『春の月寝覺の里を通りけり』

(川野城宮) 色秋の根箱



東海の別天地なる箱根の景趣は、其の温泉と共に古來人口に膾炙するを以て茲に贅言す。圖は其の名所宮城野川の一部にして、嬖子、仙石原温泉附近に在り、

The Miyagino River, Hakone.

此地蕎麥の名物あり、一度口にすれば其味忘るべからずと云ふ、宮城野の溪流其間を流れ秋色亦變すべし。因に底倉温泉附近を流る、蛇骨川と宮城野川と會して早川となり、小田原に至りて海に注ぐ。

山 捨 姨

長野縣更科八幡村に在り、中央西線坂城驛より一里、著明なる觀月の勝處にして山は冠著山の一小支峰なり、山上に姥石と稱する巨巖屹立す、高五丈餘、横十間餘、傍に桂の樹あり、又姥石に倚りて草庵あり、之を滿月殿と云ひ、其庫裡を月見堂と云



Obasuteyama Hill, Shinano.

ふ、欄を設けて客の觀月に便す、仲秋雲なき夜、一團の名月水田に映じて、所謂田毎の月なるものを現はす、景の奇絶筆紙に盡さず。宗祇の碑に『あひにあひぬ姨捨山の秋の月』芭蕉の碑に『儂や姥ひとり泣く月の友』

京都の名刹清水寺にして、清水坂上にあり、山に倚り、河を瞰し、勝景の地を占む、法相宗にして、坂上田村麿の創立に係り、今の本堂は、寛永十年徳川家の再建せる處、特別保護建造物たり、地勢高燥にして幽靜なり、瀧あり音羽の瀧と云ふ、

京 都 清 水 寺



The Kiyomizu Temple. Kyoto.

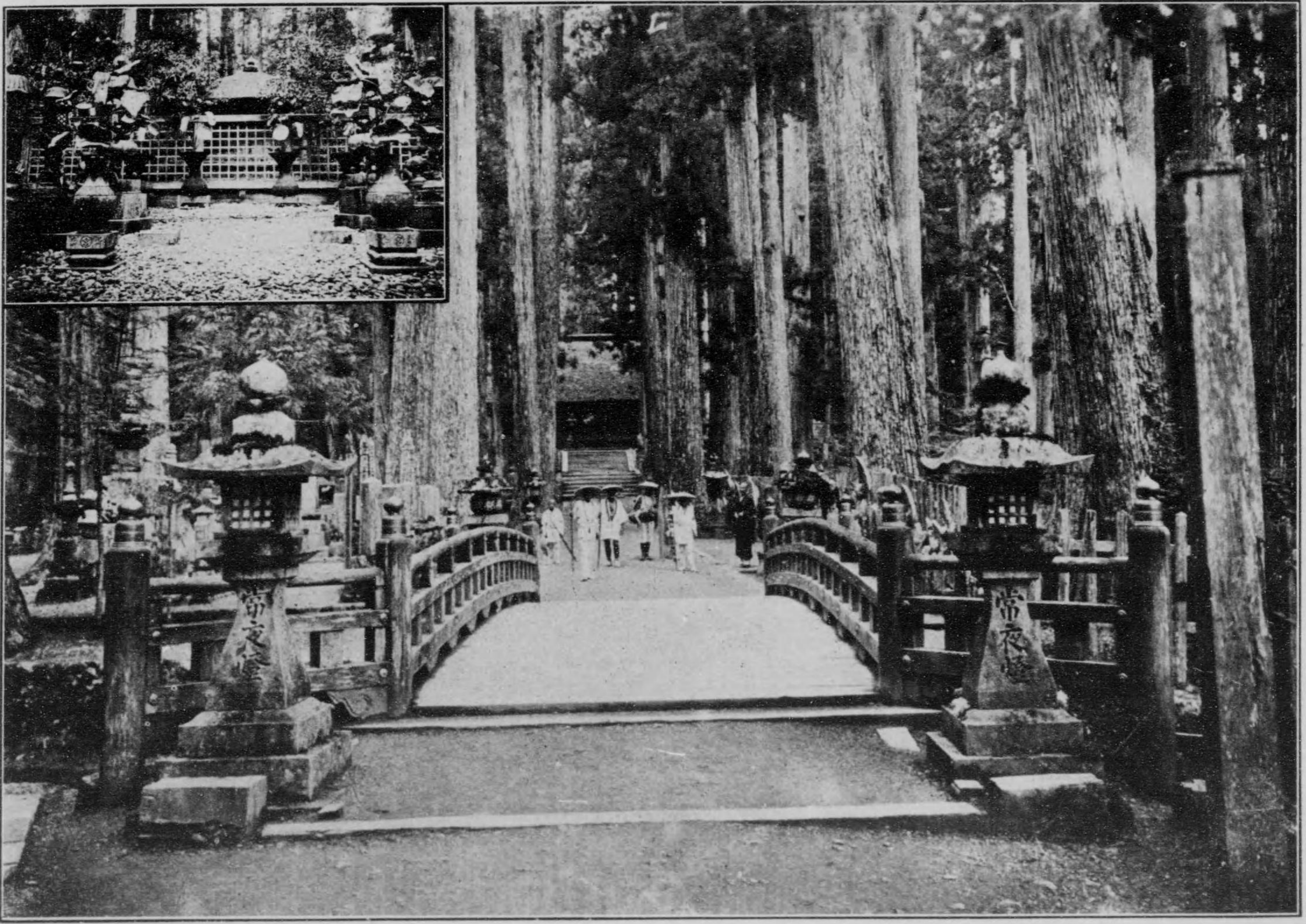
所謂清水の舞臺と共に著明なり。本圖は其の全景を一眸に集めしものにて、此位置の撮影は坊間甚多からず

京都の名刹清水寺にして、清水坂上にあり、山に倚り、河を瞰し、勝景の地を占む、法相宗にして、坂上田村麿の創立に係り、今の本堂は、寛永十年徳川家の再建せる處、特別保護建造物たり、地勢高燥にして幽靜なり、瀧あり音羽の瀧と云ふ、

ふ、欄を設けて客の觀月に便す、仲秋雲なき夜、一團の名月水田に映じて、所謂田毎の月なるものを現はす、景の奇絶筆紙に盡さず。宗祇の碑に『あひにあひぬ姨捨山の秋の月』芭蕉の碑に『佛や姥ひとり泣く月の友』

高野山

前は中尾崎に臨み、後は五の室谷に至り、東は覺王ヶ澤を控え、西は阿彌陀ヶ崎を踰えて大學林に跨る、之れ高野山金剛峰寺の地域なり、主殿の廣袤東西三十間、南北三十五間、弘法大師を本尊とす、眞言宗の總本山として、宗務所を設く、同寺は高僧空海が眞言の正宗を天下に弘めし根據地にして、又入寂の地なり、大圖は奥の院御廟橋より燈籠堂を望む處、古昔寺域七里



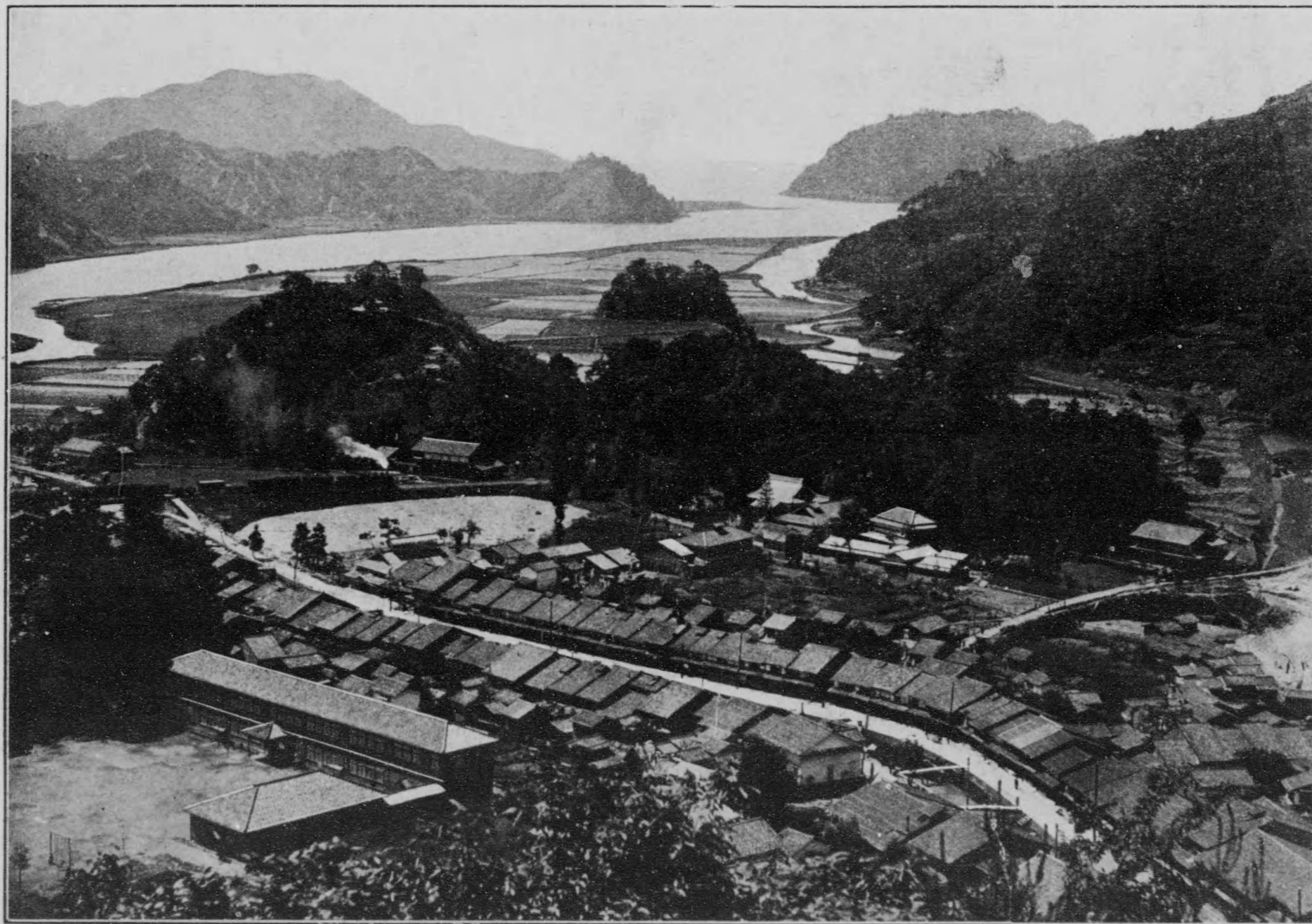
四方に亘り、千餘の僧坊ありしと云ふ。小圖は同じく奥の院弘法大師御廟なり、因に豐臣秀次が自刃したるは此寺にして、其室を柳の間と稱し、今尙之を存す。

但馬國城崎町に在り、山陰第一の温泉場として其名を知らる、地は三方山を繞らし、圓山川油然として市街の一端を流れ、山水の眺望自から具はり、殊に秋季は木々の緑も紅葉して、澄める水との配合極めて妙なり。泉源は町内七ヶ所に在り、泉質は鹽類泉にして、無色透明、而も新元素ラザウム、エマナチオンを多量に含有し、醫治効能顯著なり、今此温泉に就き

The Koyasan (Temple), Kii.



但馬城崎温泉



The Kinozaki Hot-spring, Tajima.

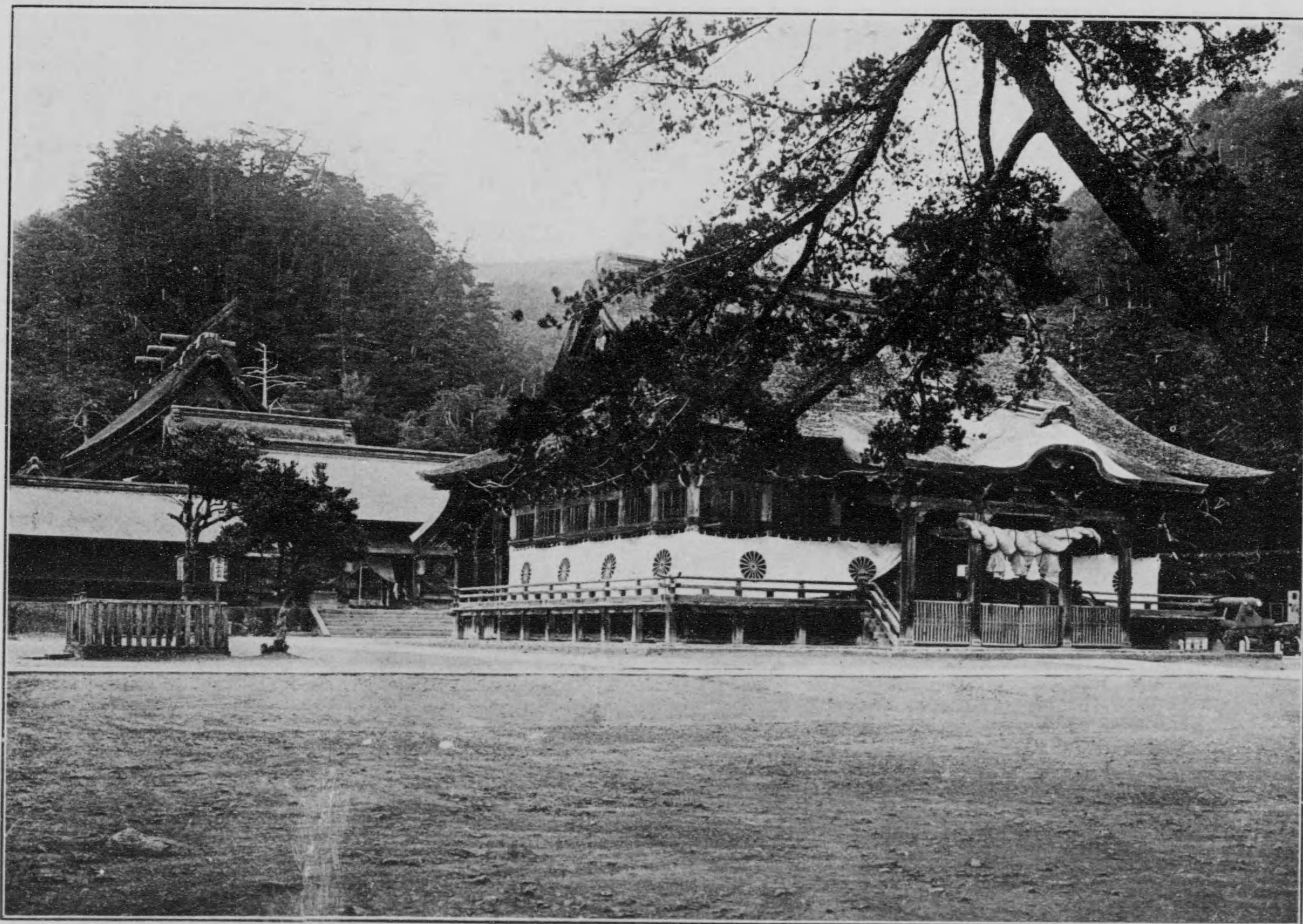
古書を按ずるに、人皇三十五代舒明天皇の御宇湧出し、養老年間聖僧道智上人來り初めて浴舎を設けしとあり、爾來幾多の興亡を経て今日の盛況を見る。藤原豐持の歌に『城崎の山の岩根に湯湧出で、いくらの人の齡のふらん』

但馬國城崎町に在り、山陰第一の温泉場として其名を知らる、地は三方山を繞らし、岡山川油然として市街の一端を流れ、山水の眺望自から具はり、殊に秋季は木々の綠も紅葉して、澄める水との配合極めて妙なり。泉源は町内七ヶ所に在り、泉質は鹽類泉にして、無色透明、而も新元素ラザウム、エマナチオンを多量に含有し、醫治効能顯著なり、今此温泉に就き

四方に亘り、千餘の僧坊ありしと云ふ。小岡は同じく奥の院弘法大師御廟なり、因に豐臣秀次が自刃したるは此寺にして、其室を柳の間と稱し、今尙之を存す。



出雲大社



島根縣簸川郡杵築町に在り、八雲山麓千木高く宮柱太くし建てし官幣大社にして、神代出雲朝の主神大國主命を祀る、今の千家、北島兩家は、神代以來當社に奉仕せり、社殿は創建以後皇居の如く造營するを以て正式となせども、時には然らざるこ  
とあり、永久三年七月の新築は世に之を奇木の御造營と云ふ、毛利元就封ぜらるゝや、畿かに廢れたる祭典を再興せしも、  
豊臣秀吉社領若干を減じ、社殿衰頽に傾きしを、松平直政之を修理し、今存するは明治十四年千家章福、北島齊孝等の修繕

せしものなりと、境内の入口に銅製の大華表あり、神域は三方丘陵を以て圍まれ、境内に杵那築の森、千木松等の名勝あり、  
寶物は神劍、靈光天皇の御宸翰、土佐光起筆三十六歌仙の額、又谷風の琵琶は稀世の名器にして、一名を龍虎の琵琶と云ふ、  
此他國寶たる櫛笥匣、光忠太刀も亦著明なり。

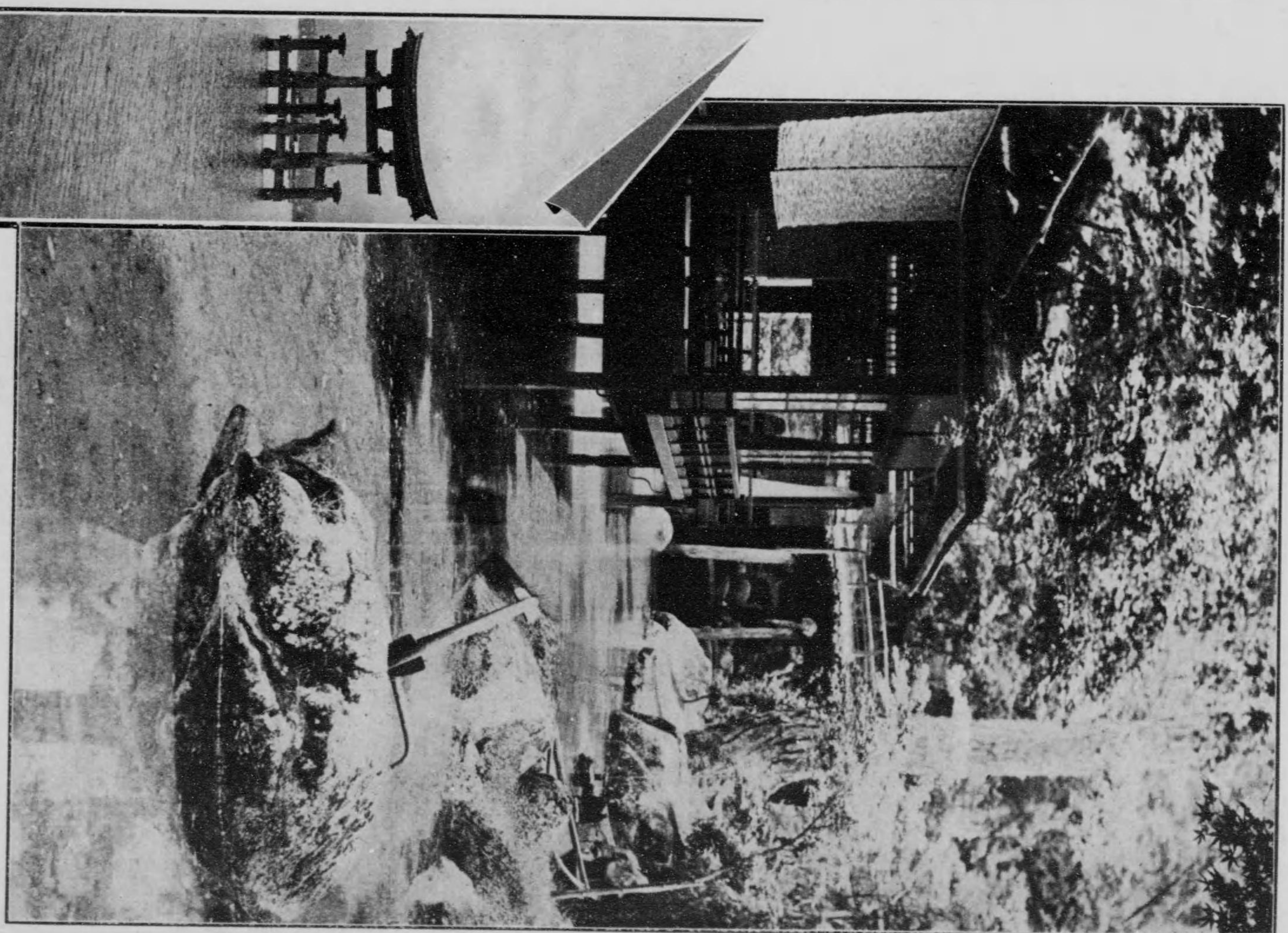
The Izumo-Taisha (Shrine), Izumo.



せしものなりと、境内の入口に銅製の大華表あり、神域は三方丘陵を以て圍まれ、境内に杵那築の森、千本松等の名勝あり、寶物は神劍、靈光天皇の御宸翰、土佐光起筆三十六歌仙の額、又谷風の琵琶は稀世の名器にして、一名を龍虎の琵琶と云ふ、此他國寶たる櫛笥匣、光忠太刀も亦著明なり。

園 公 谷 葉 紅 島 嚴

山陽縣宮島驛より二海里、日本三条の一なる嚴島に在り、豊臣秀吉の歌に「聞きよいながめみあかぬいづく島、みせばやと思ふ雲のうへ人」とある程、風光明媚の地に設けられたる公園にして、名さへ紅葉谷とは風雅なり。大園は今を盛りと紅葉して、瀑々たる溪流に、其優美なる影を宿す景趣にして此邊丘と水とを利用し、四阿舎



式の休憩室諸所に設けられ、皆坐ながら自然の風光を拘し得て、妙言ふばかりなし。小園は社頭大華表の寶寫にして、本社廊廓よりここに至る八十六間、其高さ實に八間四尺、雄然として三笠瀛壖に立つ。

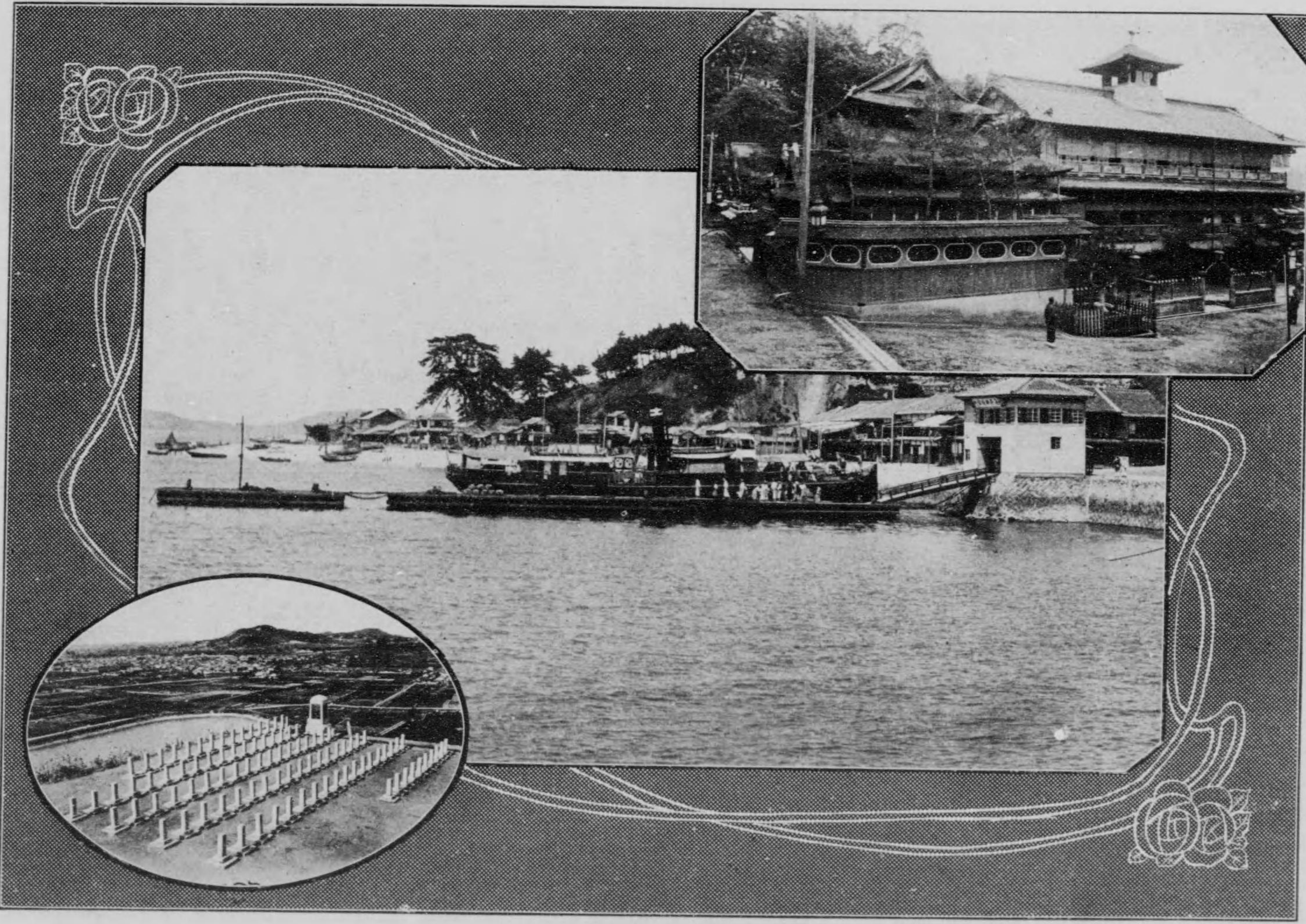
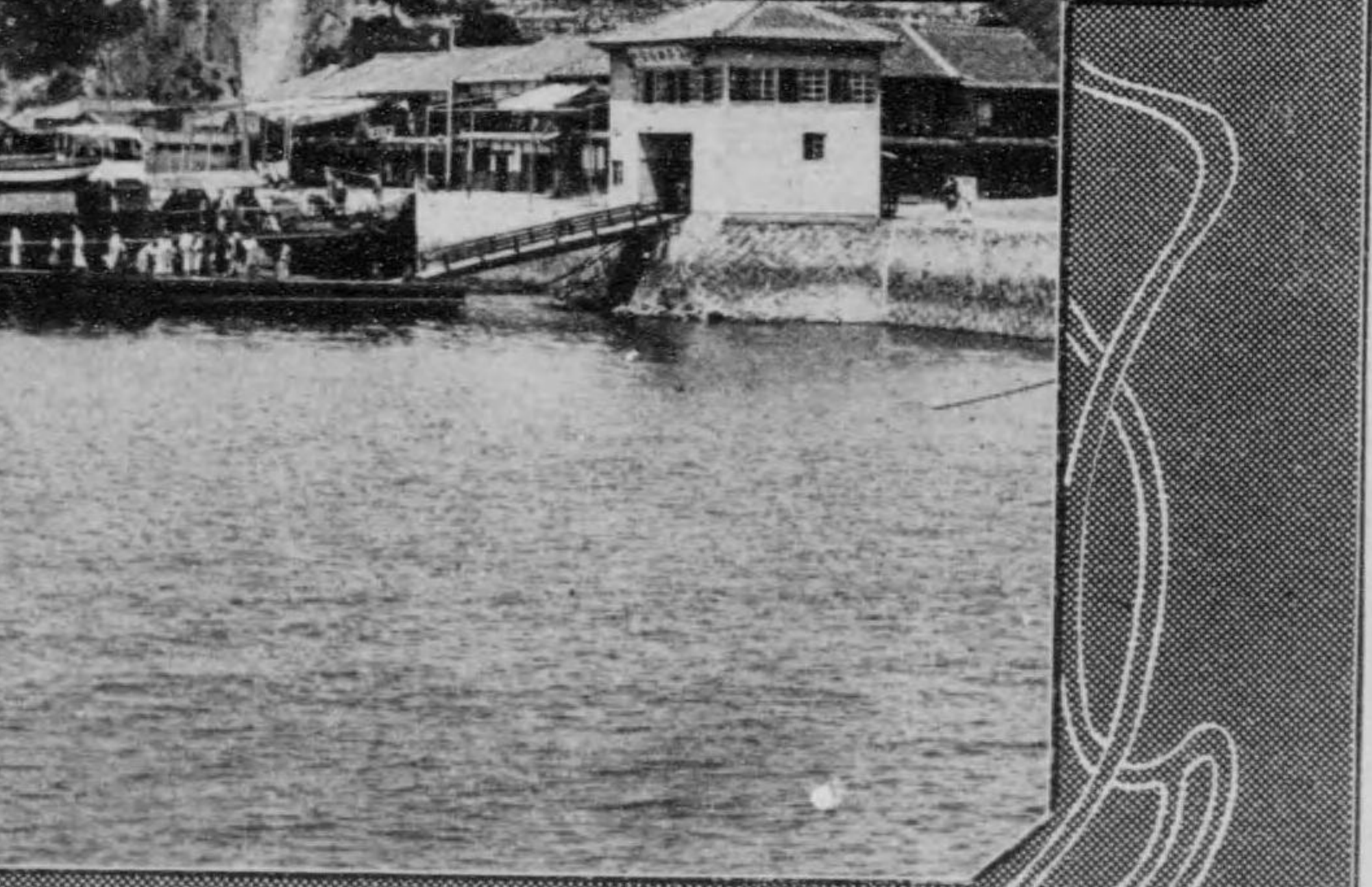
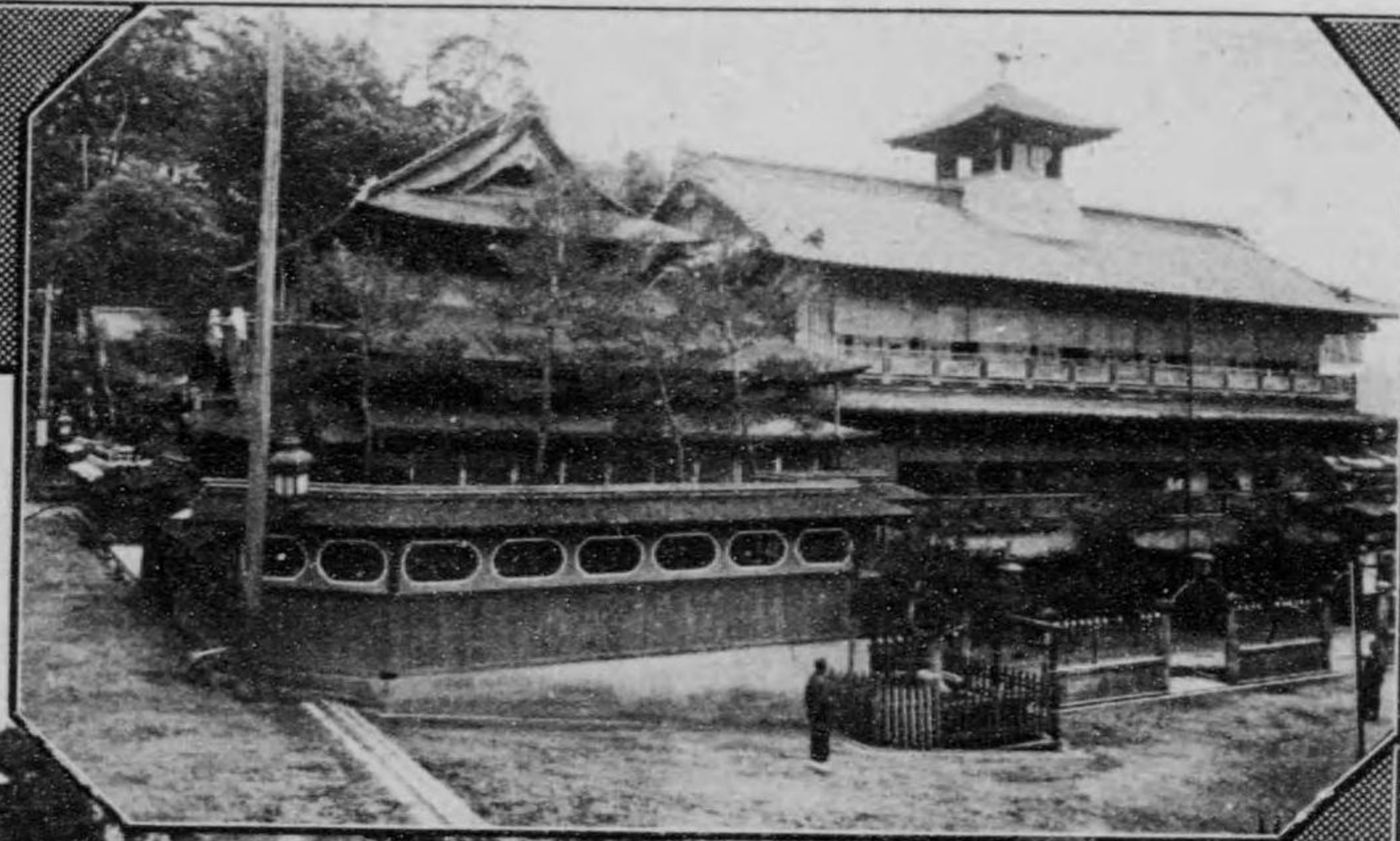
The Momijidani Park, Miyajima, Aki.

伊豫道後温泉

全高濱北棧橋

全松山捕虜墓

道後は南海第一の温泉にして、多度津より汽船にて高濱に至れば、汽車四十分にて遊客を温泉に導くべし、此温泉發見は、遠く神代にあり、舒明天皇の十一年、帝自ら浴し給へることありしか、近年浴槽は花崗石を以て造り、華麗を極む。高濱よりは山陽線宇品に至る便船あり、高濱は松山市の前港、興居島長く前に横はり、伊豫不二其影を海波に落し風光の美旅情を慰むに足る、大圖は港内北棧橋にして、位置は高濱停車場に面し、伊豫鐵道の聯絡點として、貨客の集散絶えず。

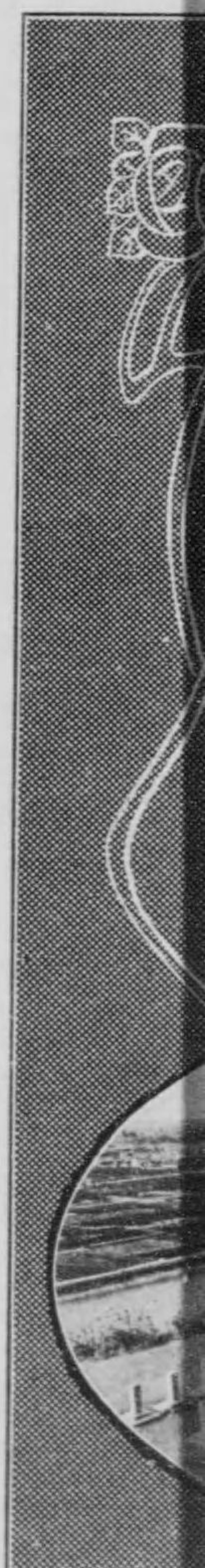


一帯の平野前に展け來りて、松樹蒼鬱たる丘陵中に、白堊の一廓を成す松山城下附近に在り、日露の役、露軍の捕虜收容所に充てられ、善通寺と共に其の名を知らる、墓は彼等が悲惨なる戦争の爲、妻子眷族に離れ、遠く異郷に骨を埋めたる歴史をば、幾千年の後迄も傳ふべし。今や日獨干戈を交へ、獨軍第一次の捕虜久留米に收容されて特に當年の感深し延いて第二第三の捕虜收容には、或は又此歴史ある地を相さんか。

The Dogo Hot-spring, Iyo

The north pier Takahama, Iyo.

The Grave of Russian Prisoners.



一帯の平野前に展け来りて、松樹蒼鬱なる丘陵中に、白堊の一廓を成す松山城下附近に在り、日露の役、露軍の捕虜收容所に充てられ、善通寺と共に其の名を知らる、墓は彼等が悲惨なる戦争の爲、妻子眷族に離れ、遠く異郷に骨を埋めたる歴史をば、幾千年の後迄も傳ふべし。今や日獨干戈を交へ、獨軍第一次の捕虜久留米に收容されて特に當年の感深し延いて第二第三の捕虜收容には、或は又此歴史ある地を相さんか。

耶馬溪青洞門



九州第一の勝として誰も知る耶馬溪は、大分縣下毛郡中津附近田國川に沿ひたる一帯の溪谷を以て名づく、往古は山國溪と唱へしが、頼山陽一度此地に遊び、經世の雄筆を以て之を賞し、其詩文中に耶馬の字を用ひしより愈々天下の奇勝として喧傳せられ、其文字も亦之に従ふに至れり、溪の長さ十五里、支流を合すれば殆んど百里に垂んとす、

圖は競秀峰、爭流潭の一部なる青洞門にして、溪中屈指の勝處たり、今や晩秋の候、奇巖怪石重疊累出し、瀉水風折の聲に親しめば、幽邃閑雅實に仙境に入るの感あり。頼山陽の時に峰容面面相看殊。耶馬溪山天下無。安得彩毫如董巨。生維一文作橫圖。

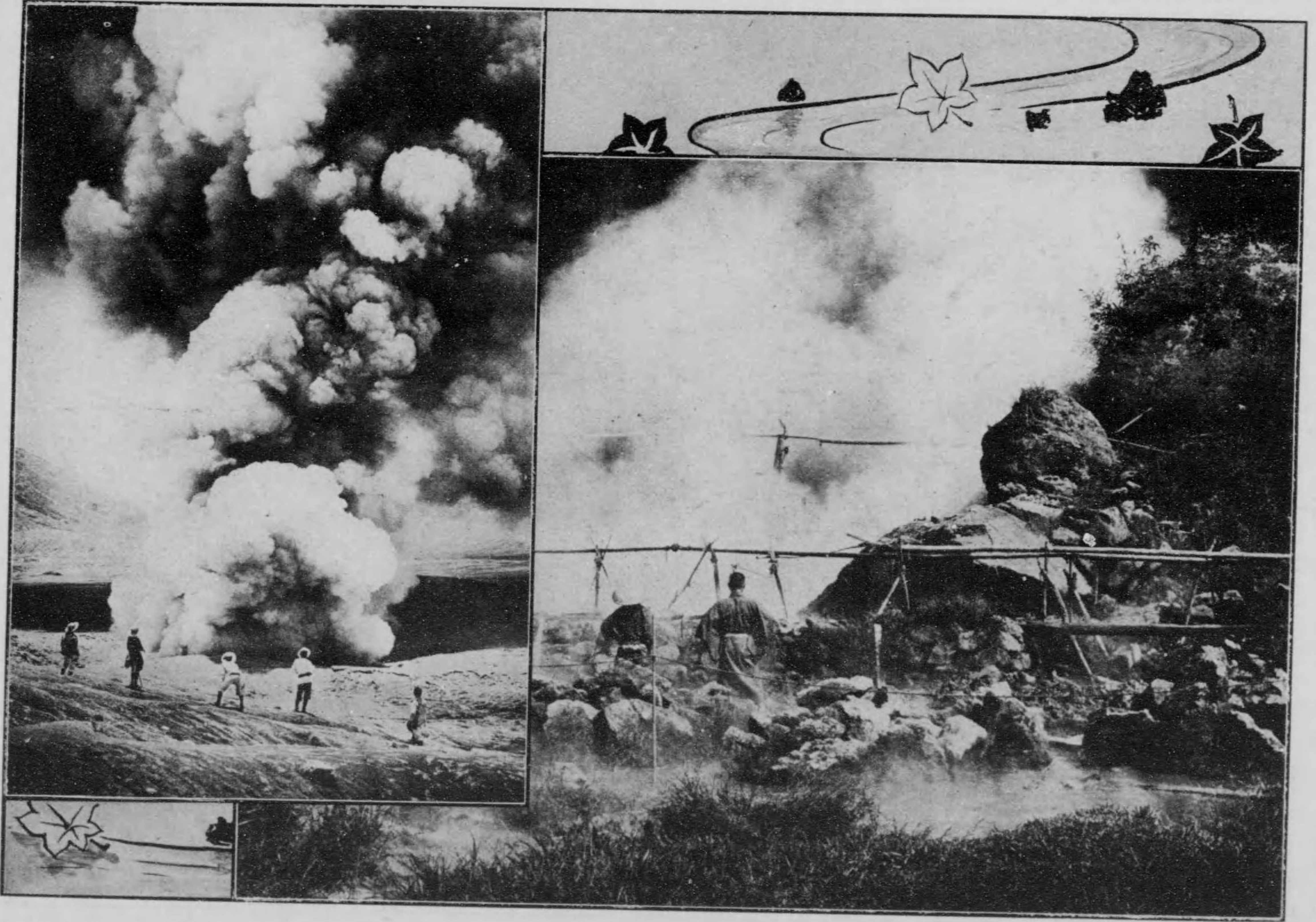
The Wonders of Seido-mon, Yabakei.

阿蘇山噴湯

阿蘇山新噴火口

阿蘇は世界有数の活火山にして、近年大に噴火の勢を増し、前回は其新噴火口を、冒險的に撮影したるものなるが、濛々として立ち昇る煙りの壯絶なることよ。位置は熊本ノ東十一里、大津迄輕便鐵道の便あり、山麓數處流瀑の絶景を見て、朽木温泉に一泊し、翌日登山するを可とす、こゝより噴火口迄三里、道頗る險にして半途より上草木を見ず、鞋底踏む處、焦石と細沙

のみ、噴火口は名づけて「ミカド」と云ふ。下圖は噴火と共に噴出する温泉の光景にして、此泉流れて朽木温泉となる、泉質は炭酸泉にして、腺病、痛風、痲瘋、氣管支炎、神經痛に效ありと。



The Aso volcano, Higo.

The Aso Hot-spring, Higo.

青森縣中津輕郡に在り、弘前驛より三里、津輕富士又は奥富士の別名あり、海拔五千二百六十尺、突兀として、雲表を摩し、四時白雪を戴き、其の容、八葉の蓮華の如し、半腹以上は岩石峨々として、所々噴火の跡を存し、其の西側(西津輕郡)には、



山 木 岩



Mt. Iwaki, Mutsu.

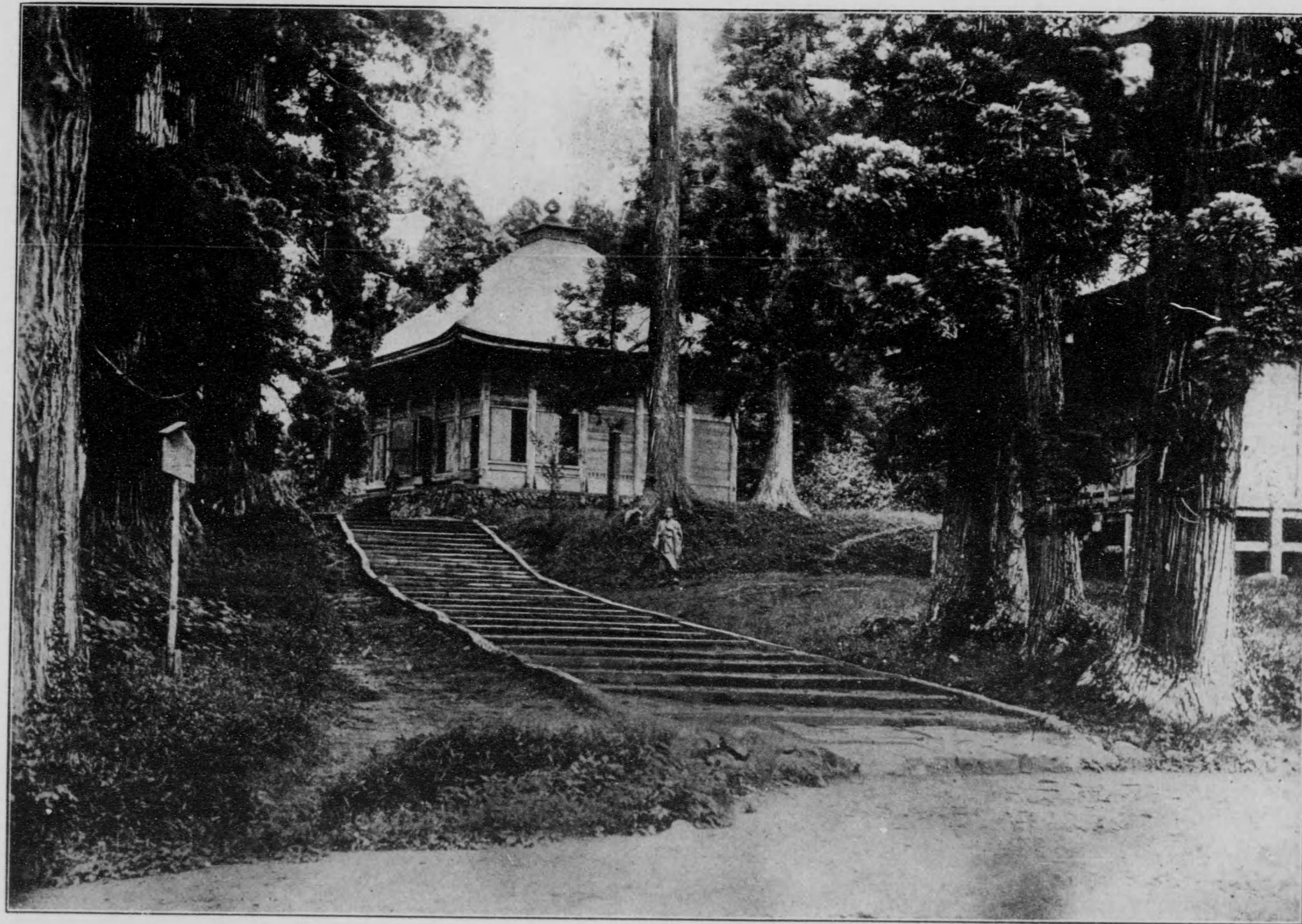
二三の沼湖あり、山勢峻拔、登路頗る峻嶮なり。圖は岩木川沿岸より遠望の光景にして、水清く青松相連る處、自然の妙掬すべし。

青森縣中津輕郡に在り、弘前驛より三里、津輕富士又は奥富士の別名あり、海拔五千二百六十尺、突兀として、雲表を摩し、四時白雪を戴き、其の容、八葉の蓮華の如し、半腹以上は岩石峨々として、所々噴火の跡を存し、其の西側(西津輕郡)には、

のみ、噴火口は名づけて「ミカド」と云ふ。下圖は噴火と共に噴出する温泉の光景にして、此泉流れて朽木温泉となる、泉質は炭酸泉にして、腺病、痛風、痺麻痺、氣管支炎、神經痛に效ありと。



中 尊 寺 金 色 堂



巖手縣西磐井郡平泉村に在り、寺は嘉祥三年慈覺大師の開基にして、清和天皇勅して中尊寺の號を賜はる、後建武四年回祿の  
 災に逢ひ、僅かに金色堂、經藏の二字を残せり、堂は天仁二年藤原清衡が建立せしものなるが、風雨に曝されて、金装の剝脫  
 せんことを惜み、正應元年惟康親王覆堂を建造せり 現在のもの則ち是なり、芭蕉の句に『五月雨の降りのかしてや光堂』と

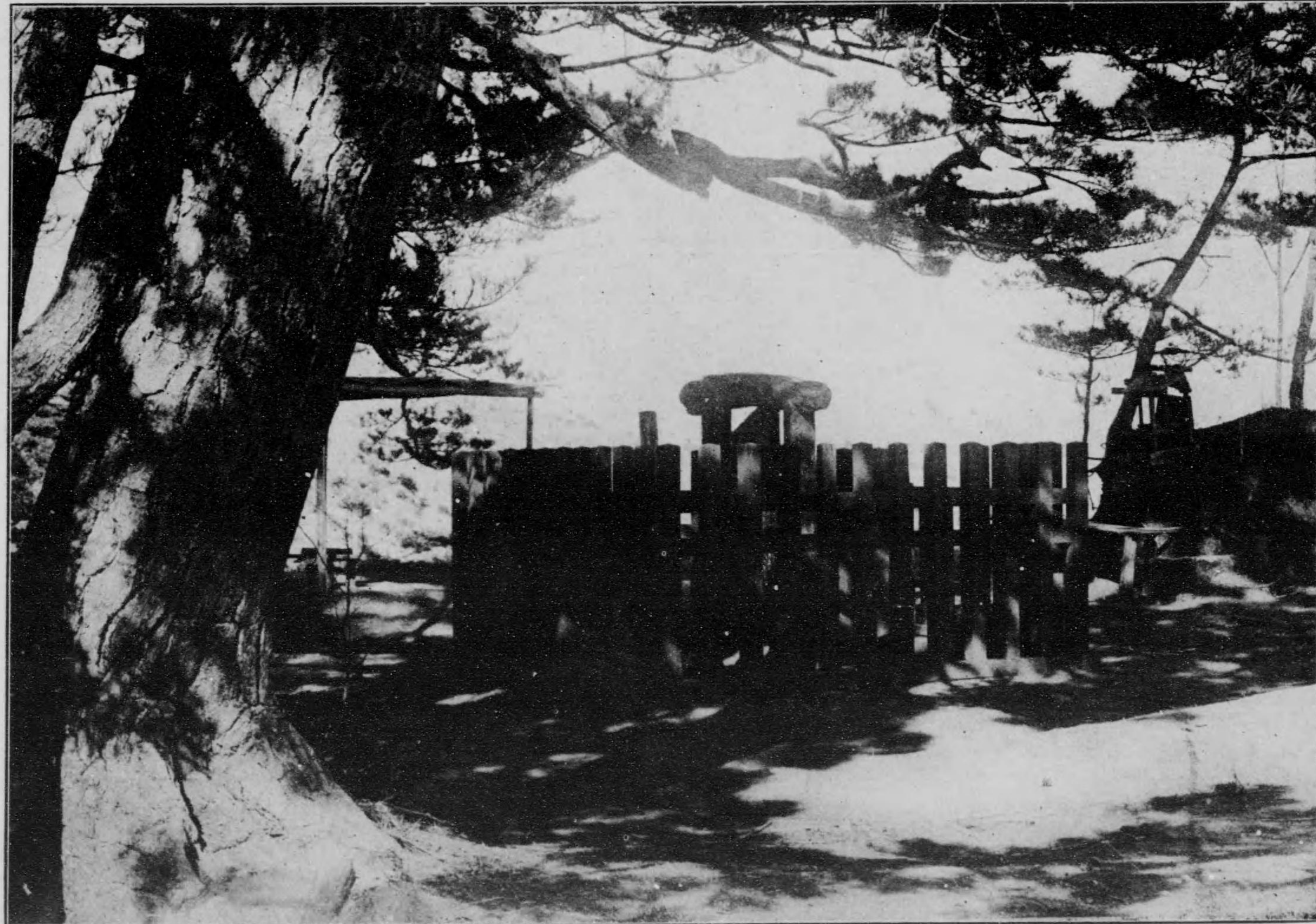
當時の様も窺はる、金色堂は、中に三壇を設け、中壇には清衡、左壇には基衡、右壇には秀衡と、各其の棺を藏めらると云  
 ふ。附近の風光愛すべし。

茨城縣多賀郡關本村内に在り、勿來驛より西南二十町、古の關址なり、八幡太郎義家の詠歌は、夙に人口に膾炙する處、峯  
 巒相連りて、大洋を瞰下し、眞に天險の地なり、今唯古碑一片を存す、歌に曰く『ふく風を勿來の關と思へとも、道もせにちる

Konjikido at Chusonji. (Temple), Rikuchu.



勿 來 關 址



山櫻かな。圖は古碑の附近を示す。

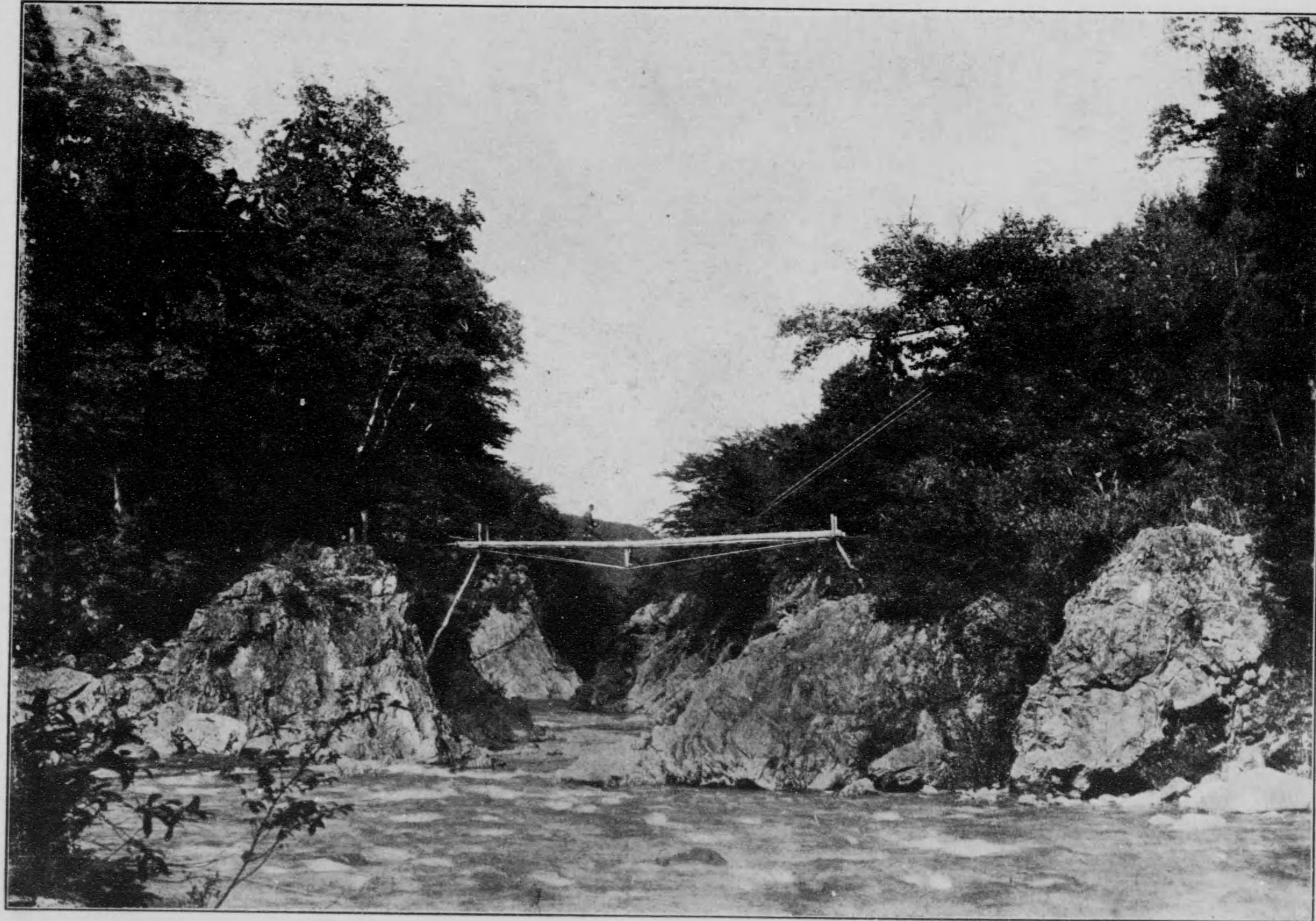
茨城縣多賀郡關本村地内に在り、勿來驛より西南二十町、古の關址なり、八幡太郎義家の詠歌は、夙に人口に膾炙する處、峯巒相連りて、大洋を瞰下し、眞に天險の地なり、今唯古碑一片を存す、歌に曰く「ふく風を勿來の關と思へども、道もせにちる

當時の様も窺はる、金色堂は、中に三壇を設け、中壇には清衡、左壇には基衡、右壇には秀衡と、各其の棺を藏めらると云ふ。附近の風光愛すべし。

The ruin of the barrier at Nakoso, Iwaki.

五 十 嵐 川 の 上 流

越後國三條町を距る東南七里餘の地點にして、南蒲原郡森町大字笠堀に在り、圖中危き一橋は、之を俗稱治右衛門橋と呼び、又釣橋とも云ひて、奇岩怪石重疊し、其間滾々として流るゝ自然の風光と共に奇景たり。此の地方は、未だ多く世に知られず、

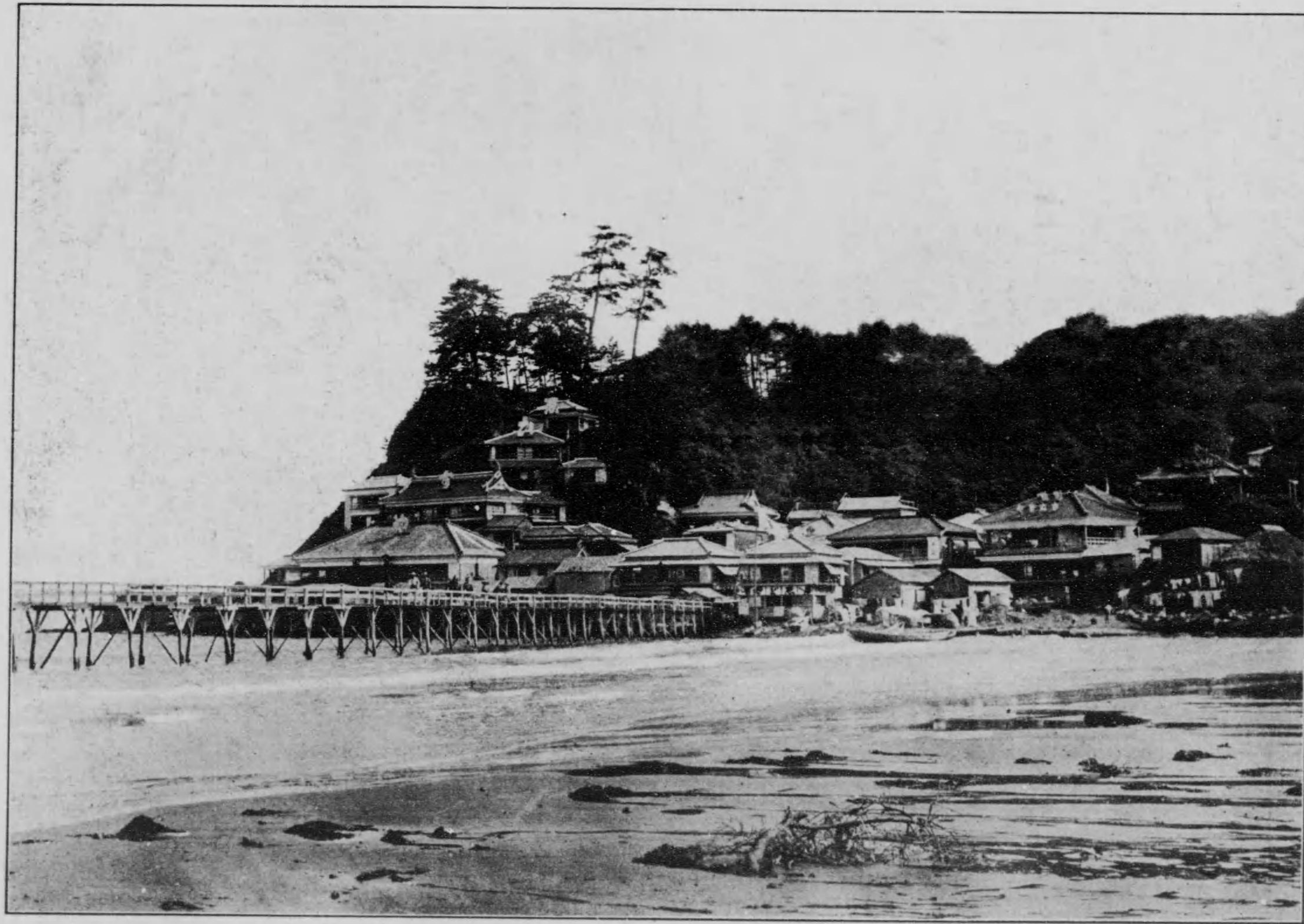


特に吾社が隠れたる名勝として、之を天下に紹介するものなれば、見る者其の心して欲し、尙附近の名所には、八木ヶ鼻の奇観、親澤の流、五百川の薬師、飯田の公園等ありて、三條町よりの交通便利なり。

神奈川縣鎌倉郡川口村に在り、郡の西南端海中に點在せる一孤島にして、片瀬より一條の沙路を通じ、干潮の時は、徒歩にて島に渡るを得べし、今は之に橋を架して交通に便す、圖は則ち橋梁附近の光景を示す。島は周圍約二十町、皆巖石より成り、

The upper stream of the Igarashi River, Echigo.

江の島の



Enoshima (Island), Sagami.

断崖絶壁江を繞りて、巖上には老松蒼鬱、其の頂きに三祠を設け、之を邊洋の宮、中洋の宮、奥洋の宮と號し、多紀津姫命、市杵島姫命、多紀理姫命の三神を祀り、總稱して江の島辨天と云ふ、古の江の島辨天是なり、

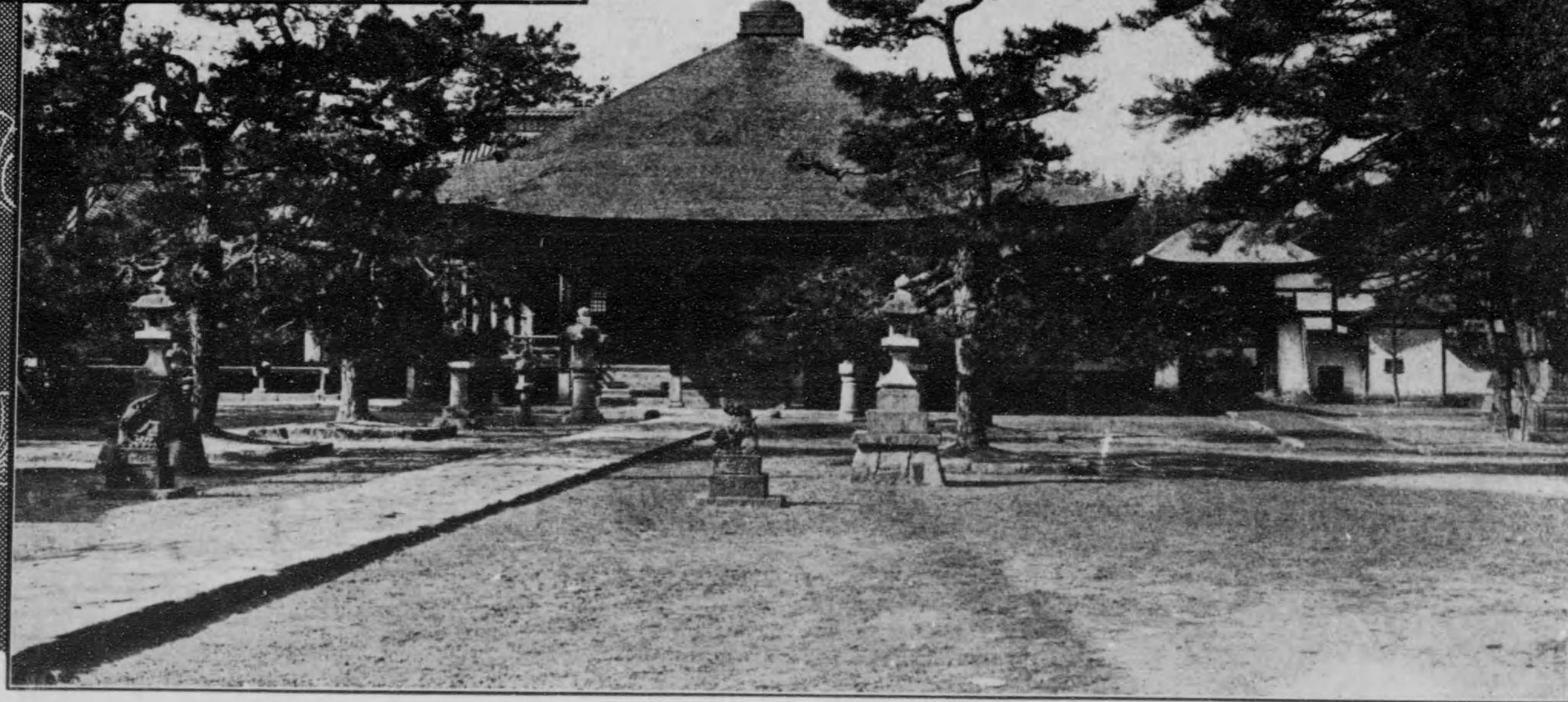
神奈川県鎌倉郡川口村に在り、郡の西南端海中に點在せる一孤島にして、片瀬より一條の沙路を通じ、干潮の時は、徒歩にて島に渡るを得べし、今は之に橋を架して交通に便す、圖は則ち橋梁附近の光景を示す。島は周圍約二十町、皆巖石より成り、

特に吾社が隠れたる名勝として、之を天下に紹介するものなれば、見る者其の心して欲し、尙附近の名所には、八木ヶ鼻の奇觀、親澤の瀧、五百川の薬師、飯田の公園等ありて、三條町よりの交通便利なり。



珠 文 の 戸 切

京都府下奥謝郡吉津村に在り、切戸とは大字文珠の濱邊を云ふ、其の始めは、日本三景の一として有名なる天の橋立の南方水道の名なりしも、後遂に其の南岸を切戸濱と呼ぶに至れり。大圖は智恩寺の境内に在る文珠菩薩の本堂にして、小圖は則ち智



恩寺の山門を示す。此の附近風光頗る明媚にして、白沙青松繪も及ばず、宮津灣内の勝區たり。

京都驛より西北一里二十八町、府下葛野郡衣笠村に在り、所謂金閣寺なれども、寺號は鹿苑寺と稱し、臨濟宗相國寺派に屬す、應永年間足利義滿の別荘として築設され、陛下も亦行幸あり、以て一時の盛を極めたり。圖は林園中の一堂たる金閣を示し

The Main Gate at Monjudo, Tango.

Monjudo (Temple), Tango.

金 閣 寺



Kinkakuji Hall, Kyoto.

たるものにて、此の堂は、現に特別保護建造物に指定せられ、大規模なる林泉を包容して、庭園を築きたる邊、當時足利將軍の勢力をも偲ばれ、今尙京洛隨一と稱せらる。

京都驛より西北一里二十八町、府下葛野郡衣笠村に在り、所謂金閣寺なれども、寺號は鹿苑寺と稱し、臨濟宗相國寺派に屬す、應永年間足利義滿の別荘として築設され、陛下も亦行幸あり、以て一時の盛を極めたり。圖は林園中の一堂たる金閣を示し

恩寺の山門を示す。此の附近風光頗る明媚にして、白沙青松繪も及ばず、宮津灣内の勝區たり。



銀閣寺



京都市内に在りて寺號を慈照寺と云ひ、所謂銀閣寺にして、文明年間足利義政世を厭ひ、山莊を此に構へ、風流を娛みし處にして、林泉の優美、庭苑の高雅、實に金閣と並び稱せらる、當時の建物としては、僅かに銀閣と、東求堂とを存するのみ、閣は

二層にして、中に義政の木像を安置し、又東求堂は、茶室の始めとして歴史を留め、現に金閣と共に特別保護建造物たり。

Ginkakuji Hail, Kyoto.

金澤市なる舊藩主前田家の庭園にて、明治四年藩と共に、其の門牆を撤して、之を公開の遊園とせり、風致清麗、綠樹蔚然、清流其の間を穿ち、天趣人工兼備り、日本三公園の一と稱せらる、兼六の名は、白河樂翁の撰みたるものにて、洛陽名園

兼 六 園 (園公澤金)



記に取れるものなり、宏大、幽邃、人力、蒼古、永泉、眺望、の六勝を兼有すとの意に發せりと、圖は霞ヶ池の形勝に泛ぶ蓬萊丸の實寫にて、清流自ら琴音を奏する處、恰かも雅客の來遊を待つものゝ如し、清趣眞に掬すべし。

金澤市なる舊藩主前田家の庭園にて、明治四年藩と共に、其の門牆を撤して、之を公開の遊園とせり、風致清麗、綠樹蔚然、清流其の間を穿ち、天趣人工兼ね備り、日本三公園の一と稱せらる、兼六の名は、白河樂翁の撰みたるものにて、洛陽名園

二層にして、中に義政の木像を安置し、又東求堂は、茶室の始めとして歴史を留め、現に金閣と共に特別保護建造物たり。

Kenrokuen (Kanazawa Park), Kaga.

三 十 三 間 堂



Sanjusangendo Hall, Kyoto.

京都帝室博物館の東南、蓮華王院と號する天台宗の寺院なり、初め長承元年鳥羽上皇三十三間堂を建立せり、之を長壽院と名づけ、一千一體的の觀音を安んじ給ひ、其の後長寛元年後白河上皇又三十三間堂を建て、同じく一千一體的の觀音を安んじて蓮華王院と號せらる。斯くて寶治二年兩寺共火災に罹り、夫れより十八年を得て、龜山院の御宇、文永三年に再建し、兩寺

を併せて一寺と爲し、現在の寺號を存したるなり、堂は六十六間あり、二間毎に柱を立つる處より、三十三間堂と云ふ、今は特別保護建造物にて、當時の遺物として豐臣氏紋章の古瓦を存す。

大阪市北區中之島は、東西二十餘町、横幅廣きは三町に及び、天滿大川分岐して之を繞り、北を堂島川、南を土佐堀と云ふ、東端に中之島公園ありて此の市中央に自然の色彩を添ゆ、殊に三面、清澄なる流れを以て繞らざるを以て、夏季は一層の風



園 公 島 之 中



Nakanoshima park, Osaka.

情あり、園内には豊國神社、富豪住友氏寄贈の圖書館、豊太閣銅像等ありて、繁劇なる大阪人士に、精神的慰安を供給す、此の島  
幕政の頃西國諸藩の庫邸に占有せられし所にて、廢藩後は、官衙學校醫院工場等の敷地に供せられ、樞要の地域となれり。

を併せて一寺と爲し、現在の寺號を存したるなり、堂は六十六間あり、二間毎に柱を立つる處より、三十三間堂と云ふ、今  
は特別保護建造物にて、當時の遺物として豊臣氏牧章の古瓦を存す。

大阪市北區中之島は、東西二十餘町、横幅廣きは三町に及び、天滿大川分岐して之を繞り、北を堂島川、南を土佐堀と云ふ、  
東端に中之島公園ありて此の市中央に自然の色彩を添ゆ、殊に三面、清澄なる流れを以て繞らざるを以て、夏季は一層の風

相 生 の 松 (高砂神社)



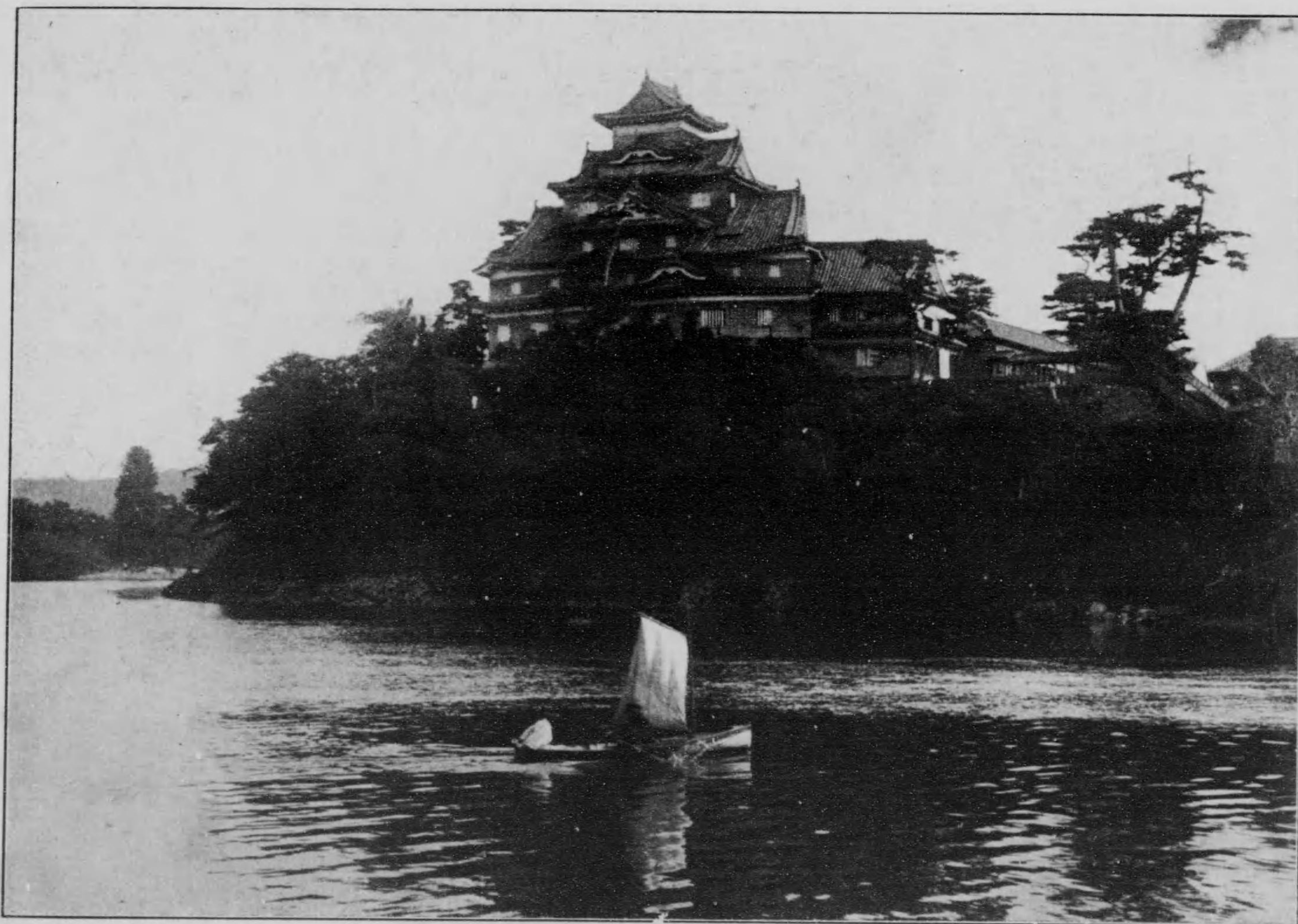
播磨加古川河口高砂市街に、一區の松林あり、高砂神社を建つ、境内に、奇松あり、諸曲によりて傳へられたる雌雄合體の松にて相生の名あり、實に千秋の契りめでたしともめでたし、芭蕉の句に「相生の松は花より朧にて」と、其風情も惚ばれて

床し、則ち上圖は高砂神社の本殿にて、社格は縣社、下圖は相生の松の全景を示す。此の附近奇松に富み、舊蹟多し。

Aioi pine-tree and Takasago shrine, Harima,

岡山城は岡山市の北偏に在り、天正年間浮田氏の創建に係り、後池田氏二百七十年の居城なりき、廢藩後亦縣廳を此の地に置かる、中國屈指の都會なり、城は一名鳥城と稱し、圖は則ち儼然として、當時の歴史を語る天主閣の雄姿なり、因に岡山

岡 山 城 址



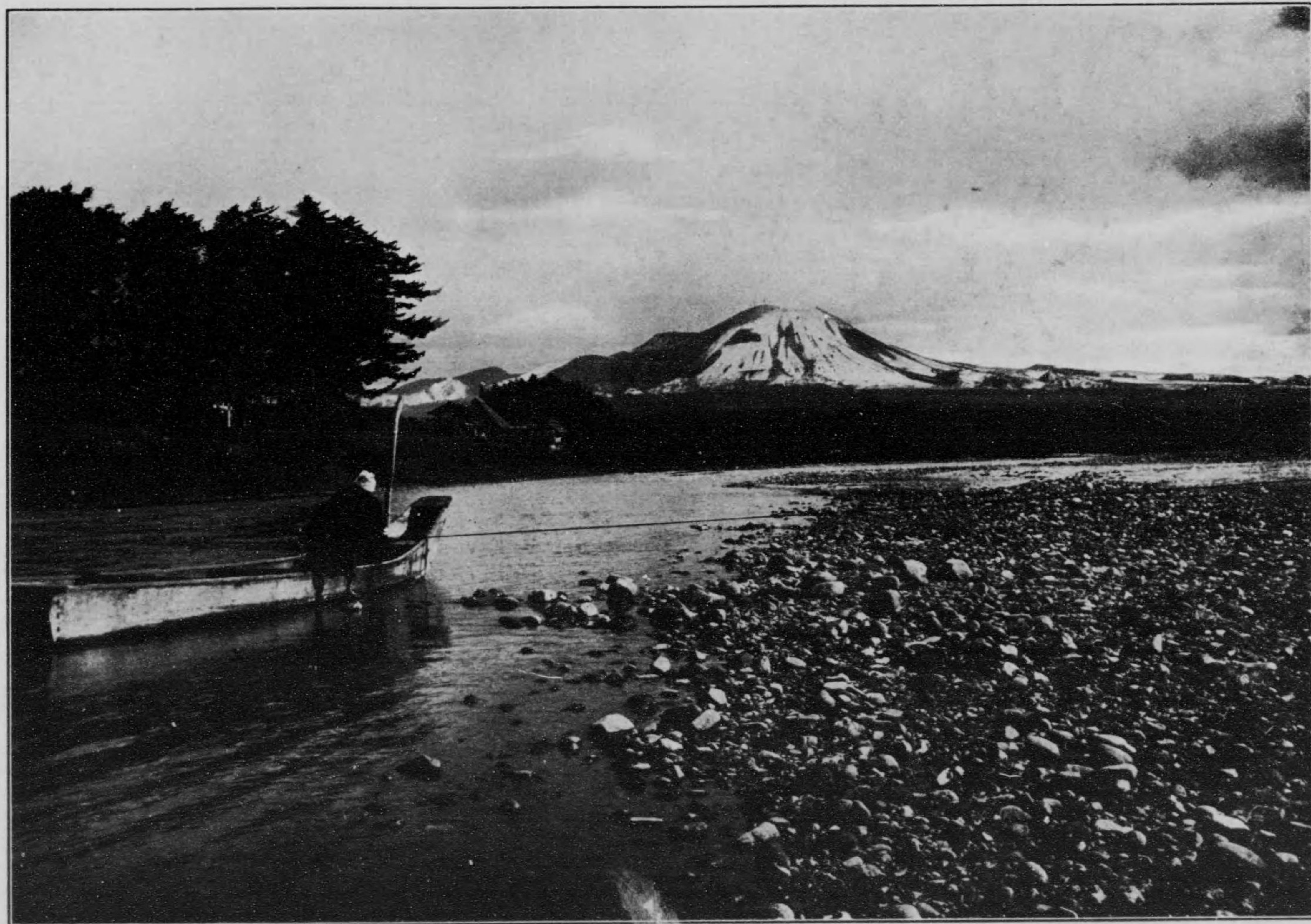
市の地勢は、東に西大川(旭川)を控え、北に舊城廓を負ひ、南は水脈兒島灣に通じ、鐵道は神戸を距る八十九哩、下關を距る二百四十一哩にて、海陸共に運輸の便備り、市街は殷賑を極む。

岡山城は岡山市の北偏に在り、天正年間浮田氏の創建に係り、後池田氏二百七十年の居城なりき、廢藩後亦縣廳を此の地に置かる、中國屈指の都會なり、城は一名鳥城と稱し、岡は則ち嶺然として、當時の歴史を語る天主閣の雄姿なり、因に岡山

The Castle of Okayama, Bizen.

床し、則ち上圖は高砂神社の本殿にて、社格は縣社、下圖は相生の松の全景を示す。此の附近奇松に富み、舊蹟多し。

日野川よりの大山を望む



Mt. Taisen, Hoki.

大山は一名伯耆富士と云ふ、伯州大山驛より三里十八町、海拔五千六百五十尺の高山にて、絶頂を極むれば、山陰山陽近畿の各州を一眸の裡に收め、山中には大山寺、大神山奥社等あり、大山寺は養老年間、金蓮上人の草創に係る天台宗の古刹なり、又

毎年五七九月の縁日には、牛馬の大糶市を催され、境内の静寂を破つて奇観を呈す、日野川は源を日野郡三國山に發し、流域凡そ十八里、鮎を産して有名なり、圖は則ち日野川より大山を望む光景にて、此の山と此の流、實に巧妙なる自然美ならずや。

松山市の中央松山城地の一劃を以て公園としたるものにて、地勢高く展望に適す、圖は園内一部の光景を實寫したるものにて、正面老樹の間、嶄然屋頭を現はしたる白壁の建物は、之を慶長八年加藤嘉明の築ける城廓にて、後松平定行之に移り、



松 山 公 園



Matsuyama park at Matsuyama, Iyo.

爾後世襲して城主となるなり、明治維新に至り、十五世の孫定昭城を致し、十年陸軍省の所管に歸し、今は二十二聯隊の兵營となる、因に此の山頂より仰げば伊豫不二の雄姿、俯せば高濱の興居島を望み、風色恍として盡さざるものあり。

松山市の中央松山城地の一劃を以て公園としたるものにて、地勢高く展望に適す、岡は園内一部の光景を實寫したるものにて、正面老樹の間、嶄然屋頭を現はしたる白堊の建物は、之を慶長八年加藤嘉明の築ける城廓にて、後松平定行之に移り、

毎年五七九月の綠日には、牛馬の大羣市を催され、境内の靜寂を破つて奇觀を呈す、日野川は源を日野郡三國山に發し、流域凡そ十八里、鮎を産して有名なり、園は則ち日野川より大山を望む光景にて、此の山と此の流、實に巧妙なる自然美ならずや。

本 妙 寺



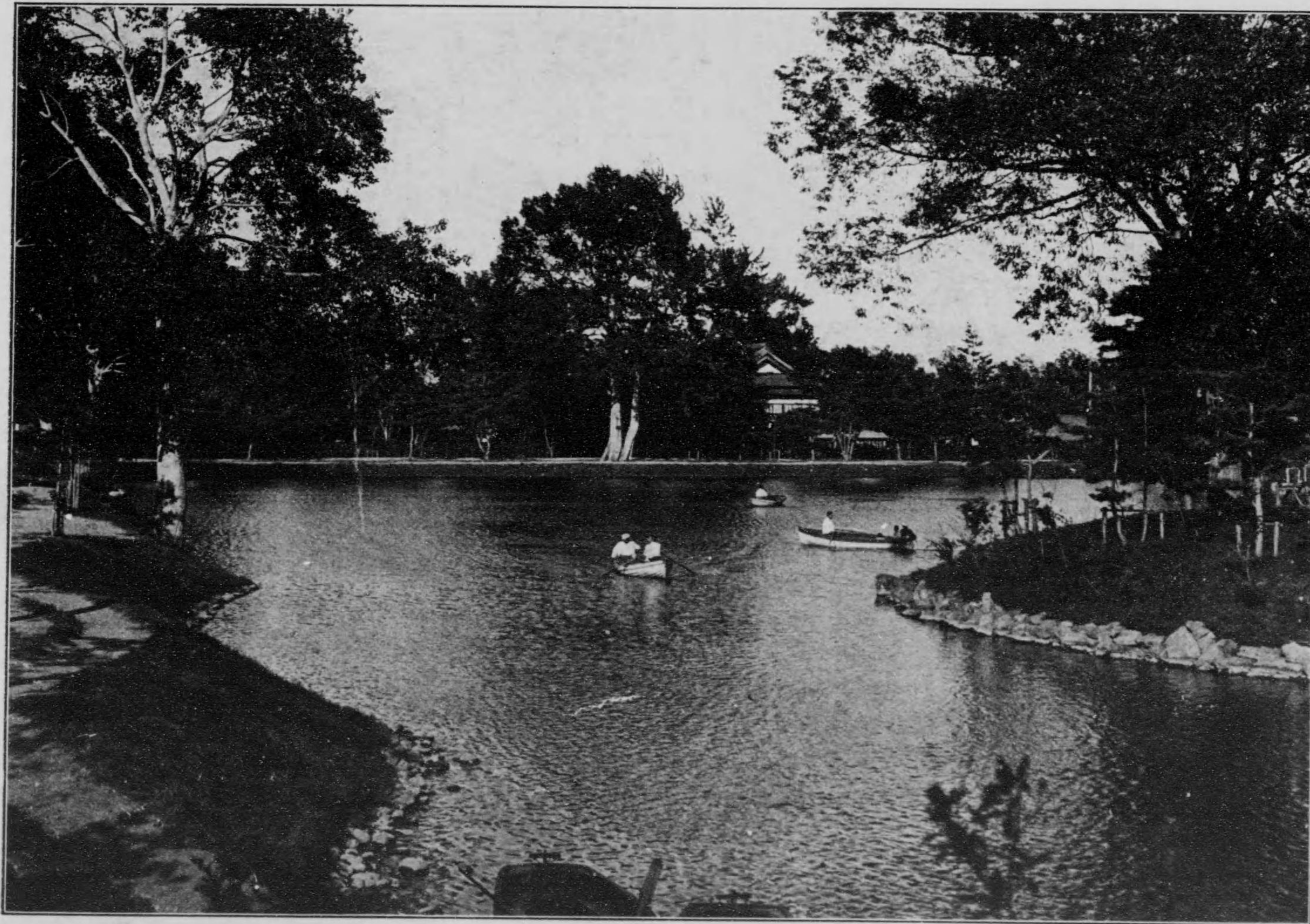
熊本縣飽託郡花園村上熊本驛より西八丁、京都本國寺の末寺たる法華宗の大伽藍にて、發屋山と號す、開基は日眞上人にて、加藤清正の廟は此の境内に在り、堂宇宏壯、結構華麗、賽人常に境内に充ち、題目の聲實に夜を徹するの光景を呈す、大圖

は則ち本妙寺、小圖は清正公廟と拜殿の實寫なり、因に門内には大道と稱する道路あり、其の兩側には、寺院相連り、又多數の櫻樹を移植され、陽春の交には、勸勤讀經の聲と、無常の風に誘はれて、片々散る花の對照實に言ひ知れぬ詩的趣味を帶ぶ。

明治二年北海道の首府と定められたる札幌區に在り、驛を距る二十町、本道第一の公園にして、中央池を圍んで老樹鬱蒼たり、公園の一端なる物産陳列場の庭内には、木材標本家屋あり、是れ北海全道に生ずる各種の木材を蒐め寄水細工的に一家屋

Hommyoji (Temple) at Kumamoto, Higo.

中 島 公 園 (札幌)



Nakajima park, Sapporo, Hokkaidō.

を建築せしめたるものにて、趣向甚だ巧妙なり。因に半歳を雪中に送る同區民は、陽春の交此の園に遊ぶを無上の快樂とし、日々各種の運動會等ありて賑かなり。

明治二年北海道の首府と定められたる札幌區に在り、驛を距る二十町、本道第一の公園にして、中央池を圍んで老樹鬱蒼たり、公園の一端なる物産陳列場の庭内には、木材標本家屋あり、是れ北海全道に生ずる各種の木材を蒐め寄木細工的に一家屋

は則ち本妙寺、小園は清正公廟と拜殿の實寫なり、因に門内には大道と稱する道路あり、其の兩側には、寺院相連り、又多數の櫻樹を移植され、陽春の交には、勸勤讀經の聲と、無常の風に誘はれて、片々散る花の對照實に言ひ知れぬ詩的趣味を帶ぶ。



山 寺 立 石 寺

奥羽線山形驛より三里天童驛より二里にして共に馬車あり、寶珠山立石寺と號す、貞觀二年、慈覺大師清和帝の勅を奉じて創開す、當時帝より銅印を賜りて、立石寶印と稱し今猶之れを藏す、天台宗に屬し叡山の別院として十八院の寺家を有す、代々將軍家より御朱印を下されしと、寺の背上に當り、天狗岩高さ百尺に餘り大柱を樹つあり、立石寺の名之より出づ、又



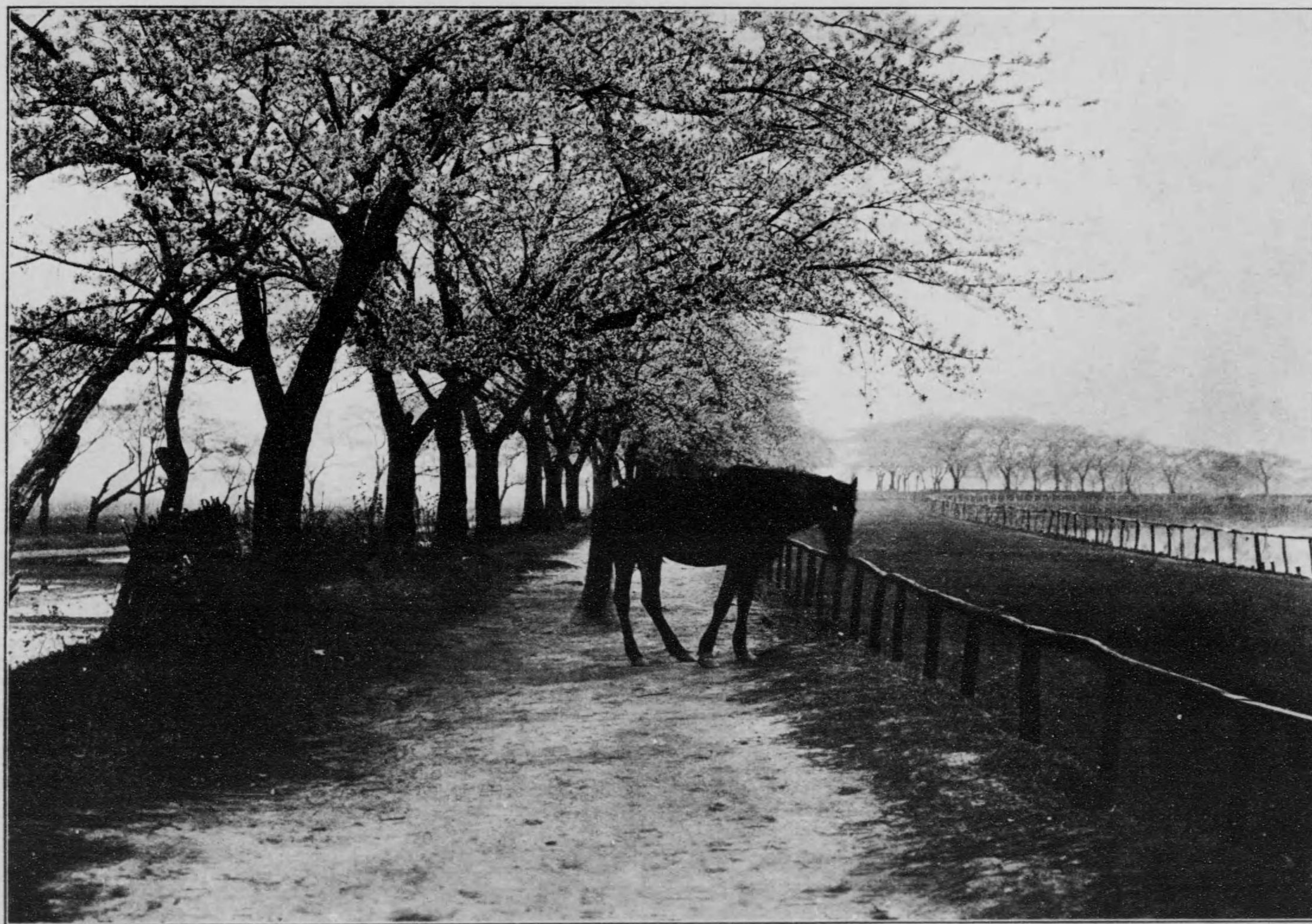
奇山の寺なるより山寺の名ありて後地名に轉ず、山中奇岩怪石に富み數ふるに遠なし、溪測に梯橋を陟り、岩磴を攀するに鐵鎖を以てする等、幾多の奇狀幻態は、其間に點々せる堂塔との調和を得て靜寂幽遠の限りなし、東北稀觀の名刹なり、芭蕉翁の句に「閑かさや岩にしみ入る蟬の聲」因に下圖は胎内寶、上圖は先年狂駕あらせられし今上帝御休息所の跡を示す。

福島縣下安積郡桑野村に在り、東北本線郡山驛の西方三十丁許、櫻の名所たり、中央の池を廻りて馬場を設く、蓋、此邊乘馬の産地なり、園の西丘に伊勢太神宮を祀したる一廟あり、結構壯嚴を極む。春は櫻花爛漫たる時ヲトし、秋は霜信の到らんと

View of Risshakuji temp'e Yamadera, Yamagata.



開成山公園



Kaiseizan park at Kōriyama, Iwashiro.

奇山の寺なるより山寺の名ありて後地名に轉ず、山中奇岩怪石に富み數ふるに遠なし、溪洲に梯橋を設け、岩磴を攀するに鐵鎖を以てする等、幾多の奇狀幻態は、其間に點々せる堂塔との調和を得て靜寂幽邃の限りなし、東北稀觀の名刹なり、芭蕉翁の句に「閑かさや岩にしみ入る蟬の聲」因に下圖は胎内竈、上圖は先年狂駕あらせられし今上帝御休息所の跡を示す。

福島縣下安積郡桑野村に在り、東北本線郡山驛の西方三十丁許、櫻の名所たり、中央の池を廻りて馬場を設け、蓋、此邊乘馬の産地なり、園の西丘に伊勢太神宮を祀したる一廟あり、結構壯麗を極む。春は櫻花爛漫たる時を卜し、秋は霜信の到らんと

する時を期し、此の園中に開催する競馬會には、遠近の觀客先を争ふて群集す、園は霞棚引ける朝の櫻を寫せり。因に郡山驛は現在の本線に、近く岩越線と平郡線とを聯絡せんとし、將來有望の地點たり。

荒川の流上 (奥秩父)



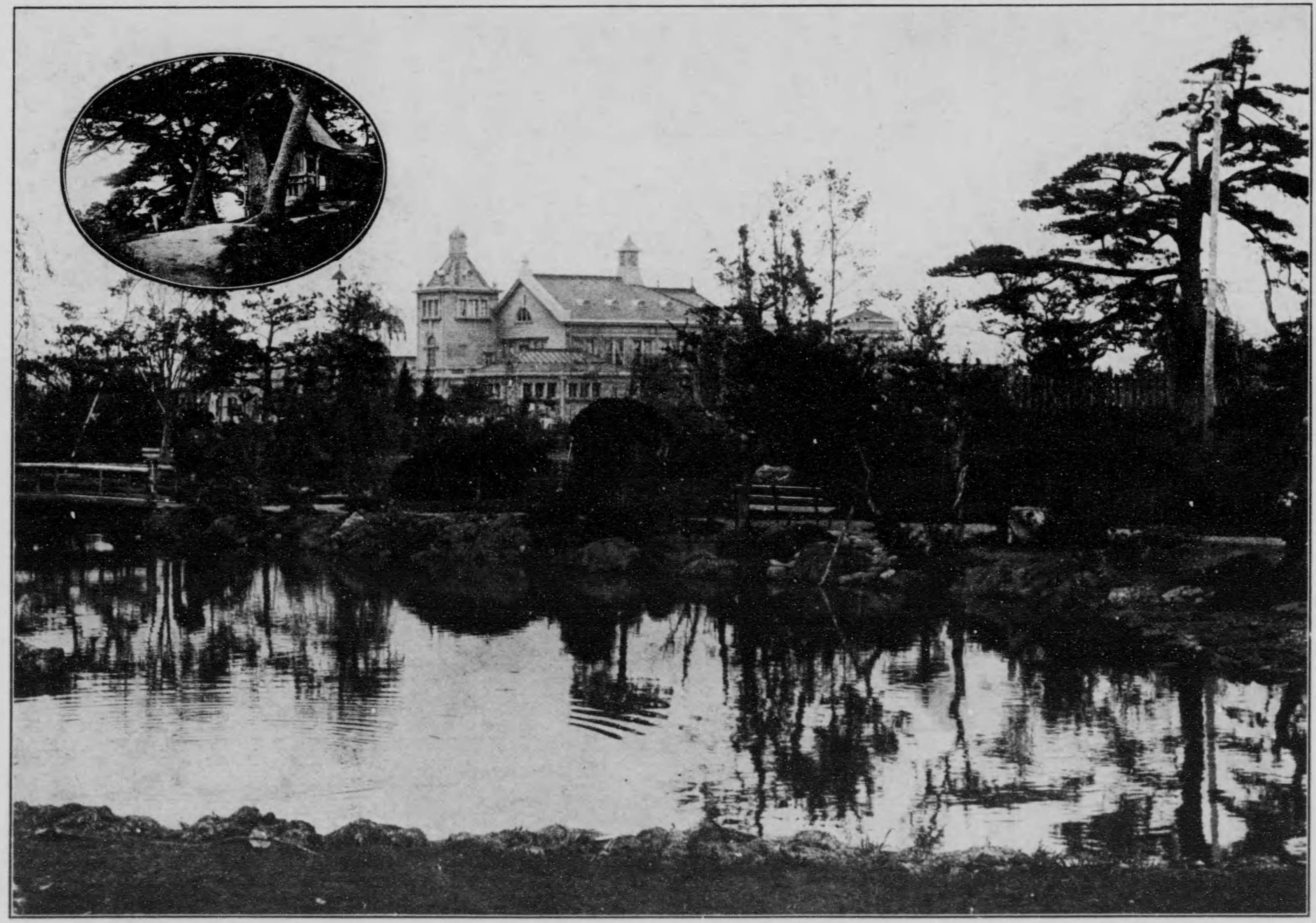
埼玉縣下秩父驛より奥敷里、荒川上流の一部にして、世に之を奥秩父と云ふ、由來秩父の地は、峻嶒奇景に富み、彼の秩父赤壁の如きは、夙に人の知る處なり、圖は霧峯三峯山麓にして、峯巒切迫の間を縫ふて溪流進る處、夏尙寒きを覺へしむ。

因に此沿道には、和銅採掘の古跡、彼の秩父赤壁、鉢形城地、象の鼻等、狩鮎、納涼、觀楓の探勝地あり、且つ特種の岩石地層を露出し、地質學の研究地として其名著し。

千葉縣下千葉町の中心に凸起せる猪の鼻臺の西なる都川の畔に在り、明治六年同縣廳の開設と共に、之を附屬の庭園としたるが、先年縣廳改築、共進會開催に際し、公開修補して公園地とせり、圖は庭内勝區の一部を示したるものにて、右方小高き處

The Upper Stream of the Arakawa river, Musashi.

千 葉 公 園



に兀立するを、有名なる羽衣の松と爲す、正面に見ゆる洋館は縣廳なり。因に小圖は猪の鼻臺の實寫にして、共に千葉驛より五丁にして遠す。

公園案内

Inohana hill and Chiba park.

因に此沿道には、和銅採掘の古趾、彼の秩父赤壁、鉢形城地、象の鼻臺、狩鮎、納涼、觀楓の探勝地あり、且つ特種の岩石地層を露出し、地質學の研究地として其名著し。

千葉縣下千葉町の中心に凸起せる猪の鼻臺の西なる都川の畔に在り、明治六年同縣廳の開設と共に、之を附屬の庭園としたるが、先年縣廳改築、共進會開催に際し、公開修補して公園地とせり、圖は庭内勝區の一部を示したるものにて、右方小高き處

岸 海 山 葉

相州海濱の地、到る處、岸邊麗に濤清し、葉山は神奈川縣下鎌倉驛より約一里、逗子の東南に當り、前方は洋々たる海面にして、波に浮べる富士美しく、背後は神の嶽の眺望佳絶、山麓に名刹神武寺あり、風光明媚の地にして、避暑避寒に適す、



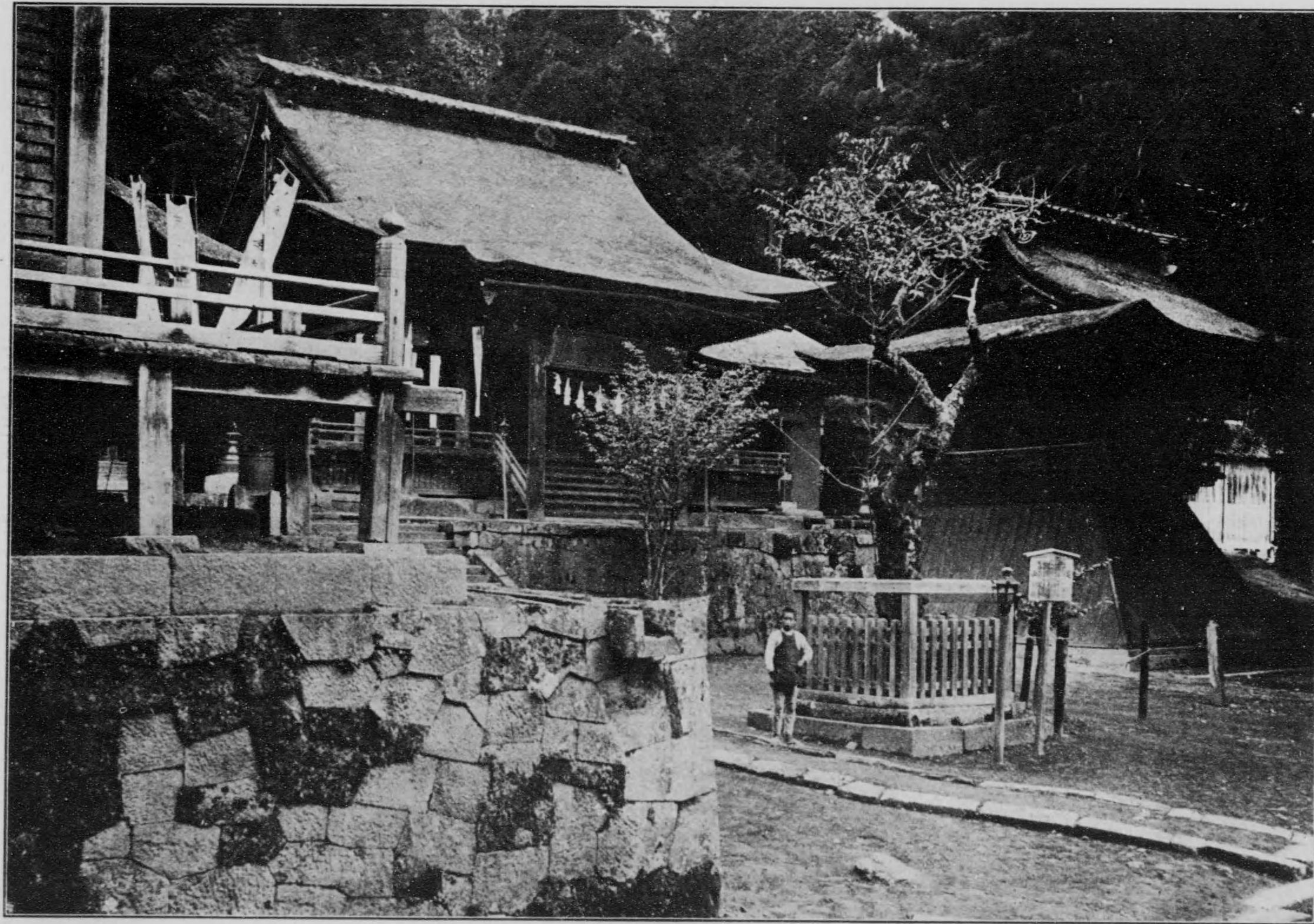
此地に御用邸あり、鶴駕腰々柱げらる、圖中左方の一角なる松林中に安置さるるは、鎮海の主森口明神の祠なり。子規の句に『美しきくらげ浮きたり春の海』

The Seashore at Hayama, Sagami.

山梨縣下御嶽の頂上に在り、中央線甲府驛より五里餘、荒川の峡谷を辿る、頗る山水の奇勝に富み、巖徑狹深、蜿蜒として、漸く登るを得べし、社前に古櫻あり、之を金櫻と銘し、採りて社名とす、正面なるは本社、左方なるは神樂殿、寶庫悉く金銀に五彩を交へ、燦爛として結構壯麗を極む、郷社にして日本武尊、少彥名命、素盞鳴尊を合祀す、又吉野の藏王権現を模



金 櫻 神 社



し奥の院を置く、文録年中浅野侯の時造營せりといふ、隆辨僧正の歌に『いにしへのよし野をうつすみたけ山さこそがねの花もさくらめ。』

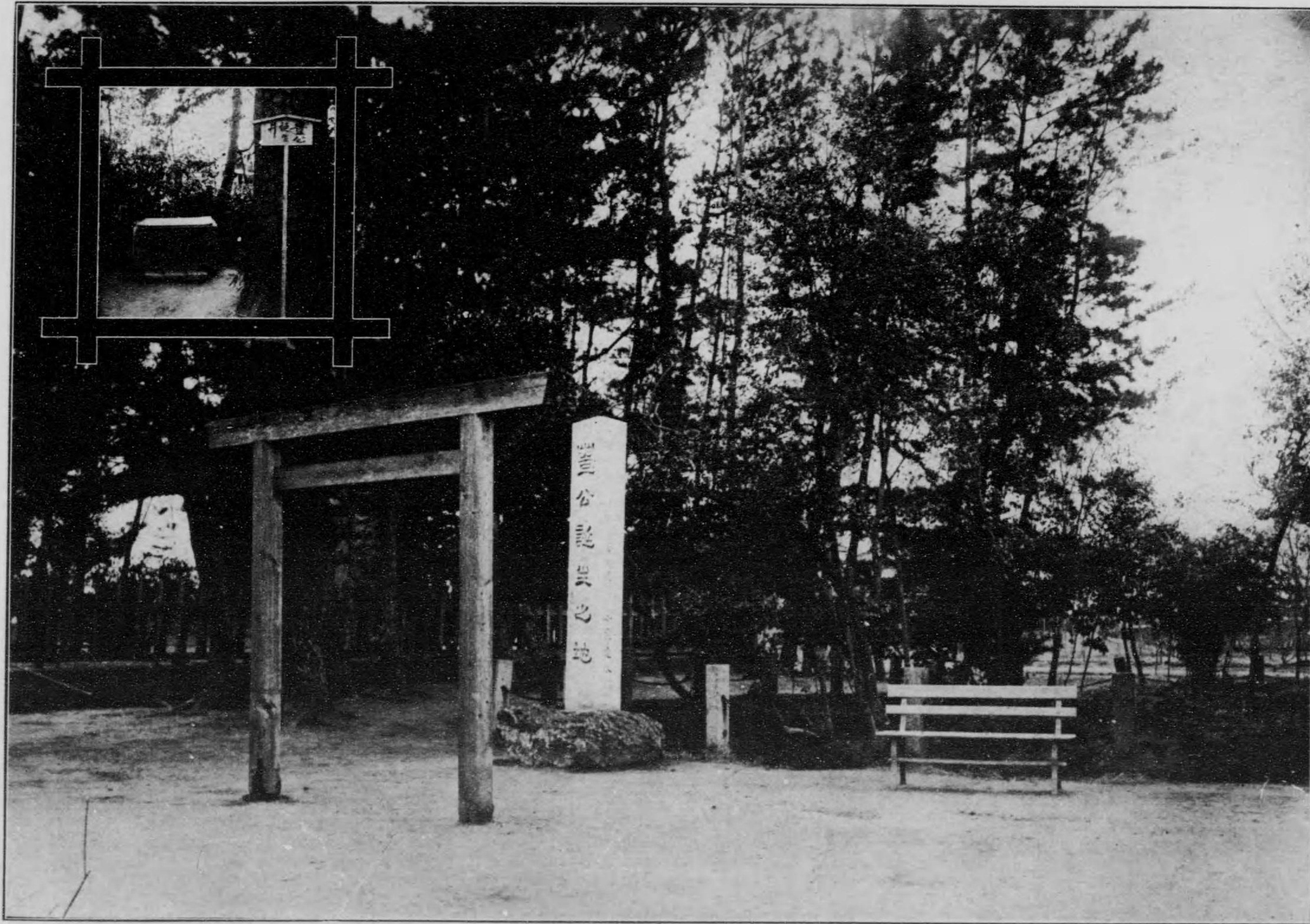
山梨縣下御嶽の頂上に在り、中央線甲府驛より五里餘、荒川の峡谷を辿る、頗る山水の奇勝に富み、巖徑狹深、幽邃として、漸く登るを得べし、社前に古櫻あり、之を金櫻と銘し、採りて社名とす、正面なるは本社、左方なるは神樂殿、寶庫悉く金銀に五彩を交へ、燦爛として結構壯麗を極む、郷社にして日本武尊、少彦名命、素盞鳴尊を合祀す、又吉野の藏王権現を模

此地に御用邸あり、鶴駕屨々柱げらる、圖中左方の一角なる松林中に安置さるるは、鎮海の主森口明神の祠なり。子規の句に『美しきくらげ浮きたり春の海』

Kin no shrine on The top of Mt. Mitake, Kai.

豊公誕生の地

愛知縣下中村にあり、此地は名古屋市の西半里許、愛知郡の西北隅にして、批把島に近し、由來秀吉の遺跡として傳ふもの多し、本園一畝の竹藪は、之を大隱藪と稱し、關白秀吉の宅址なりと、又此處に秀吉手植の松なりと稱するものあり、明治

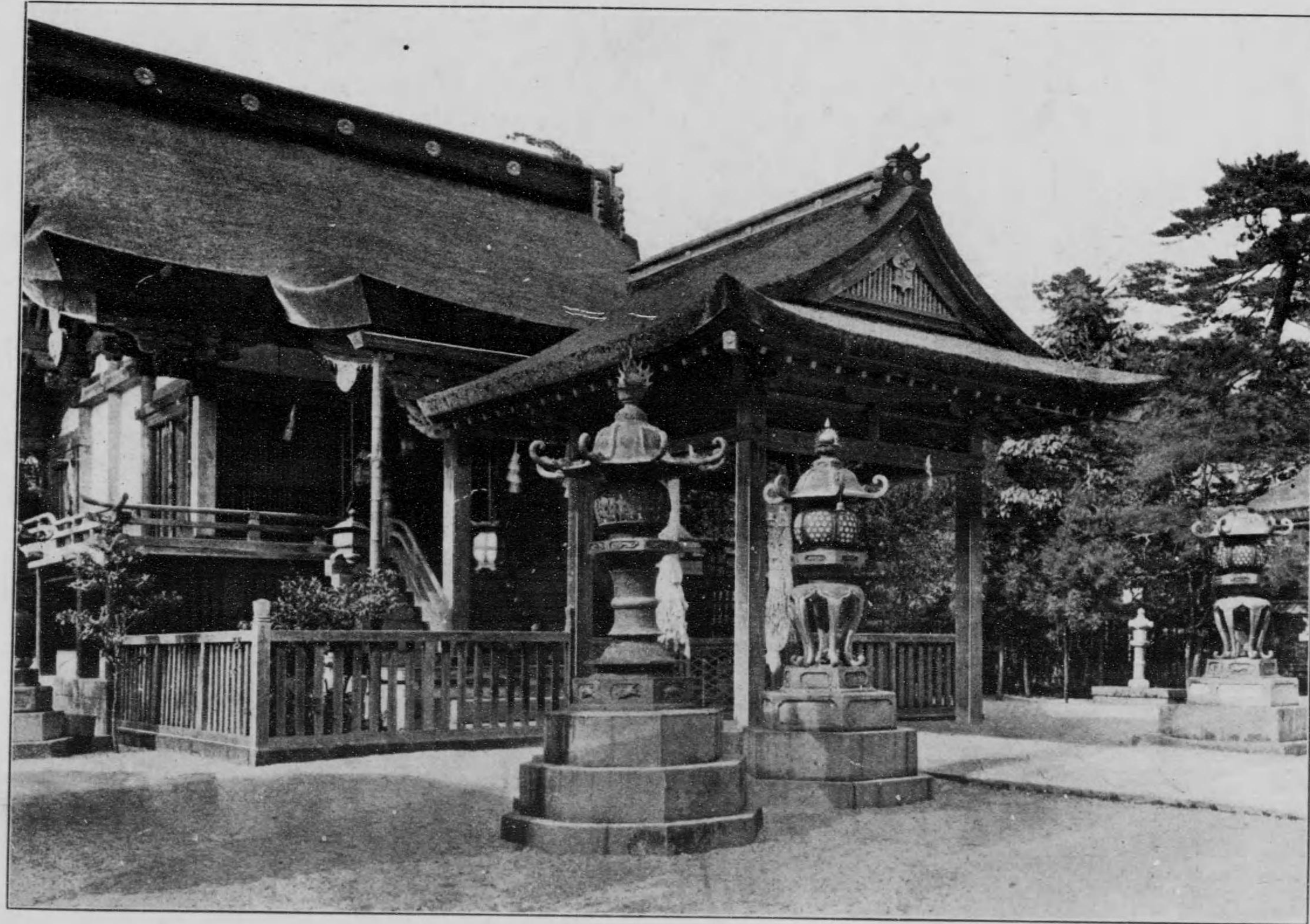


三十四年其の附近一帯の地を相して縣費を以て開設し、中村公園と云ふ、越えて四十二年に至り、更に之を擴張修築す、今や鶴舞公園、浪越公園と並び稱せられ名古屋有数の公園たり、小園は秀吉産湯の井を示す。

氣比神社は越前敦賀にあり。今官幣大社に列し、御食津神伊弉沙別命を祭る。後世専ら仲哀天皇廟と曰ひ、崇敬ことに致し、北國の名祠たり。奥細道に曰く、夕暮に筑賀の津に宿を求む、其夜月殊に晴れたり、あすの夜もかくあるべきにやと云へば、越路の習猶明夜の陰晴計り難しと、主に酒すまめられて、けひの明神に夜參す、仲哀天皇の御廟なり、社頭神さびて松の木

Nakamura park at Nagoya, Owari.

敦賀氣比神社宮



の間に月のも入りたる、御前の白砂霜を敷けるが如し、云々とあり。往時遊行上人、大願發起して、親しく草を薙り土石を荷ひ、道路を修しより参詣道大に革るに至れり。今に祭典の一行事として、之を遊行の砂持と稱す。

氣比神社は越前敦賀にあり。今官幣大社に列し、御食津神伊弉沙別命を祭る。後世専ら仲哀天皇廟と曰ひ、崇敬ことに致し、北國の名祠たり。奥細道に曰く、夕暮に敦賀の津に宿を求む、其夜月殊に晴れたり、あすの夜もかくあるべきにやと云へば、越路の習猶明夜の陰晴計り難しと、主に酒すめられて、けひの明神に夜参す、仲哀天皇の御廟なり、社頭神さびて松の木

三十四年其の附近一帯の地を相して縣費を以て開設し、中村公園と云ふ、越えて四十二年に至り、更に之を擴張修築す、今や鶴舞公園、浪越公園と並び稱せられ名古屋有数の公園たり、小園は秀吉産湯の井を示す。

The Kéhi Shrine, Tsuruga.

3  
V 7 x 1 x 3

宇 治 川



The Uji River, Yamashiro.

近江國琵琶湖の水、勢田に決潰し、山巖に束縛せられ、激湍飛瀑をなし、水聲み石時つ所跳鹿瀨の勝となり、波浪澎湃漸米して津津を濁ぐ所漸米の瀬となつて、淀町に至り桂川を合せ、西南流して木津川に合するを宇治川となす。國は流水寛ろに翠巒奇峰を銀絲に縫ひ、颯々清風の琴聲に和する所、夏時一度此の仙境に一舟を棹さば、涼味津々、三伏の日尙は秋日の如

く、轉た遊子をして歸思を忘れしむ。此邊一帶古來蜜の名所として名あり。因に世に所謂、宇治川の先陣とて、佐々木堤原兩雄の功を傳ふる古戰場は、猶此の下流にあり。

濱寺公園は泉州濱寺町より高石村に亘れる海濱にして、延長二十餘町、細波靜に青松白沙の汀を洗ひて、南方遙に紀伊の連峰を望み、北は須磨、明石、一の谷を一帶として座せる鐵拐ヶ峰に對し、西は煙波漂渺たる間に、淡路島の眠れるを望み、風光絶佳なり。酒樓茶亭あり、凭つて以て眺望を恣にすべく、夏時避暑の客頗る多し。此地曾て大雄寺のありし所、大雄寺



泉 州 濱 寺 公 園



The Hamadéra Park, Izumi.

は浴に濱寺と云へり、即ち濱寺公園の名起りし所以なり。古來より松の名所にして、猶、近時は關西屈指の海水浴場となれり。萬葉の古歌に『無き名のみ世には高師の濱松の情なき色に戀や渡らん』

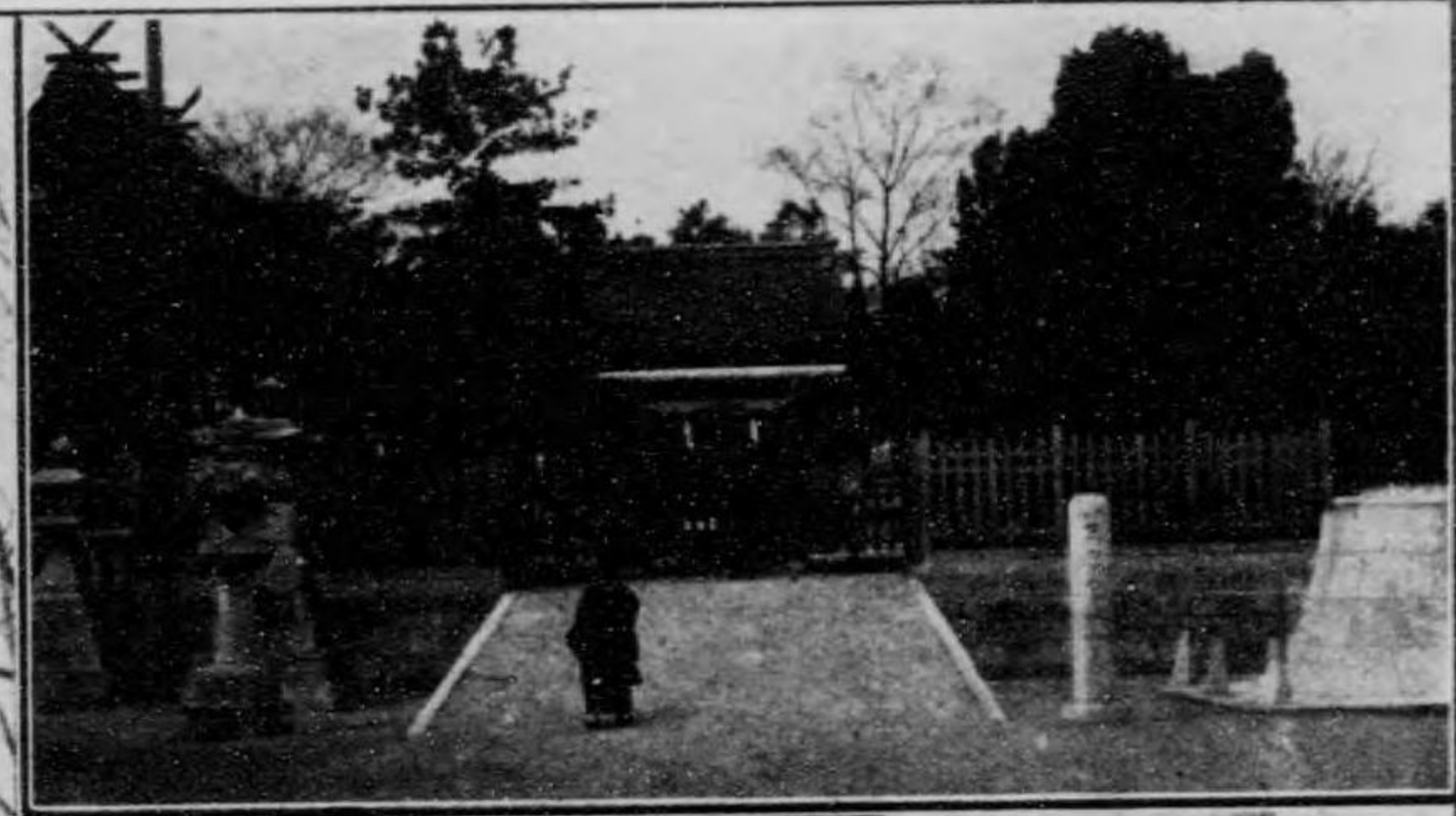
く、轉た遊子をして歸思を忘れしむ。此邊一帶古來蚤の名所として名あり。因に世に所謂、宇治川の先陣として、佐々木祝原兩雄の功を傳ふる古戰場は、猶此の下流にあり。

濱寺公園は泉州濱寺町より高石村に亘れる海濱にして、延長二十餘町、細波靜に青松白沙の汀を洗ひて、南方遙に紀伊の連峰を望み、北は須摩、明石、一の谷を一帶として座せる鐵拐ヶ峰に對し、西は煙波漂渺たる間に、淡路島の眠れるを望み、風光絶佳なり。酒樓茶亭あり、凭つて以て眺望を恣にするべく、夏時避暑の客頗る多し。此地曾て大雄寺のありし所、大雄寺

社神備南甘

社神川湊戸神

湊川神社は神戸市多開通に鎮座す。明治維新の初め特に詔旨を受け建祠し、楠公の忠烈を褒揚し、天下の義氣を養む。同四年祠堂成り次で別格官幣社に列す。祀殿丹波の美形なれども、樹木鬱蒼たる所、結構莊嚴、神氣自ら迫りて、赤誠の名千載の下に芳ばし。境内に正成の碑あり、光岡侯之に題して曰く、『嗚呼忠臣楠子之墓』と、碑陰には明徴士朱之瑜の語を勒す、

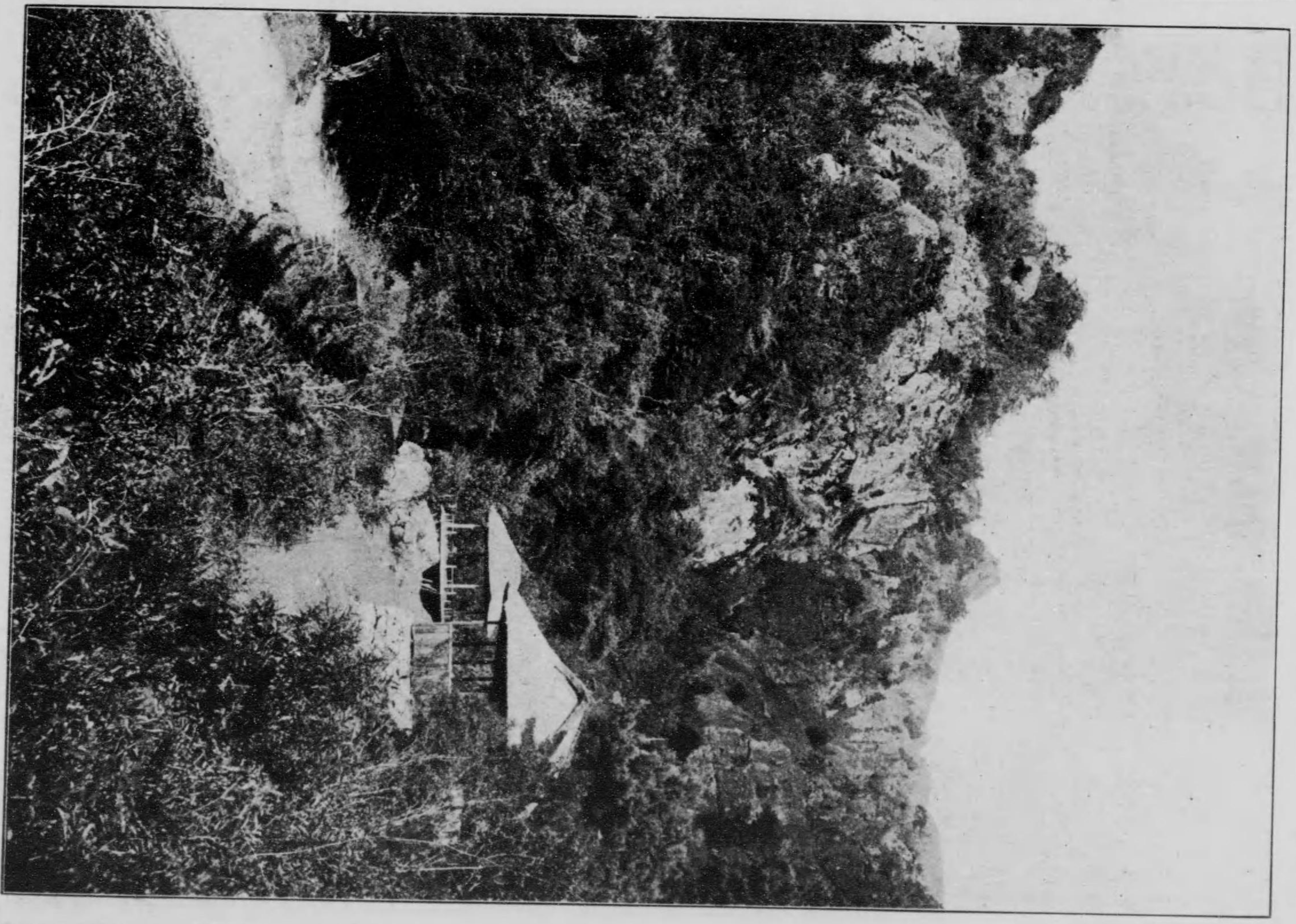


一讀追想暗涙に咽ばしむるものあり。之に隣次して、大楠公夫人の靈を祀れる甘南備神社あり、堂宇壯ならずと雖も、神威嚴にして、楠氏をして後顧の憂なからしめたる功蹟は、夫君の光輝と共に傳へらるる所なり。菅茶山の詩に『千載恩讎兩不存。風雲長爲弔忠魂。客窓一夜聽松籟。月暗楠公墓畔村。』

The Minatogawa Shrine, Kohbe.

一讀追想暗涙に咽はしむるものあり。之に隣次して、大楠公夫人の靈を祀れる甘南備神社あり、堂宇壯ならずと雖も、神威  
 嚴にして、楠氏をして後顧の憂なからしめたる功蹟は、夫君の光輝と共に傳へらるゝ所なり。菅茶山の詩に「千載恩歸兩不  
 存。風雲長爲弔忠魂。客窓一夜聽松籟。月暗楠公墓畔村。」

神 懸 溪



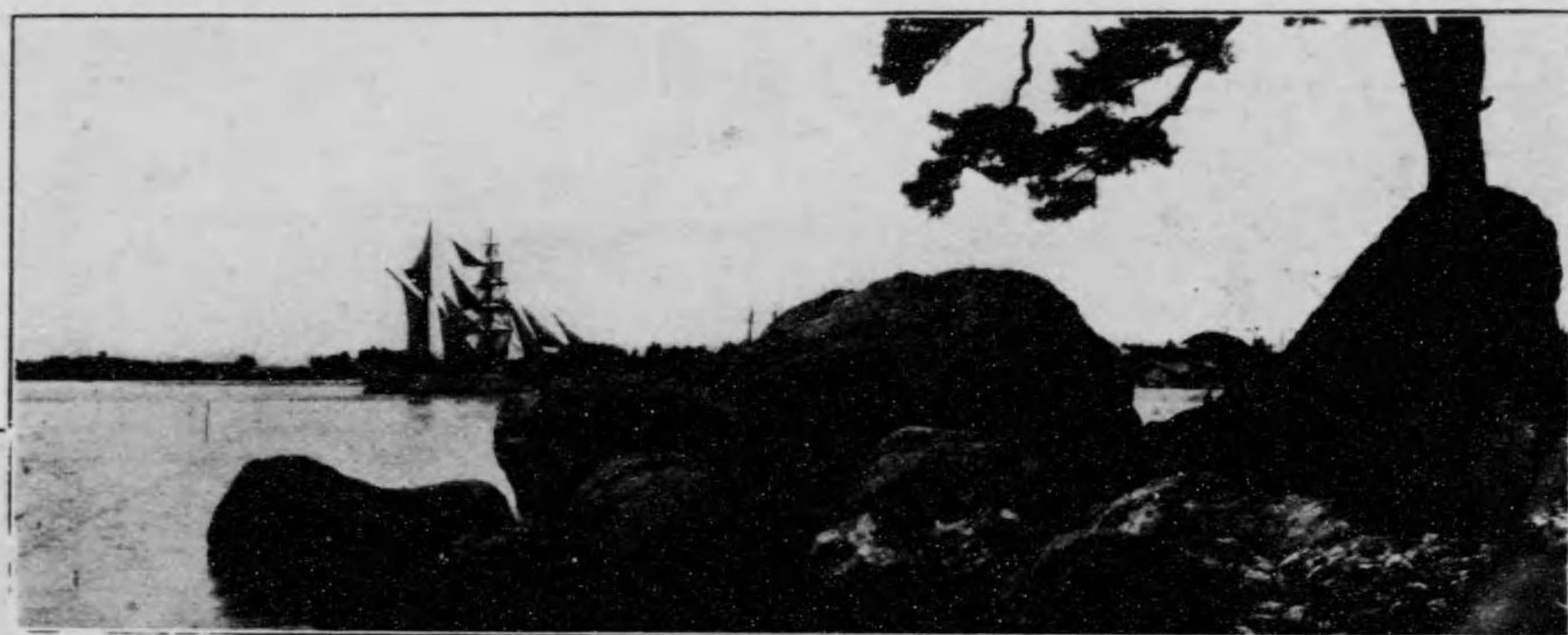
The Kankakei-valley, Shohdo Island.

瀬戸内海は世界第一の絶景にして、小豆島は内海優秀の勝地たり、而して神懸山を以て本島風光の中樞となす。劍懸一に陸花溪又家渡溪と稱す。世に傳ふ往昔應神天皇行幸の時、素を以て釣に懸き樹石に懸け、以て山頂に達し給ひしが故に此名ありと。成島柳北彼しては、夫れ天下の名山多し然れども其奇石靈妙なる秀美清幽なるもの、爽快活

潑なる鐘懸の如き者は余の未だ曾て見ざる所なり。其山質皆石にして、峻嶒巖巖相對峙し、劍の如く門の如く、或は怪獸翔禽の如く、其奇石狀々々からず、而して山中雜樹  
 籟にして、翠松紅楓相映して、深淵飛瀑の間に點綴し、一步一景變幻無窮なく、其頂に到れば回顧皆海にして、瀟阿の山水推備の城市歴々雙眸に横る、眞に宇内の絶勝なりと。

濱 弓

濱 海 子 米



Yunii-hama Beach, Hohki.

Near Yonago.

伯耆國會見郡の西北、美保灣と中海との間を隔する一帯の地を弓の濱と稱す。古名、夜見の島といふ。其名弓状を成すに由るとも、又夜見の訛なりとも傳ふ。一説には神代史に見ゆる夜見國とは即ち是、附近史蹟鱗次するの地と稱せらるれど、今現地に就て親しく其跡を尋ねるに、猶覺後の夢を模索するに異ならず、廢跡舊垣の空しく煙滅せる憾みあり。濱は蜿蜒五里、一帯の白砂にして、萬松遠く連列し、銀波激瀾なる中海の水と相映じ、前は粟江海峽を隔て、遠く出雲八東郡の紫雲

を臨み、大山、高麗山の翠積白雲に摩して後を繞らし、實に橋立の勝にも比すべく、神工鬼作天然の妙技俯仰迎接に違あらず、小園は弓濱の起部米子深浦の港口を示す。岩嶼累々、航路廣しといひ難けれど、爲めに自然の埠頭をなし、風光亦明眉なり。

葦水の昔、源義經、兄範頼と共に、東國十萬の精銳を叱咤して、一の谷、屋島を席卷し、道殘の平氏を急進し、一舉之を撃滅したるの地を境の浦となす。時に宗盛父子は生擒せられ、建禮門院は幼冲八歳の帝を擁し奉り寶劍を持し、神靈を帯挾み、今ぞ知る御裳すそ川の御ながれ波の下にも都ありとは』の辭世を残して、一門の武夫と共に七生の怨恨を懐て覆没せしは、

壇の浦



Dan-ne-ur: (an ancient battlefield), Nagato.

善く世人の知る所、地は長門國豊浦郡馬關海峡の北部に位し、丘陵に沿ふて白沙連り、遠く峰嶺を三方に繞らし、翠風滴らんとする所、松籟徒に當年の悲を誦し、碧波汀渚に咽び、轉た遊子をして、懷舊の情に堪へざらしむるものあり。

源水の昔、源義經、兄範頼と共に、東國千萬の精銳を叱咤して、一の谷、屋島を席卷し、遺殘の平氏を急追し、一舉之を撃滅したるの地を壇の浦となす。時に宗盛父子は生擒せられ、建禮門院は幼冲八歳の帝を擁し奉り寶鏡を持ち、神懸を帯挟み、今ぞ知る御裳すそ川の御ながれ波の下にも都ありとは、の辭世を殘して、一門の武夫と共に七生の怨恨を懷て覆没せしは、

を臨み、大山、高麗山の翠巒白雲に摩して後を繞らし、實に橋立の勝にも比すべく、神工鬼作天然の妙技俯仰接し遠あらす、小岡は弓濱の起部米子深浦の港口を示す。岩巖累々、航路廣しといひ難けれど、爲めに自然の埠頭をなし、風光亦明眉なり。

福 岡 西 公 園

西公園は筑前福岡を去る程遠からぬ一丘地にして、近年修して公園となしたるものなり。横風土記に曰く、秋天いと清く朗かなる日は、名護屋壱岐島などほのかに見え渡り、知らぬ新羅も、見ぬ唐土も、まのあたりに見る心地ぞし侍る、いはんや志賀の蟹の鹽やく烟、唐泊残の浦に立つしら波、唐土人の白沙塗と書る那多の長濱は、唯庭の前まがきのうちに見るが如し、



The Nishi Park, Fukuoka.

東は博多の人烟廣く賑ひ、神代に植し箱崎や、千代の松原は萬古の色をあらためず、西には又百道松原、姪濱、浦山、生の松原、長垂山まで松のはやし長く海濱に連れり、南は福岡の城目の前に近く、松樹の生ひ茂れるは、とこしなへに國家の壽をなせり云々。古來風光絶佳の狀以て知るべし。

富田町は、大草の港として、大草下流の西北端、志岐崎と稱する半島に位置し、巴江の河口を擁し、巴江の支流也  
 故に、富田町は、川崎水門等、豊肥なる大草沖を望み、船の往來に便あり、且、大草の港を擁し、巴江の支流也  
 大草の港は、長崎港と島原間の定期船は、毎日豊肥なる大草沖を望み、船の往來に便あり、且、大草の港を擁し、巴江の支流也  
 此の港は、大草の港として、大草下流の西北端、志岐崎と稱する半島に位置し、巴江の河口を擁し、巴江の支流也



天

富

岡



全

岡

富

天

Panorama of Tomioka, Higo.



風一際し、川田伊豫守殿の兵を救め、助戦大に力め、鹿野侯の江戸より來候する。及  
 ありし、龍定よりて後城塞を廢し、更に幕府の直隸に歸し、長崎代官の山本陣屋を置  
 所本陣大に屬す。



草

景

全

上濱清水灣(羽後)



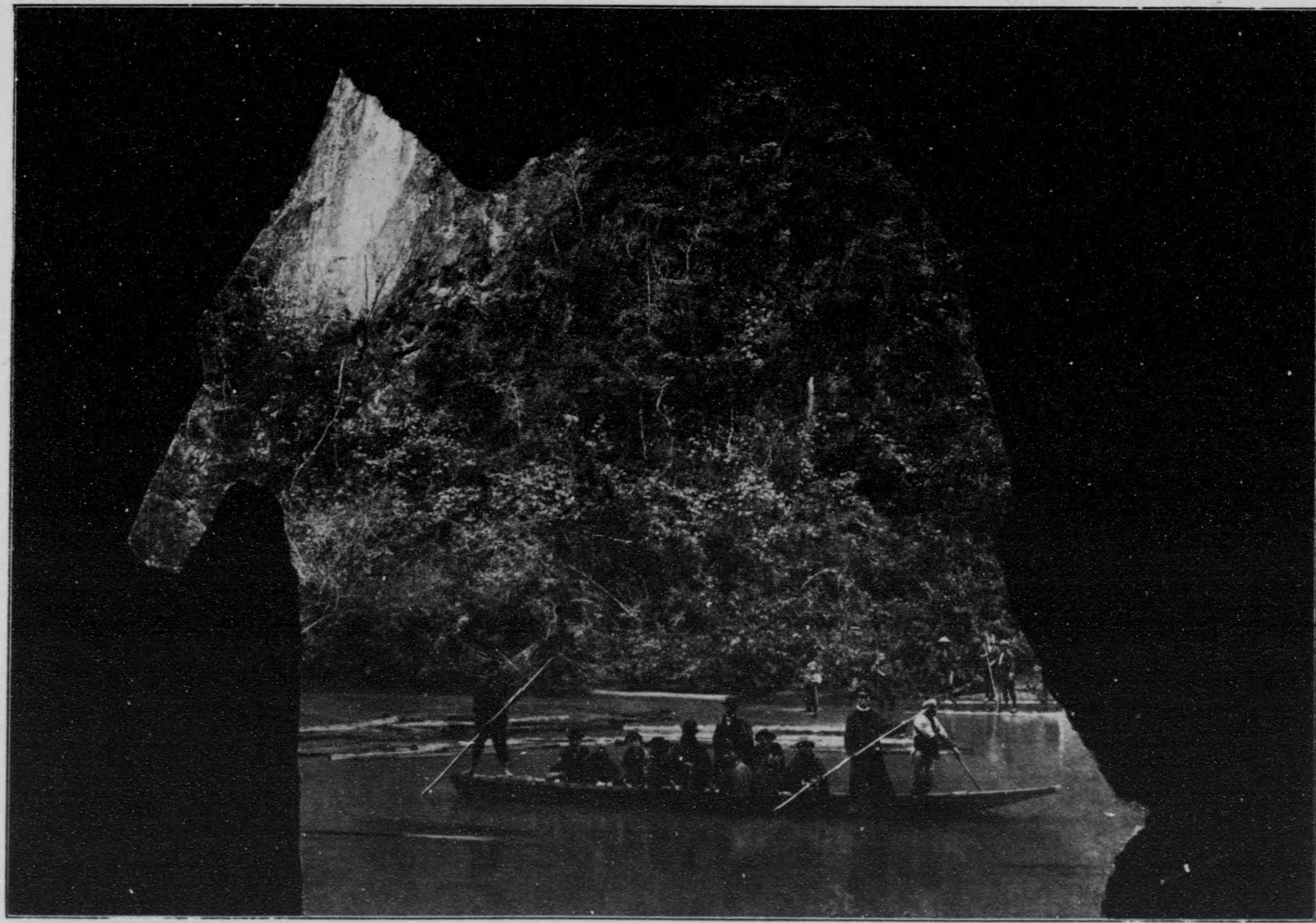
なし。野趣探すべき白糸川口、魁偉人を驚かす屏風巖及寶庫門の洞窟、温乎たる小花磯、寶庫門磯の怪奇、仙巖石の怒濤、之れに清水灣裡の胎蕩、灣外夕照の寂美を加へて上濱の風光甫めて全し。

羽後國由利郡に在り、戊辰の戰場として名高き象潟港を起點とし、山形縣境の三崎に至る二里半の沿海即ち上濱にして、風光頗る明媚、男鹿、半島と相對して秋田の絶勝と稱せらる。又かき貝の産地として縣下第一位を占め、此地に杖を曳く雅客の賞味せざるもの

The Shimidzu Bay, Kamihama, Ugo.

(中 陸) 溪 鼻 貌

巖手縣東盤井郡長坂村を貫流する沙鐵川の上流にあり、二十餘町の間、兩岸の石灰岩層絶壁をなし、高さ五十丈許、雲表を凌いで天日  
を遮り、蒼松綠樹鬱として、千岩を彩る、舟に棹して此の境に到れば、清風袂を吹いて突熱を知らず、秋は紅葉萬岩に映じて、一層の



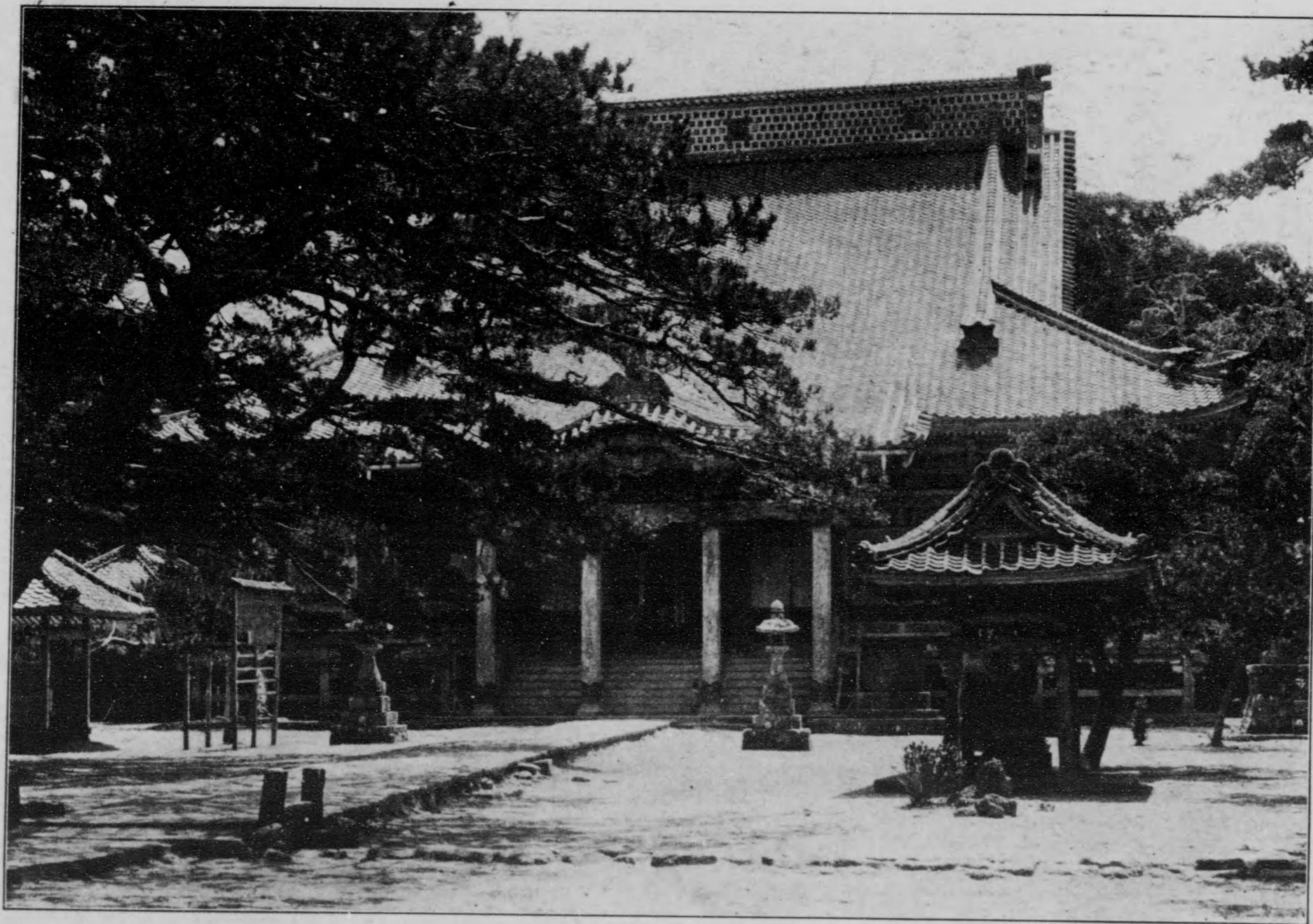
美觀を添ふ。十五勝ありて應接に遑あらず、茲に掲げたるは勝中の毘沙門窟にして、窟中より前岩を見たる景也。窟の深き測るべからず、灯を點じて入れば夏尙寒く、鐘乳下垂し玲瓏として美觀言語に絶す。

Gaibikei, Rikuchū.

安房國小湊に在り、南方海に面し、他は皆山に圍まる、寺の中央に祖師堂を置き、左側に大師堂を置く、方丈は其後山の麓に在り、宗祖日蓮上人、貞應元年二月十六日を以て、父貫名重忠の館に誕生あり、館は即ち本寺の東南、方今の蓮華潭なり、建治二年弟子日



房 州 誕 生 寺



家、師の爲に精舎を遺趾に創建す、明應中地震海潮の爲に精舎を没す、乃ち之を妙の浦に移し、再轉して現地に移る、舊幕府の寺領は五十石なりき。

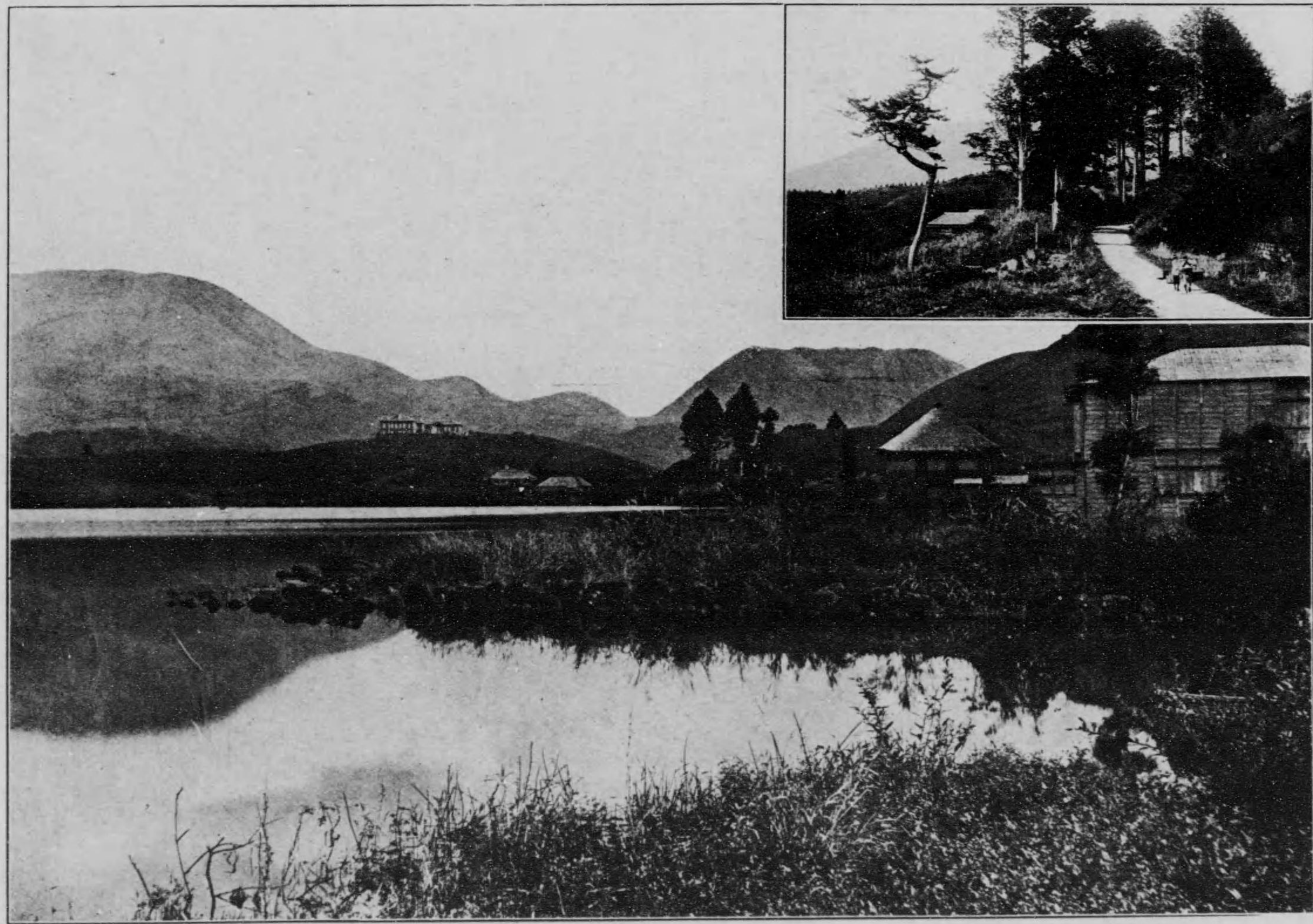
安房國小湊に在り、南方海に面し、他は皆山に圍まる、寺の中央に祖師堂を置き、左側に大師堂を置く、方丈は其後山の麓に在り、宗祖日蓮上人、貞應元年二月十六日を以て、父貫名重忠の館に誕生あり、館は即ち本寺の東南、方今の蓮華潭なり、建治二年弟子日

美觀を添ふ。十五勝ありて應接に遑あらず、茲に掲げたるは勝中の思沙門窟にして、窟中より前岩を見たる景也。窟の深き測るべからず、灯を點じて入れば夏尙寒く、鐘乳下垂し玲瓏として美觀言語に絶す。

The Temple Tanjoji, Awa.

(模 相) 湖 の 蘆 根 箱

蘆の湖は箱根山頂の一大湖にして、東西二十丁餘、南北一里二十三丁、周圍四里三十丁也。出で早川となり、東流約五里、小田原町の西に至りて海に入る。湖の形瓢の如く、瓢底南面し、帯に當る方に金時山を仰ぎ、西方遙かに芙蓉峰を望み、時に其秀影を湖中



に現す。之を箱根の逆さ富士と云ふ。湖水透冷、三伏尙浸手久しきに耐えず、湖に鱒を産し、早川に鮎を生ず。峠は古來難路を以て聞えしも近時舊觀を改め、兒女尙易々として越え得ること洽く人の知る所なり。

Ashi-no-ko Lake, Sagami.

東海道線の一驛なり。名山の名字内に聞えたる富士山姿も、之を甲州より望めば清峻に過ぎ、之を豆相に仰げば高美に偏す、秀麗恒絶、名山の脈膊、耳して聞えんとする極美は、之を田子の浦一帶興津浦原邊に求むべし。駿河灣頭、水清らかに白帆浮び、漣波激流

興 津 富 士 (河 駿)



Mt Fuji from Okitsu, Suruga.

芙蓉の影を映し、其美や別るゝに忍びず、其大や心胸を拓くに足る。江尻城跡、清見湯、清水港などの勝地皆近くに在り。十六夜日  
肥に曰く、猶ざりに見る目ばかりを假枕むすびおきつと人に語るな

東海道線の一驛なり。名山の名字内に開えたる富士山姿も、之を甲州より望めば清峻に過ぎ、之を豆相に仰げば嵩美に偏す、秀麗恒  
絶、名山の脈膊、耳して聞えんとする極美は、之を田子の浦一帯興津浦原邊に求むべし。駿河灣頭、水清らかに白帆浮び、漣波蕩

に現す。之を箱根の遊き富士と云ふ。湖水透冷、三伏尙浸手久しきに耐えず、湖に鱒を産し、早川に鮎を生ず。鮎は古來難踏を以て  
聞えしも近時舊觀を改め、兒女尙易々として越え得ること治く人の知る所なり。

松 本 城 趾 (信 濃)



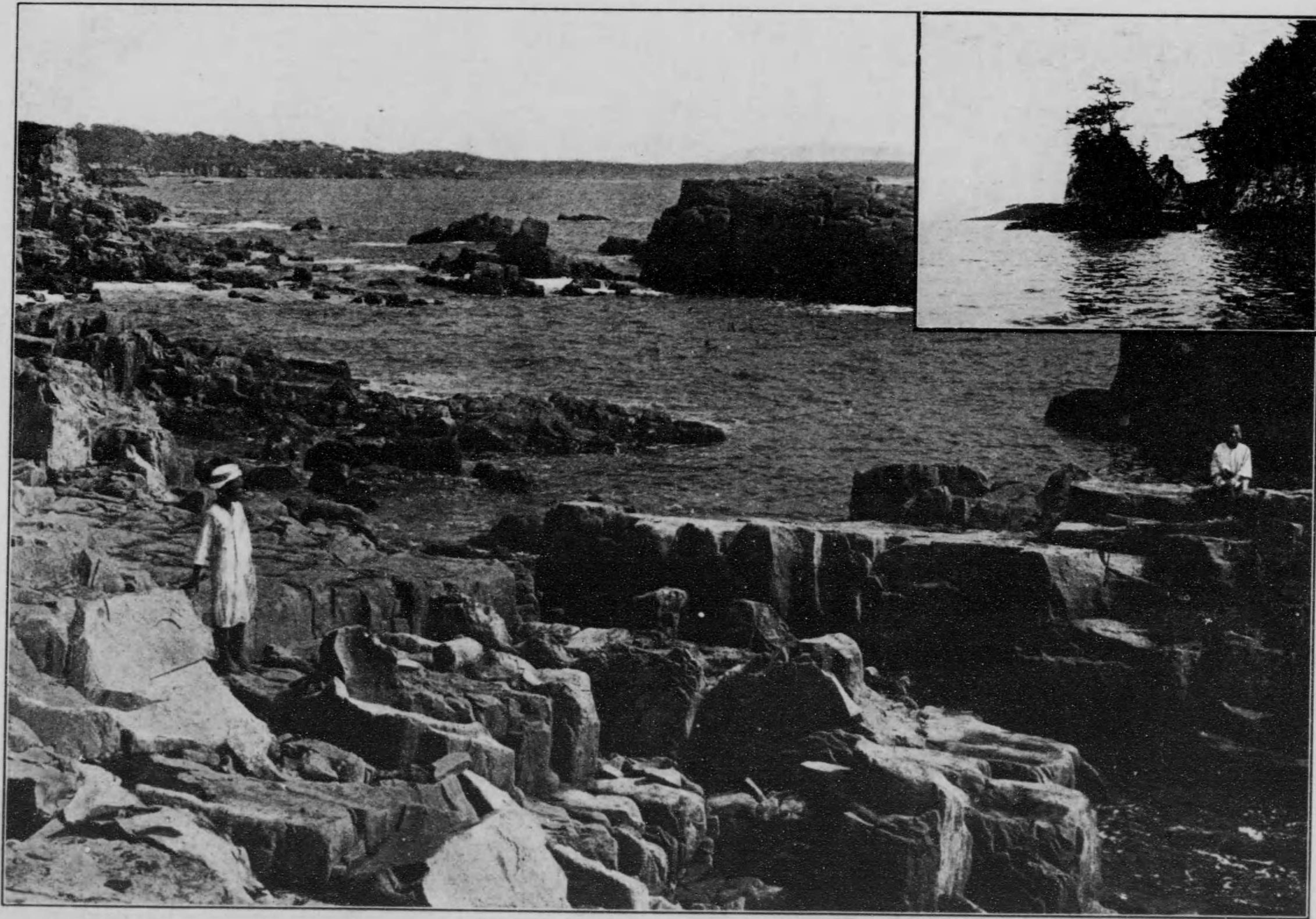
信州松本市街の中央とす、西北は放光寺山、蟻ヶ崎に連接し、楢井川東邊の丘陵に據る、舊名を深志城と呼び、今や廢墟と爲れりと雖も、五層の樓閣猶存す。史に曰く「天正十年六月織田氏の將士の信州を去るや、上杉氏の兵川中島に入り、深志を取り、小笠原の

一族洞雪入道を降附す、小笠原貞慶又至り、撃つて深志を復し、歎を徳川氏に通ず、後貞慶下總に移り、豊臣氏松本城十萬石を石川伯耆守康昌に賜ふ云々」

北陸支線三國港驛を距る二十餘丁の地に在り、北陸有数の勝地として知られ、就中早曉昇日の美は眼前の宏博、奇巖の起伏相待つて他の追隨を許さざる所なり。沿岸青松連り、白沙相敷き、濤聲と松韻と相和し相激して旅客の愁を洗ふ。浮世畫に見るが如き紺青一

The Old Castle of Matsumoto.

東 尋 坊 越 (前)



帯の日本海の大観は遙かに雲際につゞき、白帆點々、畫趣を添ふ。雄蕩と壯麗とは多く太平洋沿岸に見ざる處、隣村崎浦に通ずるの大洞窟は、古昔辨慶の遁れし遺跡なりと傳へ、今尙訪ふ者多し。附近に福良の一勝景あり、島嶼の織美を以て聞ゆ。

北陸支線三國港驛を距る二十餘丁の地に在り、北陸有数の勝地として知られ、就中早曉昇日の美は眼前の宏博、奇巖の起伏相待つて他の追隨を許さざる所なり。沿岸青松連り、白沙相敷き、濤聲と松韻と相和し相激して旅客の愁を洗ふ。浮世畫に見るが如き紺青一

Tojinbō, Yechizen.

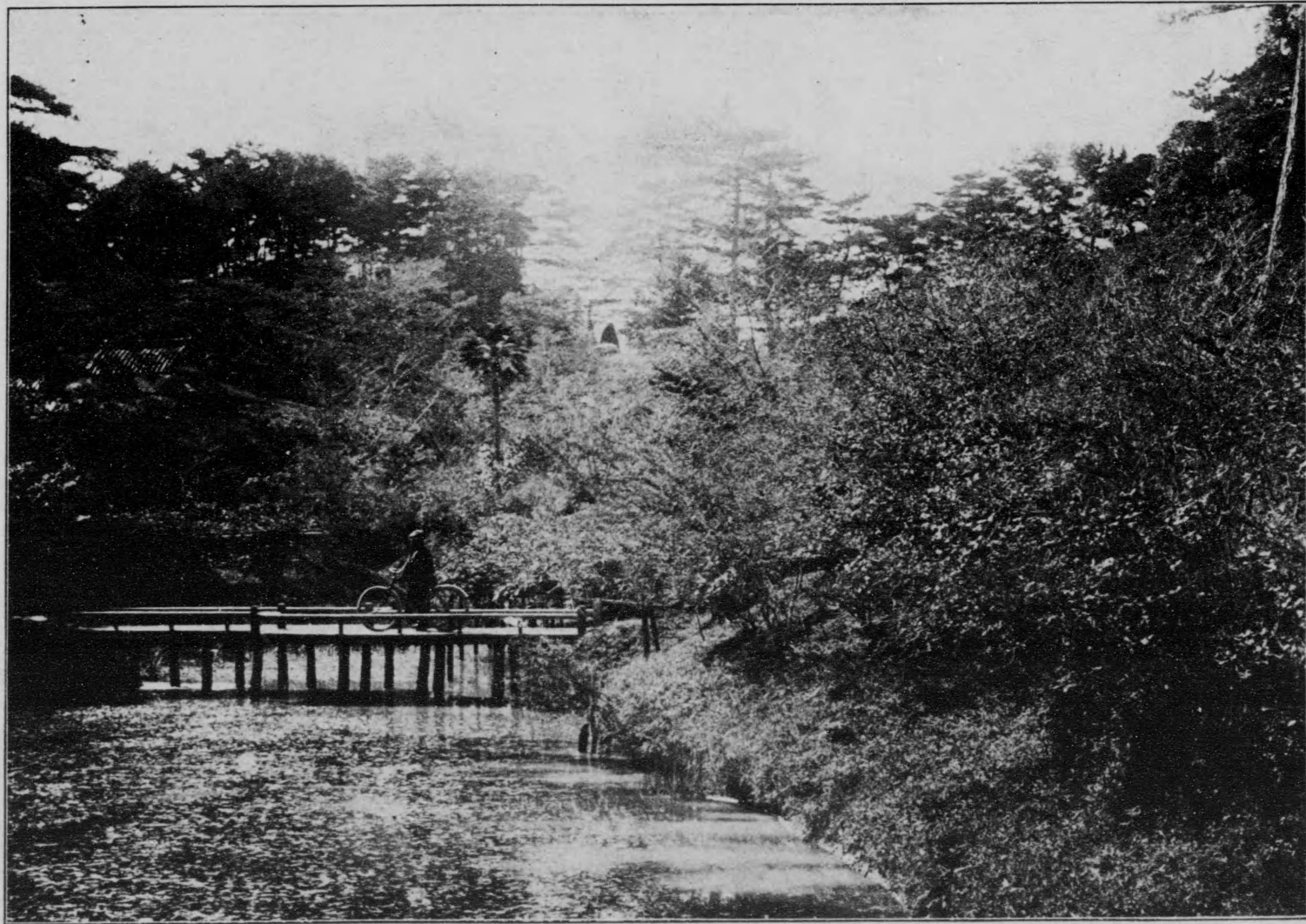
一族洞雪入道を降附す、小笠原貞慶又至り、撃つて深志を復し、歎を徳川氏に通ず、後貞慶下總に移り、豊臣氏松本城十萬石を石川伯耆守康昌に賜ふ云々





津 市 公 園 (伊 勢)

舊時藩侯藤堂氏の別墅にして、維新後大いに荒蕪に歸せしが、明治十年當時の縣令たりし岩村定高官に稟して市の公園となせり。地  
域は安濃川の清流に臨める天然の丘陵にして、園内老樹多く其間泉水を瀦へ、一方多くの櫻樹及び薔躑を栽えたるを以て、花期に至



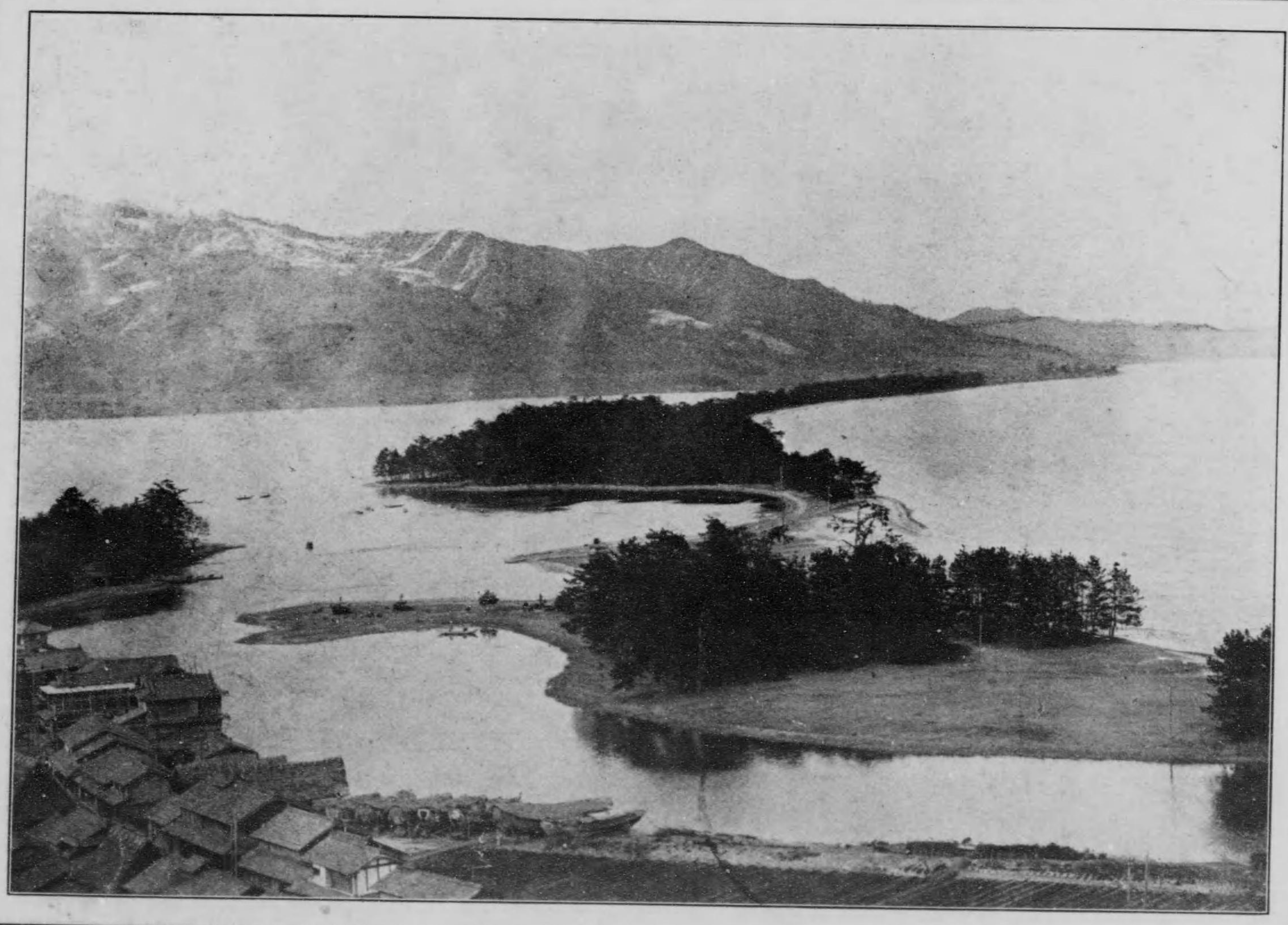
れば關西人士の來り遊ぶもの少なからず。平時と雖も一度丘巔に登れば群峰の翠色伊勢灣の水に映じ、帆影浪委悉く一眸の下に集り  
最も展望に富めり。關西屈指の名園の一たり。

Tsu Park, Ise.

日本三景の一として人口に膾炙せる地なり、別名を子日岬と稱し、沙洲横出すること二十七町四十間、幅三十二間、南端文珠村に對  
す、蒼松蜿蜒として連り、一帶の風光筵に描けるが如し。往昔より知られしと見えて。此地に關する吟咏多し。柴栗山の詩最も著は

天 橋 立 (丹 後)

る「風自西極動 波接北溟平 空裡天橋起 波中寶刹明 龍燈飛岸樹 蜃邸雜津城 如借扶搖使 圖南九萬輕」(本文參照)



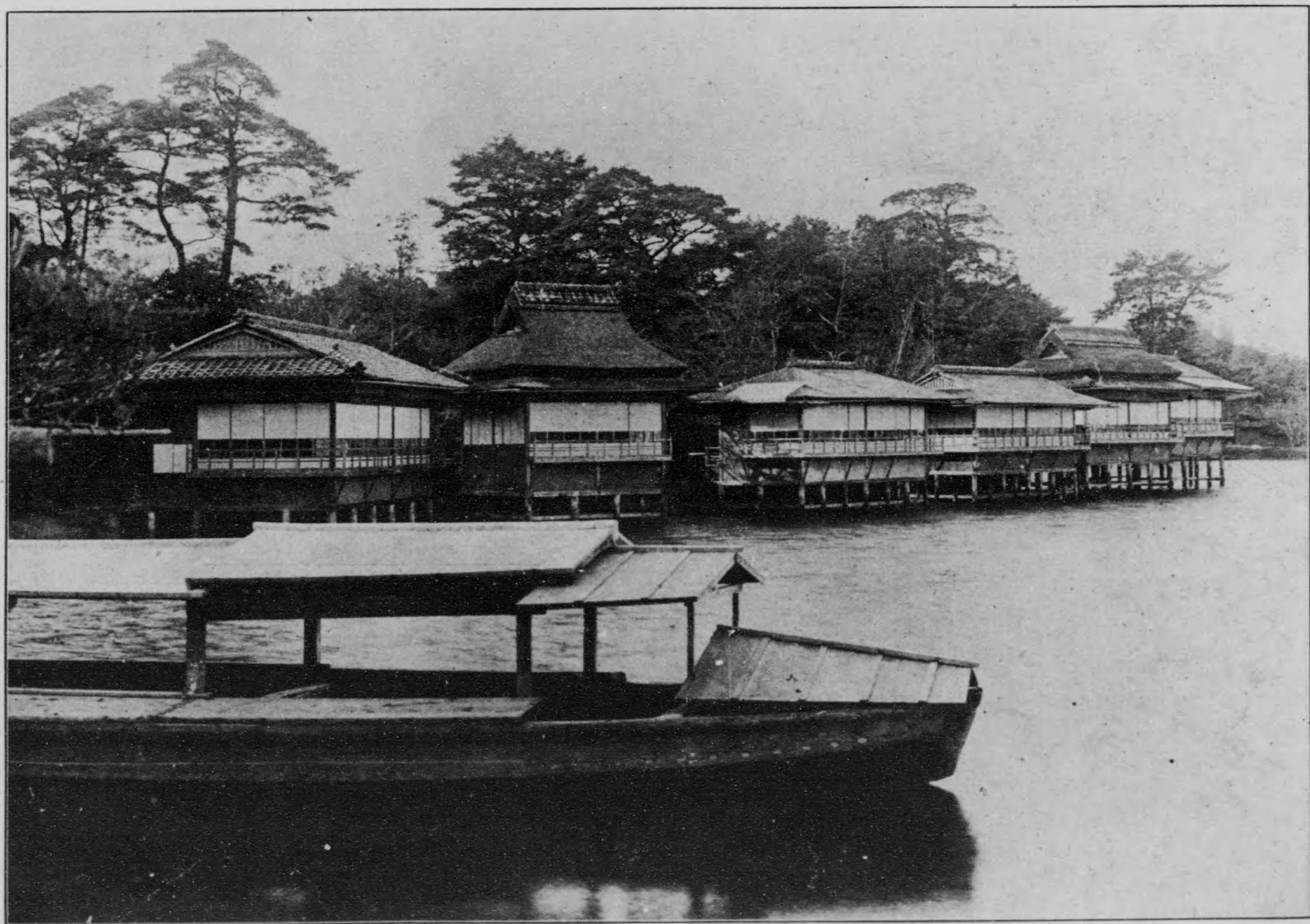
Amanohashidate, Tango.

日本三景の一として人口に喰炙せる地なり、別名を子日岬と稱し、沙洲横出すること二十七町四十間、幅三十二間、南端文珠村に對す、蒼松蜿蜒として連り、一帶の風光筵に描けるが如し。往昔より知られしと見えて。此地に關する吟咏多し。柴栗山の詩最も著は

れば關西人士の來り遊ぶもの少なからず。平時と雖も一度丘巔に登れば群峰の翠色伊勢灣の水に映じ、帆影浪委悉く一眸の下に集り最も展望に富めり。關西屈指の名園の一たり。



長岡ノ池(山城)



山城國乙訓郡向日町長岡神社境内に在り。京都の次驛向日町より僅かに十町餘。地は即ち延暦三年桓武帝奠都の舊蹟にして近く大山崎村淀河に臨み、當時「水陸の便ある地」と詔ありき。同十三年葛野郡宇太に遷都あり、今其趾を訪ぬるに由なし。池水清澄、一方翠

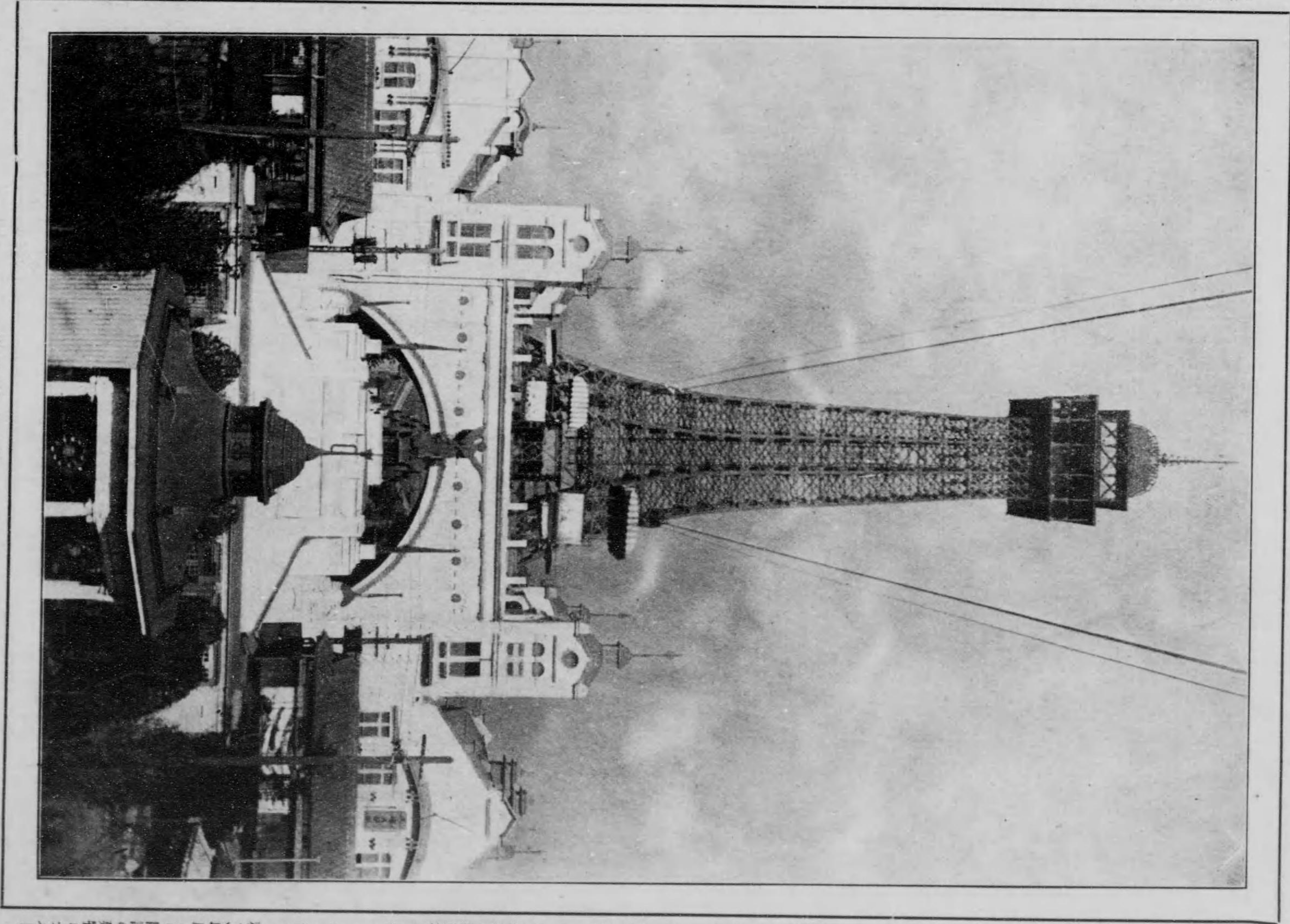
丘を繞らして綠影鮮やかに涼風を生じ、旗亭亦瀟酒、遊船數艘を以て客の舟遊に供ふ。晚春期の躑躅及秋期紅葉の名所を以て聞え、京阪人士の此地に杖を曳くもの少なからず。

The Pond of Nagaoka, Yamashiro.

丘を繞らして綠影鮮やかに涼風を生じ、旗亭亦瀟洒、遊船數艘を以て客の舟遊に供ふ。晩春期の躑躅及秋期紅葉の名所を以て聞え、京阪人士の此地に杖を曳くもの少なからず。



通 天 閣 大 阪 (市)



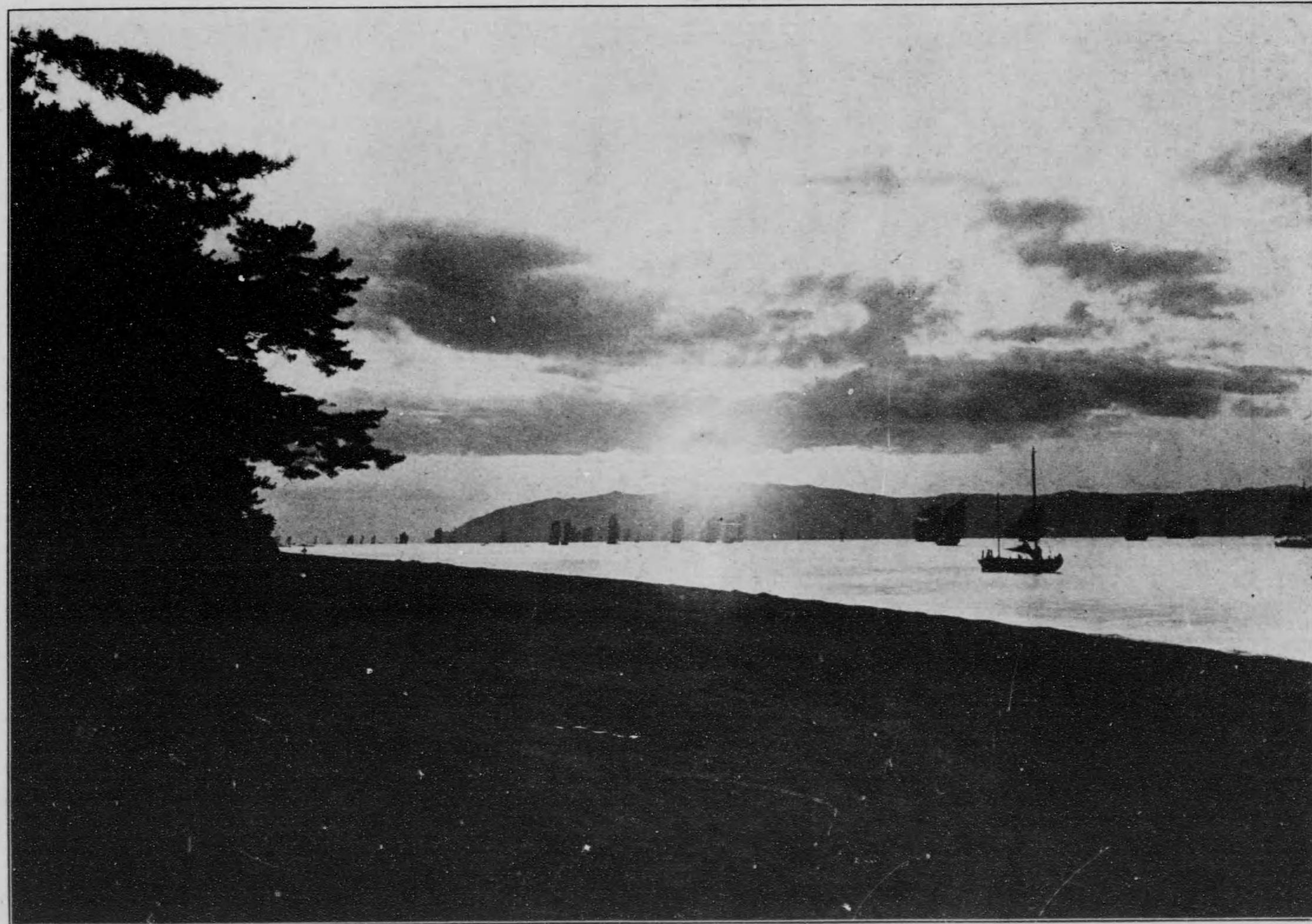
ク白塔上に通ずる二條の鐵索を架し、六人乗り飛行機型の鐵車により七十有餘間の空中を滑走し、市街の俯瞰最も佳なり。平均一日の搭乗者一千人餘と註せられ、大阪市を訪ふもの、皆その偉觀を仰がざるもの無し。

大阪市南區東美談町に在り。明治四十四年七月起工、同四十五年七月竣成、爲に費したる砂材三百五十餘噸、工費十八萬五千圓と計さる。塔脚のみの高さ八十八尺、塔脚より頂上まで更に二百尺、天王寺公園の關門として巍然たる巨峯天を摩する想あり。地上五十尺にして二百餘坪の運動場ありルীগランドと稱す此處より隣設の建物ルナバエー

Tsutenkaku, Tower Osaka.

須 摩 (津 攝)

攝津國武庫郡に在り。古くは源氏物語の須摩の巻に聞え、中古建武の戦に、足利勢五十萬餘、楠の七百餘騎に驅立てられて引き退きしも此處なり。風景佳絶。白沙明らかに亂松相映じ、淡路の青巒繪の如く浮び、白鷗青帆の若海を彩るあり、海士の苦屋の飯炊ぐ煙



Suma, Settsu.

の野趣もありて、須摩寺。松風村雨堂。網敷天神、一の谷、敦盛塚等の舊蹟は何れも十數町以内在り。蕉翁の句に「月はあれどるすのやう也、須摩の夏」

境港の對岸島根縣出雲國八束郡の東南端に在り、境より航程約四十分、港内水深く波靜かなれば、北海航行の船舶來つて風浪を避くるもの多し、市街は後に山を負ひ、海に望み東西約七町南北半町、一灣の水を隔て、伯耆の大山を望み、山粧水色の明媚なる能く筆の及ぶ所にあらず、殊に古來船客船員の遊樂地として名高く、絃歌山に響き、嬌聲水に應へ、陶々として四時春の如し。因に歴朝皇

美保の關の(出雲)



Miho-no-séki, Idzumo.

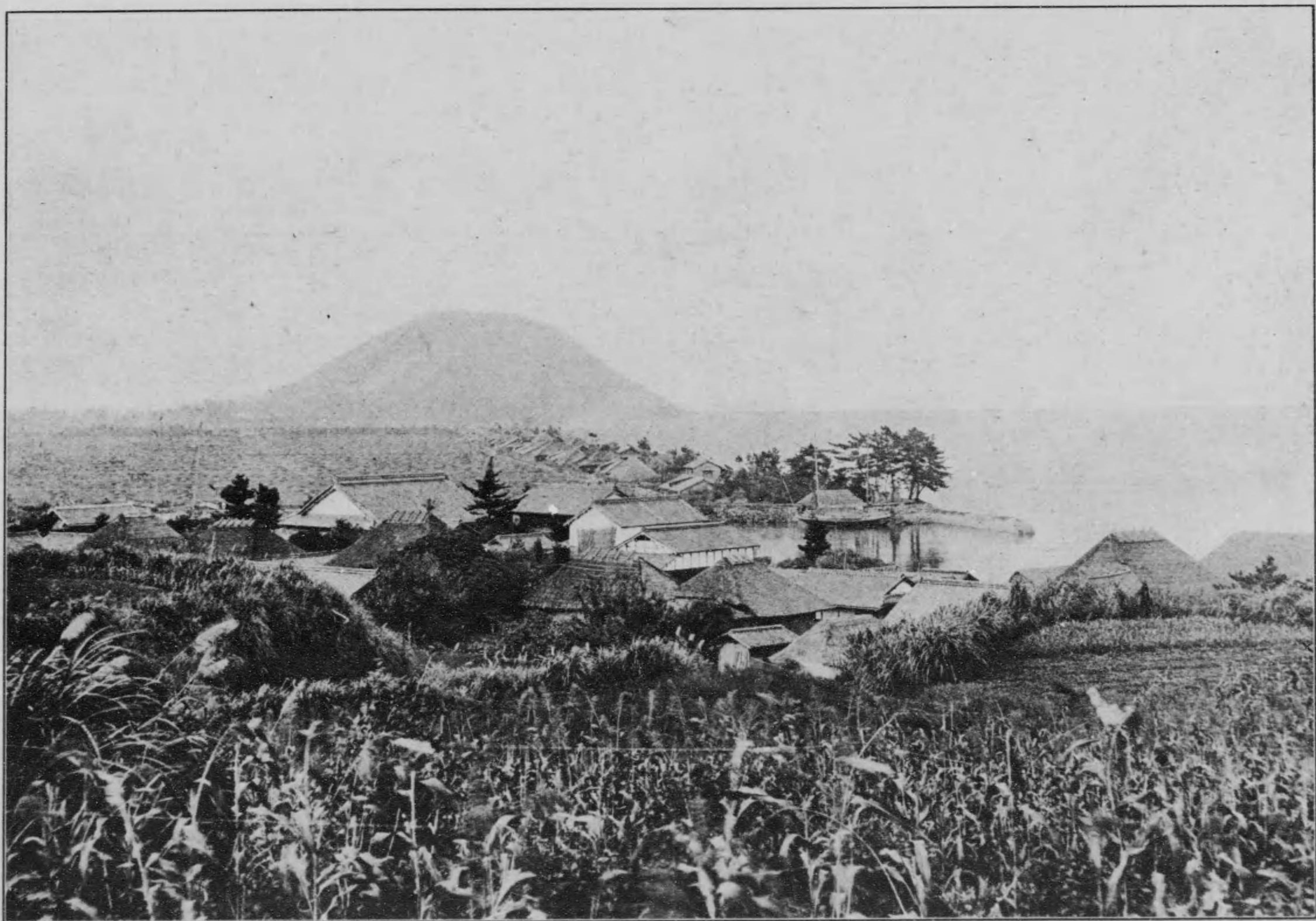
室の御崇敬深き美保神社は關の西北に在り、國幣中社にして事代主命三保津姫命を祀る。先帝に於かせられても、御劔を勅納あらせらるゝなど出雲大社に亞ぐ、此國の舊社なり。

境港の對岸島根縣出雲國八東郡の東南端に在り、境より航程約四十分、港内水深く波靜かなれば、北海航行の船舶來つて風浪を避くるもの多し、市街は後に山を負ひ、海に望み東西約七町南北半町、一灣の水を隔て、伯耆の大山を望み、山粧水色の明媚なる能く筆の及ぶ所にあらず、殊に古來船客船員の遊樂地として名高く、絃歌山に響き、嬌聲水に應へ、陶々として四時春の如し。因に歷朝皇

の野趣もありて、須摩寺。松風村雨堂。網敷天神、一の谷、敦盛塚等の舊蹟は何れも十數町以内に在り。蕉翁の句に「月はあれどるすのやう也、須摩の夏」

秋 穂 港 周 (防)

吉敷郡に在り。別名を大海の港と云ひ、秋穂村に屬す、三面悉く海に面し、宛然島端の觀を爲す。古史を按ずるに、永録十二年秋大内輝弘九州の土豪として竊に中國を窺ひ、長門國秋穂白松浦へ打上り、それより陸路山口へ入部す。同十月二十三日吉川元春長府を

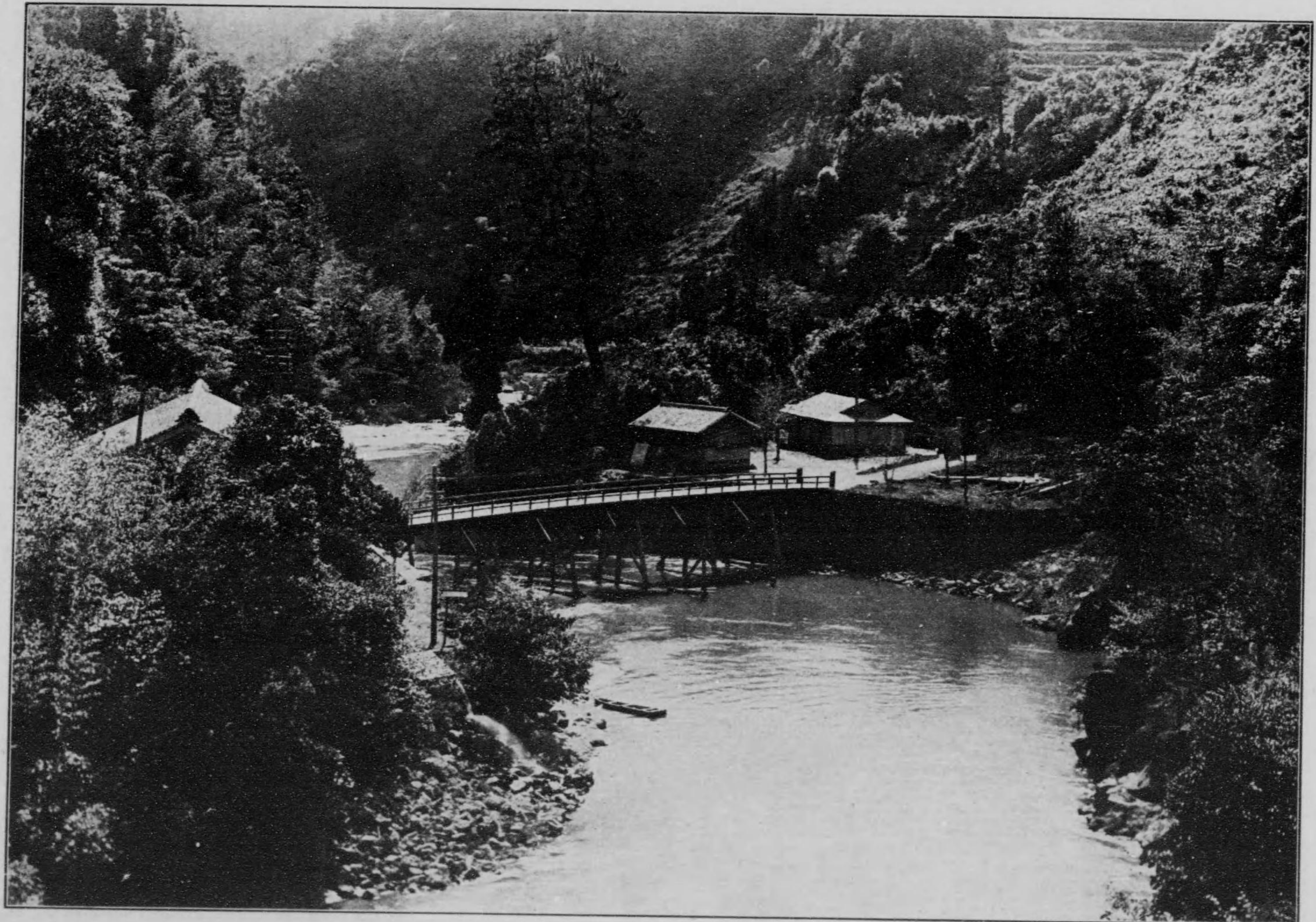


Akibo Harbour, Suwo.

打立、舟木へ着陣し、明日山口發向と聞えしかば、輝弘の軍氣沮喪し、士卒又戰意無し。輝弘止を得ず山口を落ち、秋穂白松へ出で再船に取乗つて逃れ歸りぬ。今、岸崖曲折、樹影多姿、自ら一種の景趣を爲す。

鹿兒島縣日置郡串木野村に在り。島津家は寛永十七年初めて横川永野の金礦を開き、其後専ら諸所に探り、此處にも着手したり。近年々額金凡四貫目、銀十貫目、向田鍾を主眼とし、輝石安山岩中に發達す。山名を冠嶽と云ひ、薩摩日置二郡の交界に當り、一名を

島津鑛山(薩摩)



Shimadzu's Mount, Satsuma.

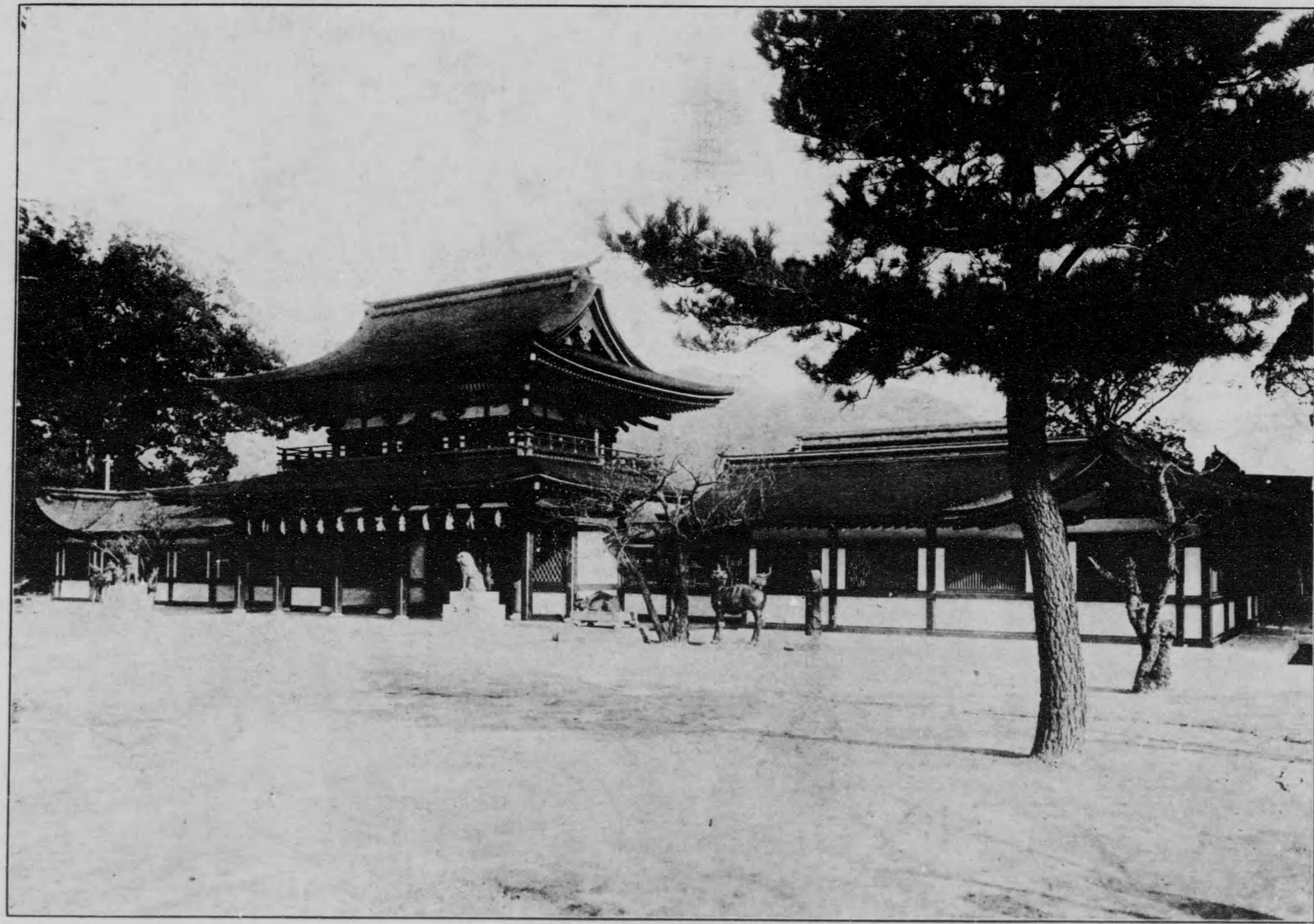
薩摩山と稱す。山下より之を望めば儼然として儀容を整へ恰冠立するに似たり。三峰並び立ち。山中祀る所の熊野神社はその東嶽の麓に在り、最も高峻なるを西嶽とす。

鹿児島縣日置郡串木野村に在り。島津家は寛永十七年初めて横川永野の金鑛を開き、其後専ら諸所に探り、此處にも着手したり。近年々額金凡四貫目、銀十貫目、向田鍾を主眼とし、輝石安山岩中に發達す。山名を冠嶽と云ひ、薩摩日置二郡の交界に當り、一名を

打立、舟木へ着陣し、明日山口發向と聞えしかば、輝弘の軍氣沮喪し、士卒又戰意無し。輝弘止を得ず山口を落ち、秋穂白松へ出で再船に取乗つて逃れ歸りぬ。今、岸崖曲折、樹影多姿、自ら一種の景趣を爲す。輝弘止を得ず山口を落ち、秋穂白松へ出で



太宰府天満宮（前 筑）



Temmangū-shurine, Dazaifu.

現時は太宰府神社と稱し、官幣に列す。筑前國筑紫郡太宰府村に在り。舊時安樂寺の普願又は聖廟と稱したり。近年安樂寺の寺號を撤去し、神佛の混淆を除く。祠前には神社奉仕の人、並に庶民の居室多くして、殷賑なる市街を成す。呼びて宰府町といふ。四方よ

り神社参拜の客集り来るを以て、旅店を營むもの亦少なからず。福岡市を去ること僅に四里餘、二日市停車場の東北三十町許に位し、太宰府址には西方十町を距てて接せり。

農學の淵藪たる東北帝國大學農科大學は、全部古河洞山王の出資建設に係り、其宏潤なる北海平野を天地とする規模の大なる外、更に特殊の學ぶべき學風あるを見る。明治八年農學校の設立に際し、教頭として聘したる米人ウイリヤム、スミス、クラーク氏は嘗てケンブリッヂ大學に研學し、南北戰爭には北軍の指揮官として劍を乗りて戦ひし事あり。性豪邁不撓、着任後二十三名の僅少な

雪の札幌農大校庭 (北海道)



The Tohoku University Sapporo.

學生に對し、渾身の力を發揮して教授せしのみならず、人格の修養に意を致したる感化猶傳はれるを見る。土語サツボロは廣き野原を意味すと聞く、農大を置く處を得たり、校庭亦互樹林立昔時の追想に價す。

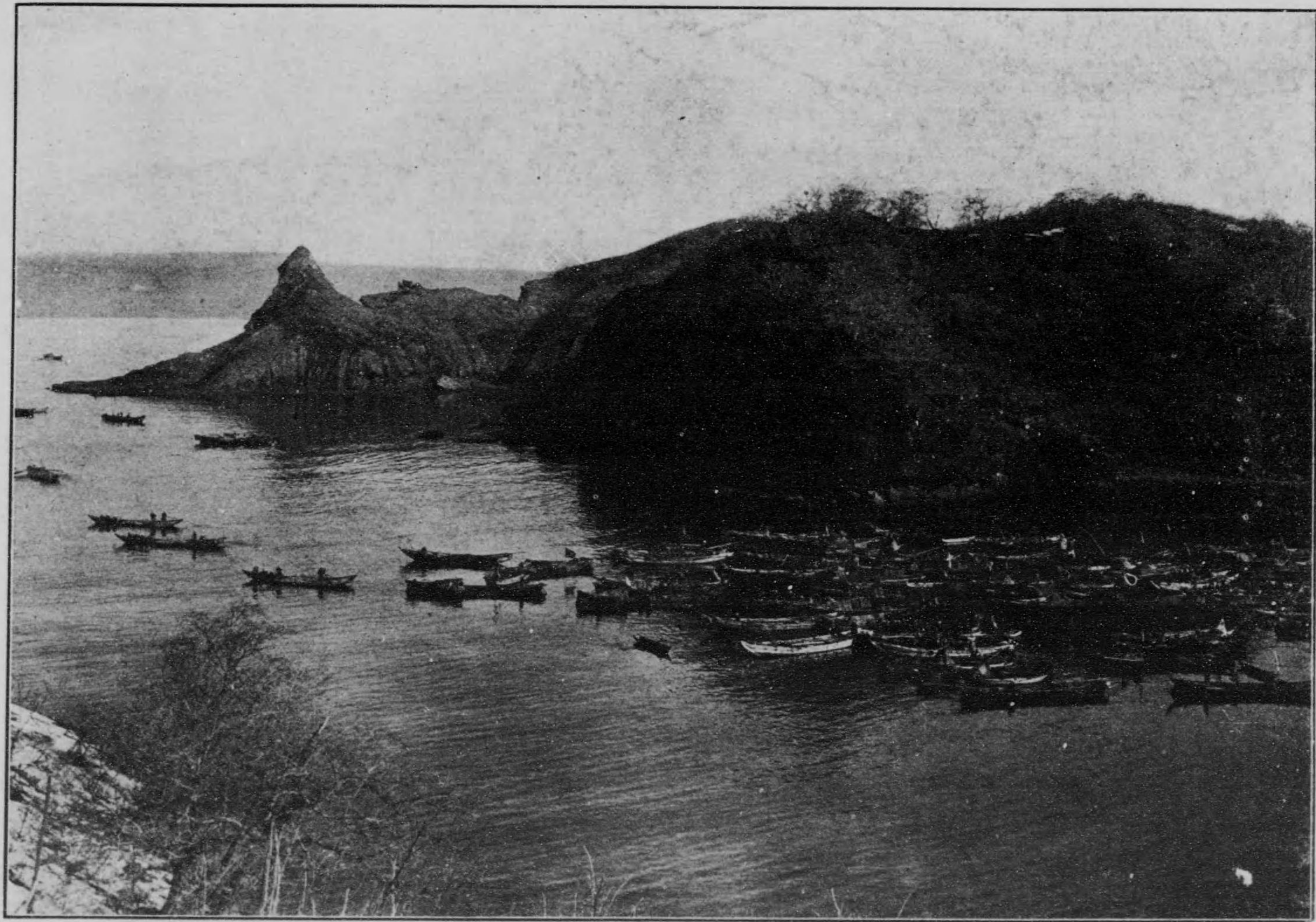
農學の淵藪たる東北帝國大學農科大學は、全部古河剛山王の出資建設に係り、其宏潤なる北海平野を天地とする規模の大なる外、更に特殊の尊ぶべき學風あるを見る。明治八年農學校の設立に際し、教頭として聘したる米人ウイリヤム、スミス、クラーク氏は嘗てダツチンタン大學に研學し、南北戰爭には北軍の一指揮官として劍を乗りて戦ひし事あり。性豪邁不撓、着任後二十三名の僅少な

り神社參拜の客集り來るを以て、旅店を營むもの亦少なからず。福岡市を去ること僅に四里餘、二日市停車場の東北三十町許に位し、太宰府址には西方十町を距て、接せり。



忍 路 浦 (道海北)

忍路鼻は後志監谷の窓岩鼻の西方約三哩にあり。高二八四呎、矮樹雜草芳生す。此鼻は余市灣の東側を成せる小半島の外端にして、鼻頭二支に分る。其東支を龍鼻と云ひ、西支は即忍路鼻にして忍路の北角なり。忍路は小半島の西側にある小浦にして、南東に彎入

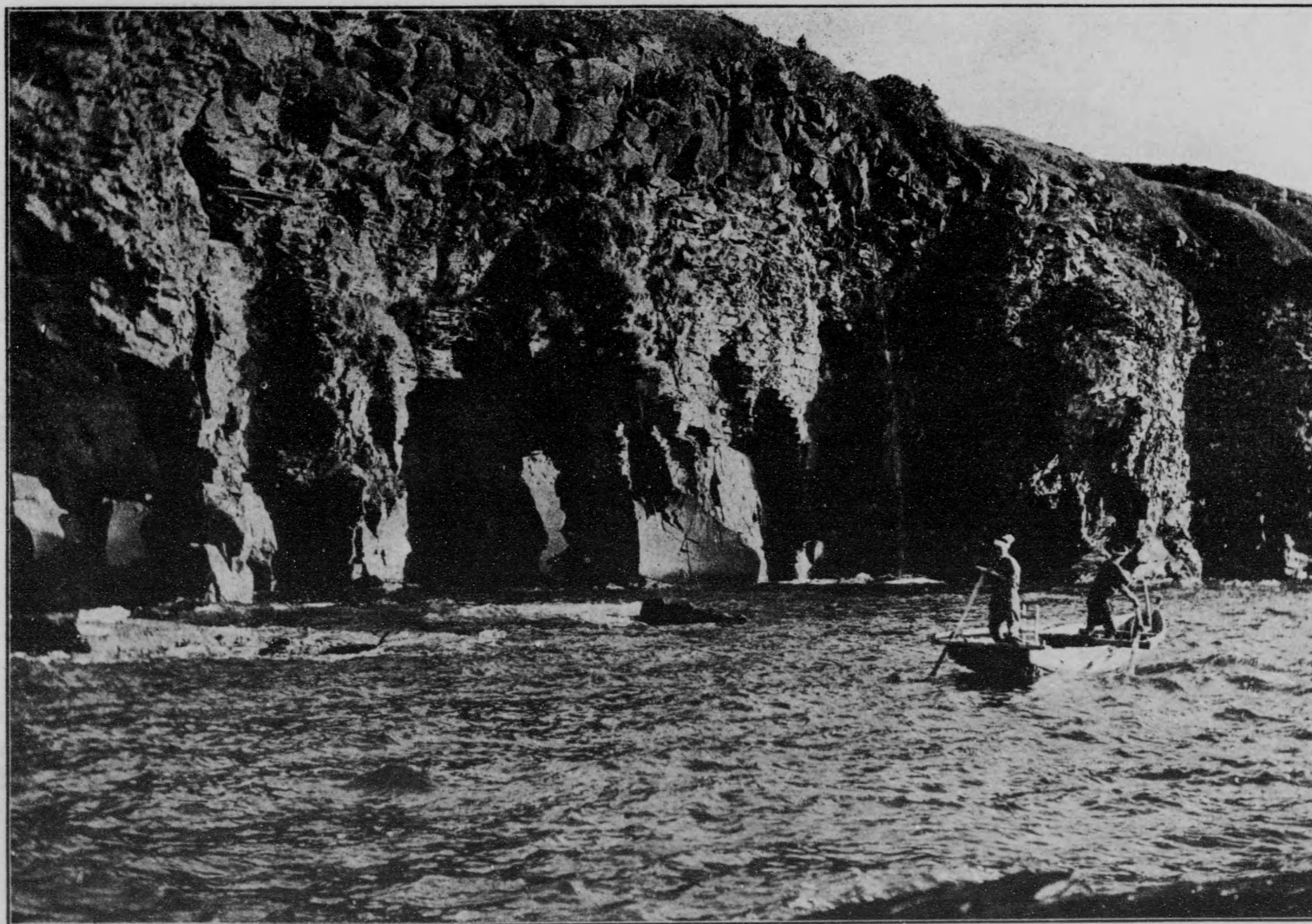


する事約半哩、幅僅に一鐘餘、水深三尋乃至八尋、底質沙泥なり。此浦はよく風波を防ぐも小舟の外入るを得ず。昔時北前船の蝦夷に入る、此地に據れりと思はる。追分節に曰く「忍路高島及びもないがせて歌棄磯谷まで」

The Oshoro Sea-coast, Shiribeshi.

秋田西南の大郡、由利の西南限たり。由利郡は西に海を控へ、北は河邊郡東は仙北三郡に接し、南は島海の大山を以て飽海郡と相界す。面積五十六方里、三十一町村を領有し、人口十萬を超ゆ。上濱は元仁賀保領内の郷名にして、今、川袋、大砂川、小砂川、中野澤、關などを合する總稱なり。島海山の西北麓にあたり、越羽の大路之を過ぐ。附近奇景に富む。圖は其海岸屏風岩とす。此地もと

上濱屏風岩 (羽後)



Byōbu Island at Kamihama, Ugo.

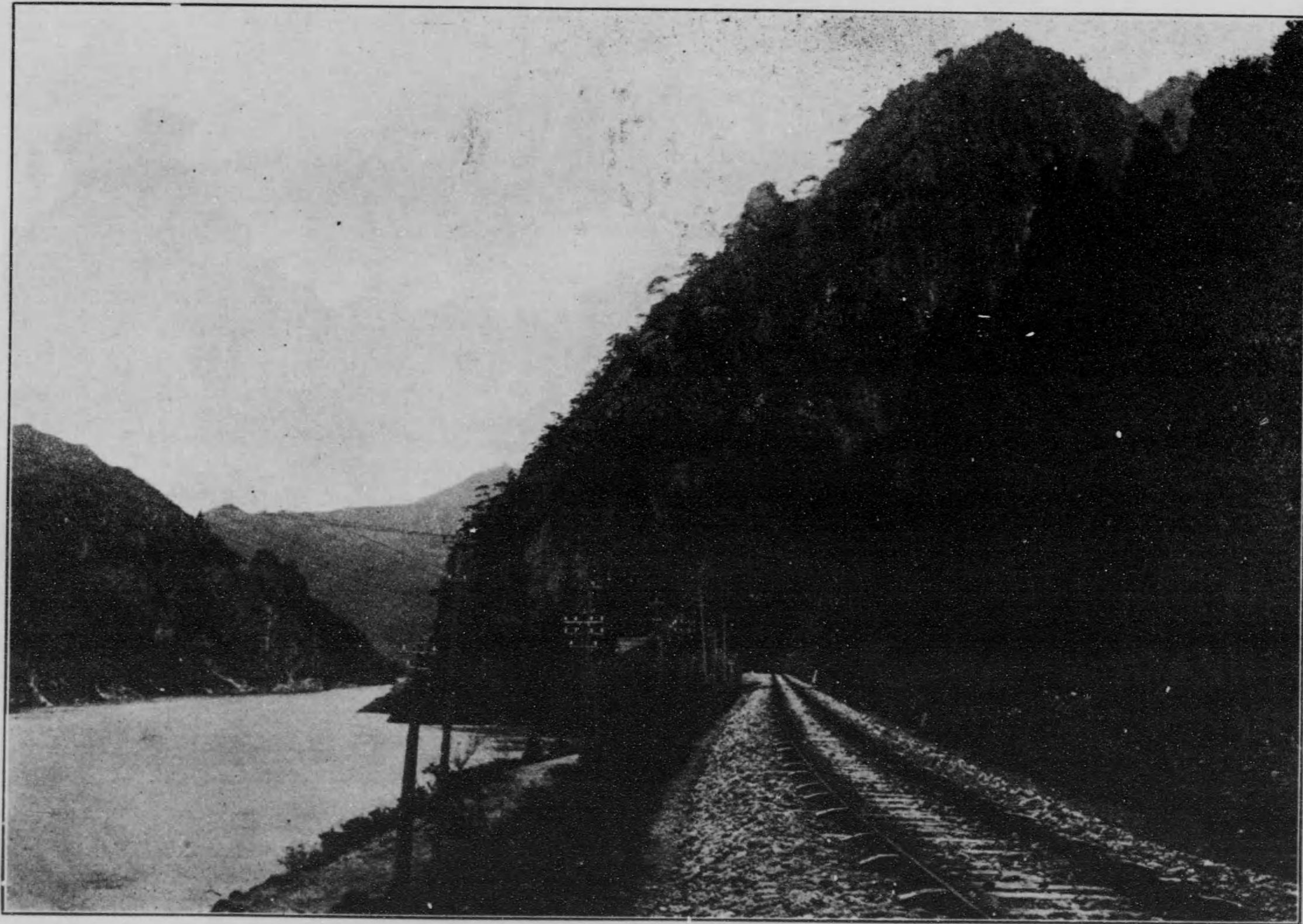
有耶無耶の關と言ひし事、橋南溪の東遊記などに見ゆ。粧麻の句に曰く「有耶無耶の關やむやむの鬼人草」由來奥羽の地、勝地の顯はれざるもの多し。本誌の勢めて之を紹介する所以なり。

秋田西南の大郡、由利の西南限たり。由利郡は西に海を控へ、北は河邊郡東は仙北三郡に接し、南は鳥海の大山を以て飽海郡と相界す。面積五十六方里、三十一町村を領有し、人口十萬を超ゆ。上濱は元仁賀保領内の郷名にして、今、川袋、大砂川、小砂川、中野澤、關などを合する總稱なり。鳥海山の西北麓にあたり、越羽の大路之を過ぐ。附近奇景に富む。圖は其海岸屏風岩とす。此地もと

する事約半里、幅僅に一鏈餘、水深三尋乃至八尋、底質沙泥なり。此浦はよく風波を防ぐも小舟の外入るを得ず。昔時北前船の蝦夷に入る、此地に據れりと思はる。追分節に曰く「忍路高島及びもながせめて歌棄磯谷まで」

阿 賀 川 (後 越)

阿賀野川とも言ふ。岩代國の西南會津高原に發し、若松平野に於て中游と爲り、猪苗代湖より出づる日橋川と相會し、更に西に向ひ越後山脈を横斷す。既にして山を離れ平遠に就く、即中蒲原北蒲原の交會にあたる。下游に西方信濃川への分水路あり、小阿賀と名づく。下游は松崎崎濱に於て加治川及び福島湯の支流と共に一江を爲して海洋に歸入す。只見の遠源を距る實に五十里と稱す。越後



境界に入りて五里、津川驛あり。津川より松崎崎に至る十五里の内を會津川とも呼ぶ。津川より上流は瀧瀬多くして舟を行る能はず。圖は先に開通せる院鐵岩越線に沿へる東蒲原附近の急流なり。顯はれざる勝景として爰に紹介す。

九浦と言ひ磐城國の極南界たり。常陸多珂郡平湯、岡本の二村に接するも其間に小嶺ありて自然界を爲す。往時奥常の要關たりし勿來山之なり。九浦は松川磯とも呼ばれ、港内狭少且危礁あるを以て入泊する船なし。世に聞ゆる勿來關は承和以來勅裁を得て海道一の重關たりしが、弘化二年に至り此海道の通行を停められ、常陸より陸奥に入るものは雄薩峠より燒山關を越えたり。されど弘仁以

The Aka river, Echigo.

勿 來 海 岸 (磐 城)



Nakoso Shore, Iwaki.

後にも國郡權置の關柵猶茲にありしにや、源義家の吟あり。其以降の廢停の時代詳ならず。此海岸は助川と並び稱せられ、夏時海水の客多し。冬季亦湯本溫泉浴客の散策地として知らる。

九浦と言ひ磐城國の極南界たり。常陸多珂郡平湯、岡本の二村に接するも其間に小嶺ありて自然界を爲す。往時奥當の塞柵たりし勿來山之なり。九浦は松川磯とも呼ばれ、港内狭少且危礁あるを以て入泊する船なし。世に聞ゆる勿來關は承和以來勅裁を得て海道一の重關たりしが、弘化二年に至り此海道の通行を停められ、常陸より陸奥に入るものは雄薩峠より焼山關を越えたり。されど弘仁以

境界に入りて五里、津川驛あり。津川より松崎崎に至る十五里の内を會津川とも呼ぶ。津川より上流は濶瀬多くして舟を行る能はず。關は先に開通せる院鐵岩越線に沿へる東蒲原附近の急流なり。顯はれざる勝景として爰に紹介す。

(濃 信) 岩 狗 天 曾 木

世に所謂木曾路とは洗馬より馬籠に至る間に、山水の奇勝風知らる。鐵道に賴れば多く木曾路に添ひ、妻籠より峽れて坂下に至るべし。而して諏訪湖を後にし、鹽尻峠の南方を迂回して木曾路に入り、奈良井川の風光を愛でつゝ奈良井に至れば鳥居峠嶺峯として前途を遮きれ方を見る。峠は木曾路の最高頂にして海拔四千二百五十餘尺、大平洋と日本海の



分水嶺なり。即北流するものは信濃川の一源なる奈良井川に入り、南流するものは木曾川に注ぐ。從是南地勢陡峻、山峯重疊して一の平地を餘さず。山中の奇景逐次に展開し來る。圖は其天狗岩とす。

Tengu Lock at Kiso, Shinano.

鎌倉東光寺址の北方なる山腹に二洞窟あり。窟中二段あり。これ一品兵部卿大塔宮護良親王に幽屏せられ、遂に潤邊伊賀守の爲に獄せられ給ひし處なりと言ふ。洞底晝暗うして鬼氣人に迫り、轉た當時の光景を偲ばしむ。親王の石塔は理智光寺舊蹟の山上にあり。建武二年七月、當寺の住僧親王の屍を埋葬せし所なり。神武寺は東南隣三浦郡沼間にあり。天台宗、醫王山來迎院と稱し藥師堂あり。

大塔宮土牟と神武寺 (模相)

り。境内は一石山にして石を斫り平げ堂宇を置き、山下の門より險路五町にして達す。東鑑に「將軍家御參神嵩並岩殿」とある神嵩は神武に向じ。



鎌倉東光寺址の北方なる山腹に一洞窟あり。窟中二段あり。これ一品兵部卿大塔宮護良親王ことに幽屏せられ、遂に潤邊伊賀守の爲に秋せられ給ひし處なりと言ふ。洞底晝暗うして鬼氣人に迫り、轉た當時の光景を偲ばしむ。親王の石塔は理智光寺舊蹟の山上にあり。建武二年七月、當寺の住僧親王の屍を埋葬せし所なり。神武寺は東南隣三浦郡沼間にあり。天台宗、醫王山來迎院と稱し藥師堂あり。

The Daitōnomiya-tsuchirō(Grotto) and the Kamutakeji Temple, Sagami.

Tengu Lock at Kiso, Shinano.

日本海の方



雪の名古屋市街 (張尾)

名古屋はもと徳川氏親藩の城市なり。殷盛三府に亞ぎ今熱田を併せて人口三十七萬八千、本邦第四の都會たり。蓋し全國無比の沃野たる濃尾平野の南部に位し、伊勢灣に臨み未曾有を控へ、東西交通の要衝たるを以て物資の集散、商工の隆昌、東京大阪に次ぐが如し。鐵道は東京より來る東海道本線、中央本線茲に合して又岐れ、一は岐阜より近江を經、一は伊勢路を越えて共に京阪に向ひ、東

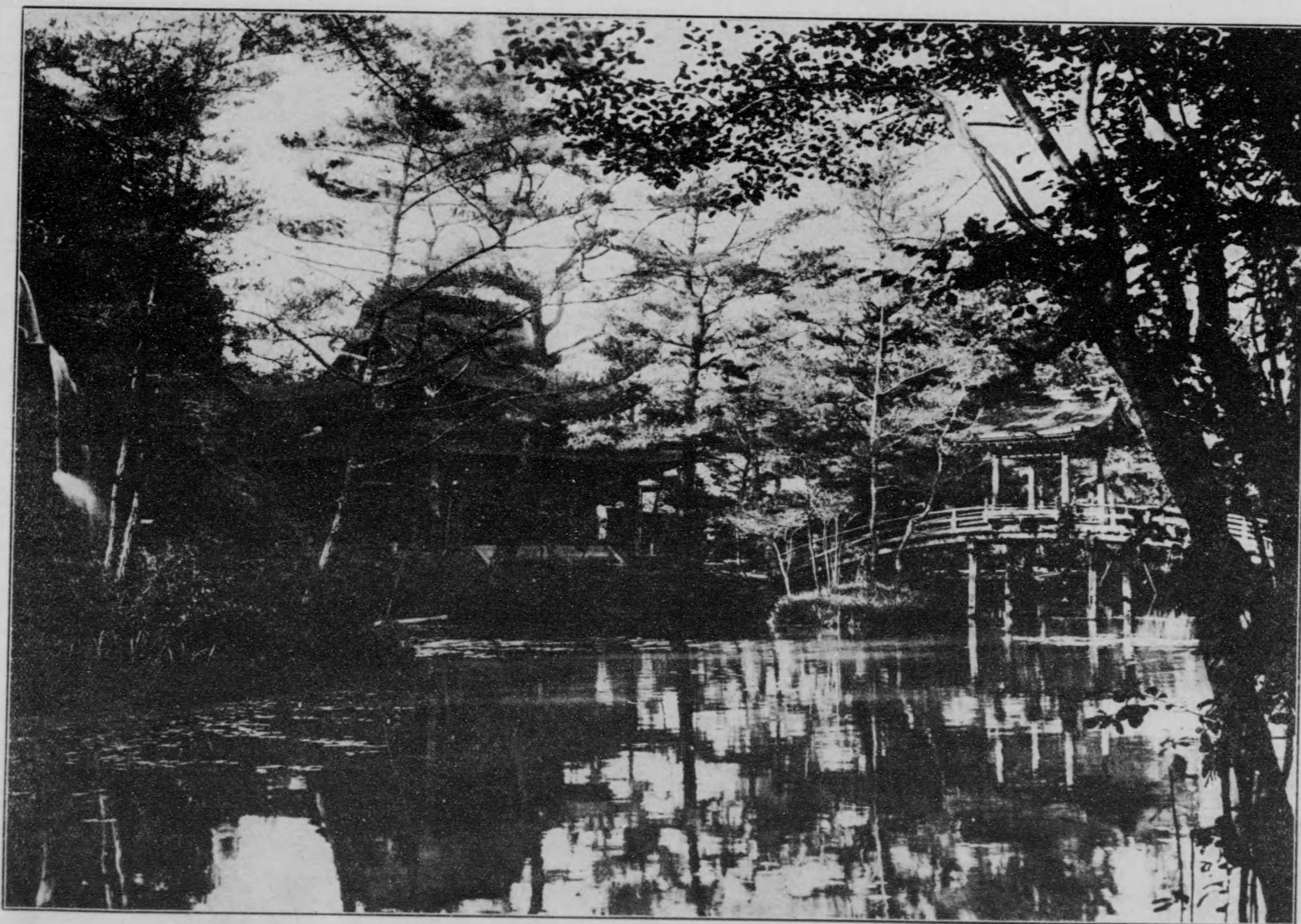


Snow of Nagoya Street, Owari.

西三府の中心たり、圖は市の中樞廣小路通りにして、彎曲せる道路の中央に見ゆるは日清戰役紀念碑とし、左端に見ゆる大厦は縣廳及同議事堂と爲す。

美濃國土岐郡豐岡村長瀬にあり。池田町屋の北半里、久久利南二里。虎溪山と稱し僧疎石が開ける禪院にして、足利氏の本領土岐氏の修造に成る。後世衰へたりと雖も猶號して東濃第一の勝境に推され、七坊寺額五十餘石を傳へたり。新撰誌に「虎溪山永保寺は古溪又は巨溪にも作る。夢窓が尊氏公の命によりて此山を開きし事は、よく人の知る處なればしるすに及ばず。夢窓はじめ安藝國大本山

虎溪山永保寺(美濃)



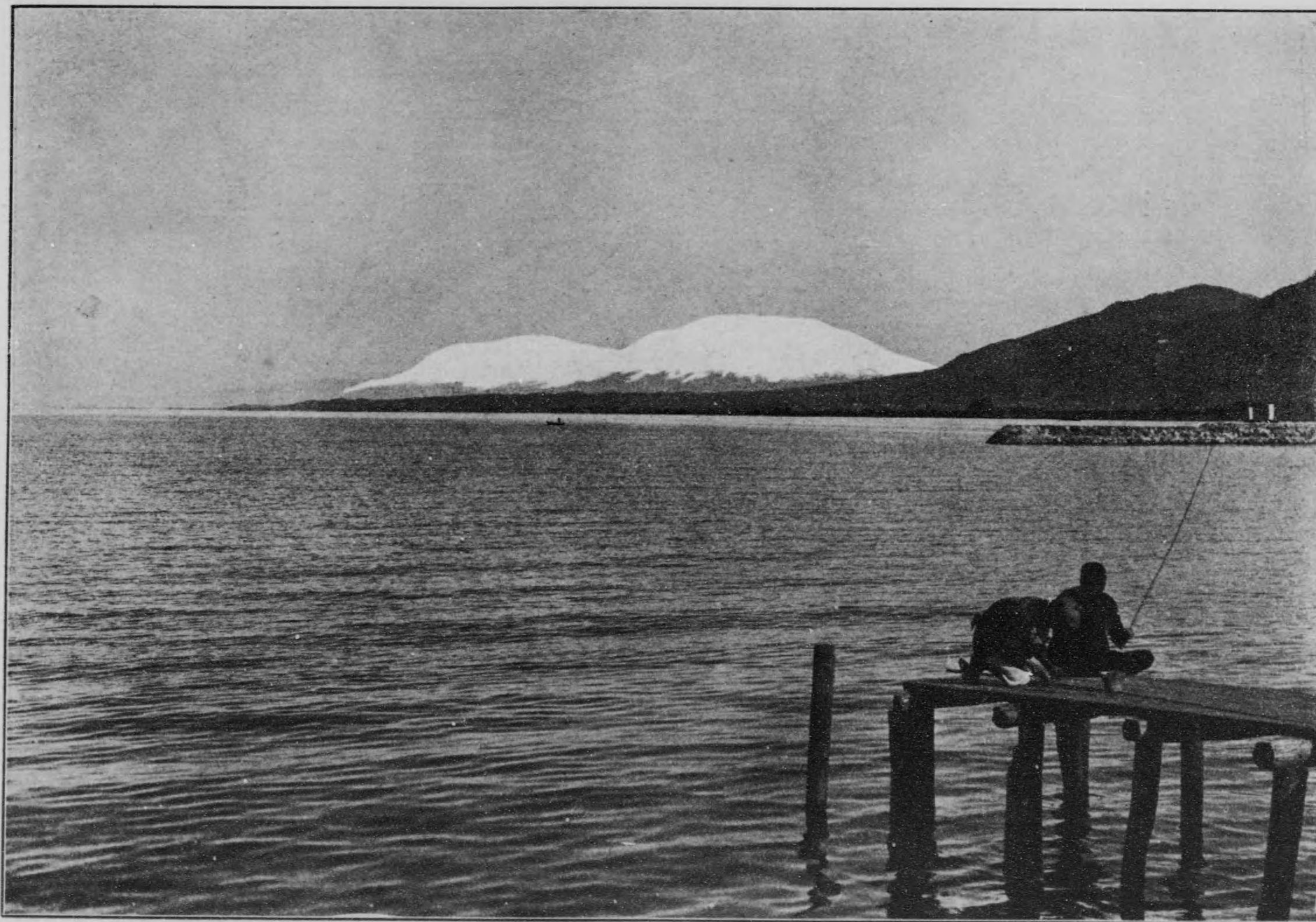
The Kokeizan Eihoji Temple, Mino.

榮泉寺より富山に來住せりと云ふ。貞和二年、光嚴天皇の勅願道場となし給ひ、寺産數百貫、境内に三十餘坊の僧舎ありしが、後年衰へたり。云々とあり。

美濃國土岐郡豐岡村長瀬にあり。池田町屋の北半里、久久利南二里。虎溪山と稱し僧疎石が開ける禪院にして、足利氏の本領土岐氏の修造に成る。後世衰へたりと雖も猶號して東濃第一の勝境に推され、七坊寺額五十餘石を傳へたり。新撰誌に「虎溪山永保寺は古溪又は巨溪にも作る。夢窓が尊氏公の命によりて此山を開きし事は、よく人の知る處なればしるすに及ばず。夢窓はじめ安藝國大本山

西三府の中心たり、圖は市の中樞廣小路通りにして、彎曲せる道路の中央に見ゆるは日清戰役紀念碑とし、左端に見ゆる大層は縣廳及同議事堂と爲す。

比 良 の 暮 雪 (江 近)



Sunset Snow of mt, Hira, Ōmi.

近江八景の一たる比良の暮雪なり。比良山は秘密行七高山の一にして、木戸小松二村の西に横亘し、山勢雄偉、高頂は海拔二九〇〇尺、其絶頂を蓬萊と名づく。武奈嶽は其北方にある一峰なり。南北すべて三里に渉り、山背は葛川谷と言ふ。この山、伊吹と相對比して最高ければ雪降る事早くして、夏に至るも猶消えず。土人は稱して小松山とも云ふ。山麓に廣遠なる野あり。最勝寺野と呼ぶ。

比良村は今分裂して南比良は木戸村に北比良は小松村に入れり。比良明神は小松崎にあり。萬葉集に「さき波や平の山風海ふけば釣する海人の袖かへる見ゆ」

萬松一路水に浮ぶこと凡二十八町、上下概ね枝梢を齊しうして一字を碧水の上に描き、遠く遙かに望めば水中松あるが如く、水天と連りて橋あるに似たる、これ天橋の沙洲にあらずや。その橋立に赴く即文珠の渡を過ぐべし。切戸の文珠と稱し古來佳景を以て鳴る。

文 珠 の 渡 (後 丹)



Fery of Monju. Tango.

文珠閣あり。天の橋立の南方なる岸頭に立ち、遙に成柏寺に對して畫中の風物を添ふ。かの崇神の御代に天照皇大神の暫し鎮座まし  
し與謝の海はこの境域なるべしと云ふ。附近旗亭多し。一碧鏡の如き宮津灣を舟行せば此處に至る。『松風や鐘聲にかすむ與謝の海』

萬松一路水に浮ぶこと凡二十八町、上下概ね枝梢を齊しうして一字を碧水の上に描き、遠く遙かに望めば水中松あるが如く、水天と  
連りて橋あるに似たる、これ天橋の沙洲にあらずや。その橋立に赴く即文珠の渡を過ぐべし。切戸の文珠と稱し古來佳景を以て鳴る。

比良村は今分裂して南比良は木戸村に北比良は小松村に入れり。比良明神は小松崎にあり。萬葉集に「さく波や平の山風海ふけば釣  
する海人の袖かへる見ゆ」

天 王 寺 遊 園 (大 阪)

攝州阿部野の北、荒陵の東北に接する丘地にあり。本寺の四圍に僧院民俗集まれるを以て天王寺村と稱せしが人口膨脹と共に市に編入され現時其東區に屬す。寺は今天台宗を奉じ境内二萬六千歩、堂舎四十餘宇あり。大阪市其境地を修理して公園と爲す。花木の麗、泉石の美俱に賞すべきを以て四時道俗雜踏す。本寺は聖德太子の創建にして、荒陵山難波寺と稱す。歴朝崇敬の寶刹なり。一千三百



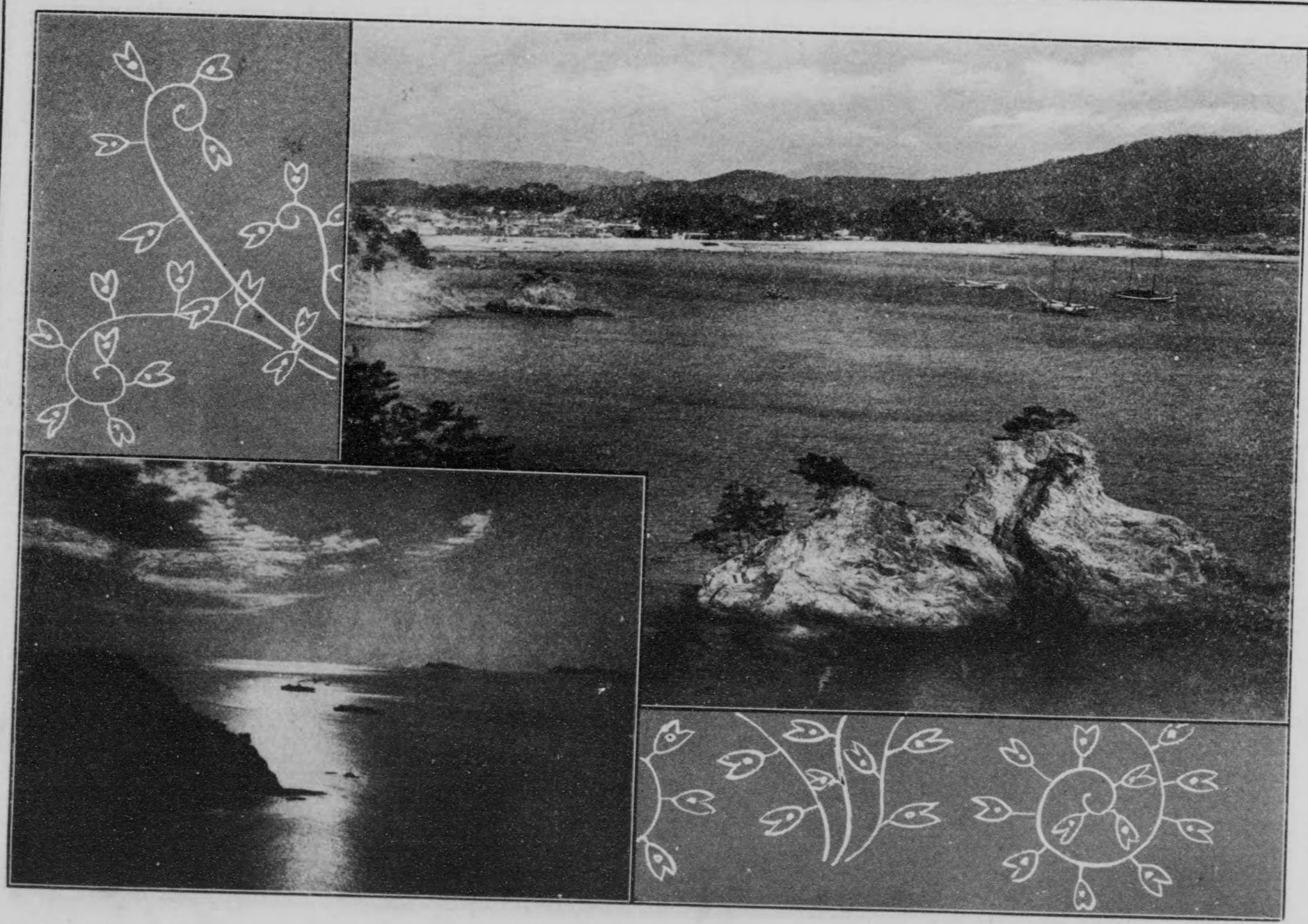
年の舊蹟にして、其海陸の要害、往時にありては其必争の點にあたるを以て戦亂の災屢々なり。然れども太子所遺の靈物七星劍一口、平印本願緣起一卷等猶存す。現時の堂屋は文化九年の修造に係る。

和歌の浦と相接する勝地なるが故に此稱あり。和歌町は和歌山市と相距る里餘、人口七千、市と電車相通じ交通頗繁く、西に港灣を控へ水陸の便あり。浦は紀の川の岐流、和歌川の河口に生ぜる江沙にして、風光明媚なり。新和歌は近年山道を拓き此處に通じてよ

The Tennoji Park, Osaka.

(伊 紀) 浦 の 歌 和 新

り、其名俄に顯はれ、加之南海鐵道は大阪、和歌山間に率先して汽車電車の交互運輸を開始し、殊に急行電車の設備あり。春夏の候來り遊ぶもの擧げて數ふべからず。附近水波を隔て、若草山の景趣あり。



和歌の浦と相接する勝地なるが故に此稱あり。和歌町は和歌山市と相距る里餘、人口七千、市と電車相通じ交通頗繁く、西に港灣を控へ水陸の便あり。浦は紀の川の岐流、和歌川の河口に生ぜる江沙にして、風光明媚なり。新和歌は近年山道を拓き此處に通じてよ

The Shinwaka-no-ura(Sea-coast), ki.

年の舊蹟にして、其海陸の要害、往時にありては兵争の點にあたるを以て戦亂の災屢々なり。然れども太子所遺の靈物七星劍一口、平印本願緣起一卷等猶存す。現時の堂屋は文化九年の修造に係る。

松山 城 (伊 豫)



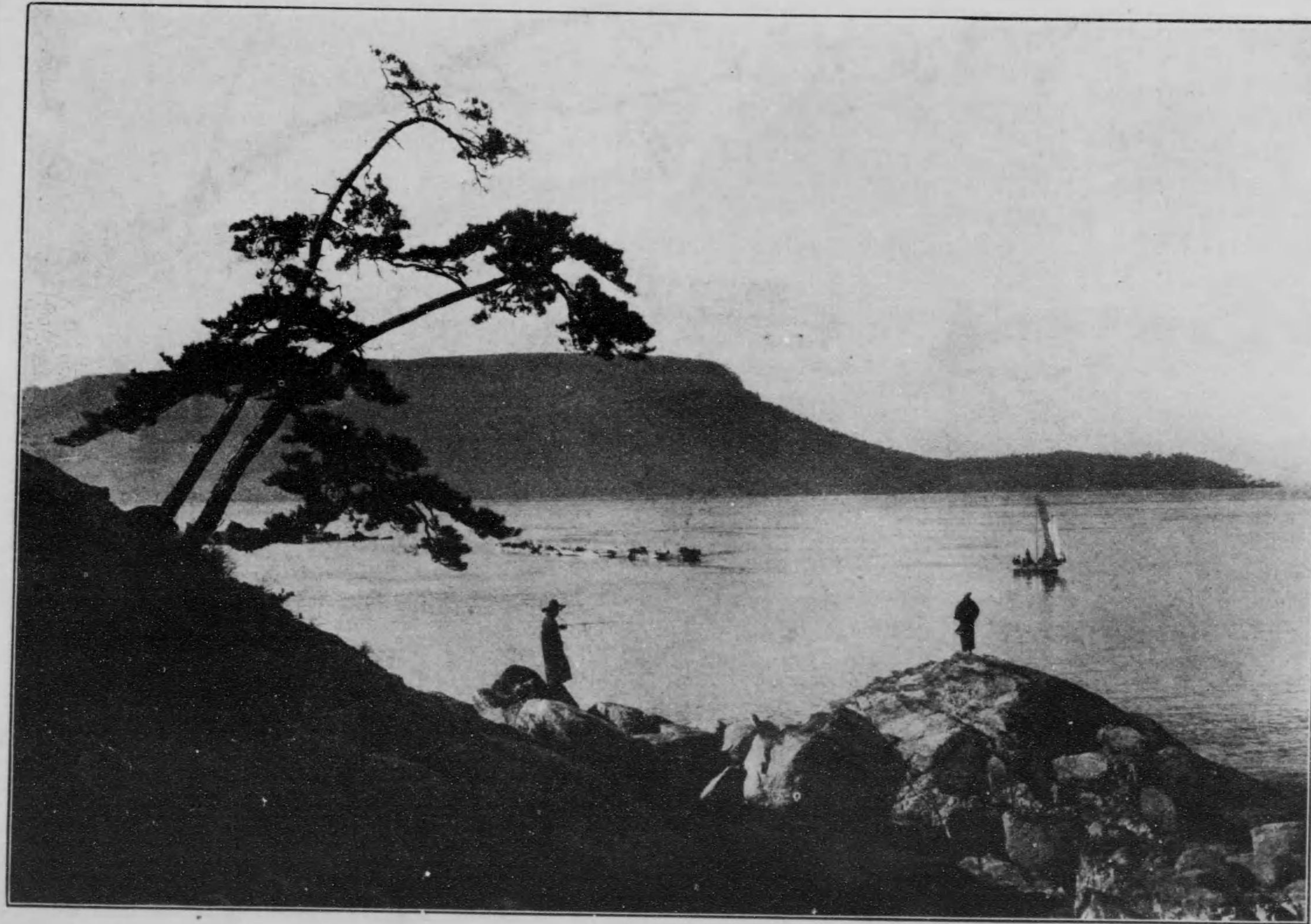
松山市は東西十五町、南北十二町、人口四萬あり。縣治並に兵營の所在地にして豫州第一の都邑なり。高丘に位し松山城あり。石平川其南を流れ、道後山北東部に屹立す。城は今陸軍の所管にして、天主閣、門壁等皆舊に依る。兵營は城の西にあり。要害堅固、遠望の景殊に住なり。慶長八年加藤左馬助嘉明松前城を此に移し、勝山の稱を松山と改めしと云ふ。寛永十二年松平隱岐守定行桑名より

移り、爾來連絡維新に及ぶ。慶應四年二月、城主松平定昭東北に走りしかば、官軍兵を發して本城を攻む。其天守は嘗て雷火に燒失したるを近世再建したるものなりとぞ。

The Matsuyama Castle, Iyo.

屋島の風光は嘗に四國に冠たるのみならず、日本屈指の絶勝なり。加之地は源平二氏の決戦地たり。この風光この歴史によりて更に佳なるを覺ゆ。高松より一里半にして古高松村あり。村北一條の平瀉を隔つる海島即屋島なり。元暦二年春二月源義經屋島を襲ひて火を行宮に放つ。平軍盡く舟に上り西走赤間關に至る。濤聲瀾語猶往時を語るに似たり。屋島寺あり。殿堂宏麗、長松落落として之

屋 島 (岐 讚)



Yashima Sea-shore, Sanuki.

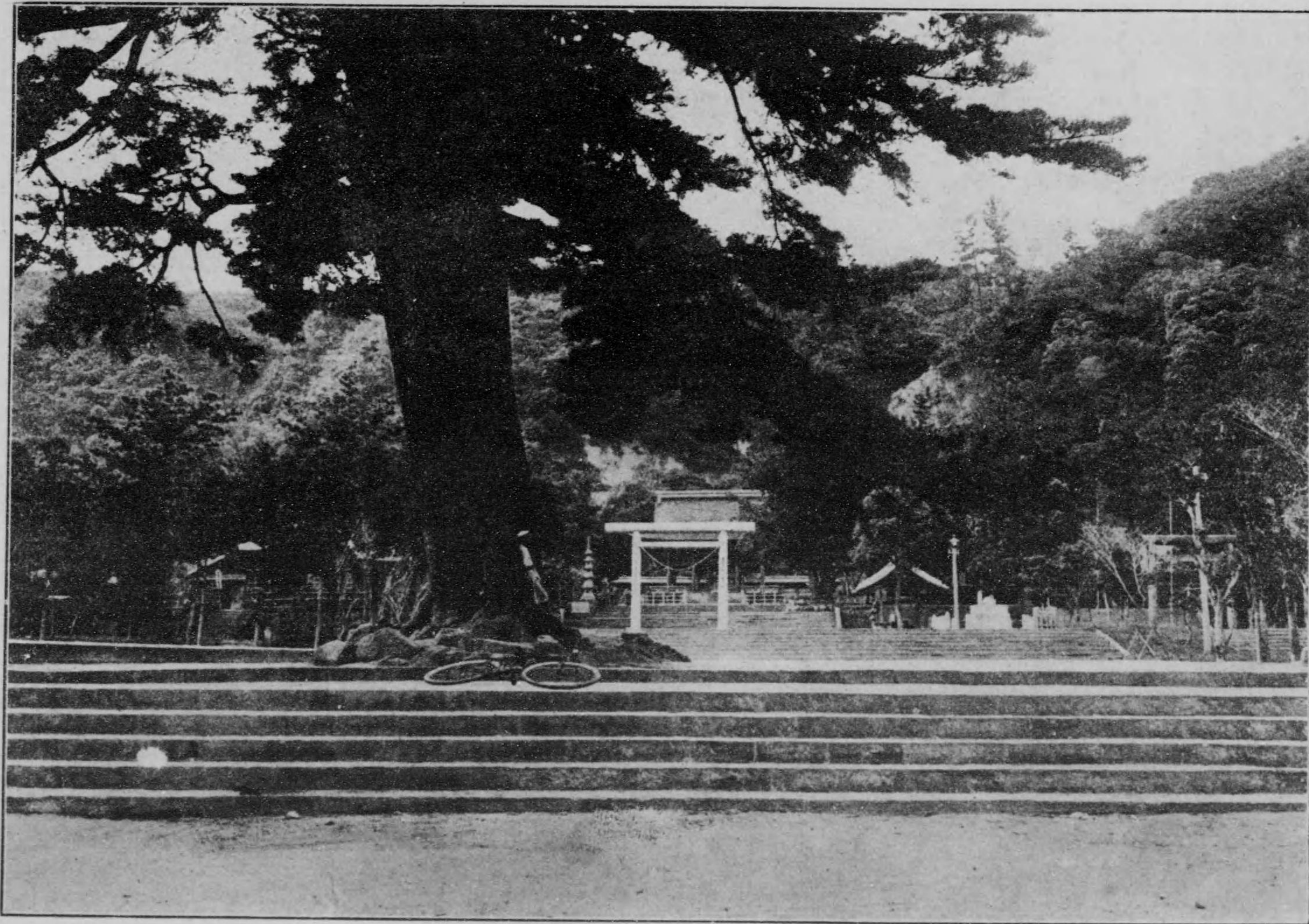
を護る。什寶類多、源平合戦の古器を傳ふ。寺西一町、獅子の靈岩あり。風光展望の位置此處を以て全島第一と爲す。附近當時の遺蹟尠からず。

屋島の風光は實に四國に冠たるのみならず、日本屈指の絶勝なり。加之地は源平二氏の決戦地たり。この風光この歴史によりて更に佳なるを覺ゆ。高松より一里半にして古高松村あり。村北一條の平瀉を隔つる海島即屋島なり。元暦二年春二月源義經屋島を襲ひて火を行宮に放つ。平軍盡く舟に上り西走赤間關に至る。濤聲瀾語猶往時を語るに似たり。屋島寺あり。殿堂宏麗、長松落落として之

移り、爾來連綿維新に及ぶ。慶應四年二月、城主松平定昭東北に走りしかば、官軍兵を發して本城を攻む。其天守は嘗て雷火に焼失したるを近世再建したるものなりとぞ。



照 國 神 社 (摩 薩)



The Terukuni Shrine, Satsuma.

薩州鶴山城址の南邊にあり、薩藩近代の英主齊彬公（私諡順聖公）を祭る。齊彬は治國視政永からずと雖も、雄才大略、弘化安政國歩艱難の交にあたり、朝野公武の倚頼たりしが、戊午夏病に罹り暴に卒す。朝廷大に之を悼ませ給ひ、文久三年照國神の號を授けらる。元治元年祠廟成り、明治二年勅使右大臣實美下向從一位を追贈せられ、次いで別格官幣の班に列せしむ。本社の近傍に鶴峰神社

（島津家近代の祠廟）招魂社等あり。廣瀬淡窓の詩に「蜻蜒洲盡海南涯、觀俗遙雷使者車、良耜耕來煙作草、傾筐摘去雪爲芽、蕪舒吉日周要服、許史今日漢外家、賓館酒濃鄉思破、臥聽蠻女弄琵琶」

夕張 鐘 淵 北 海

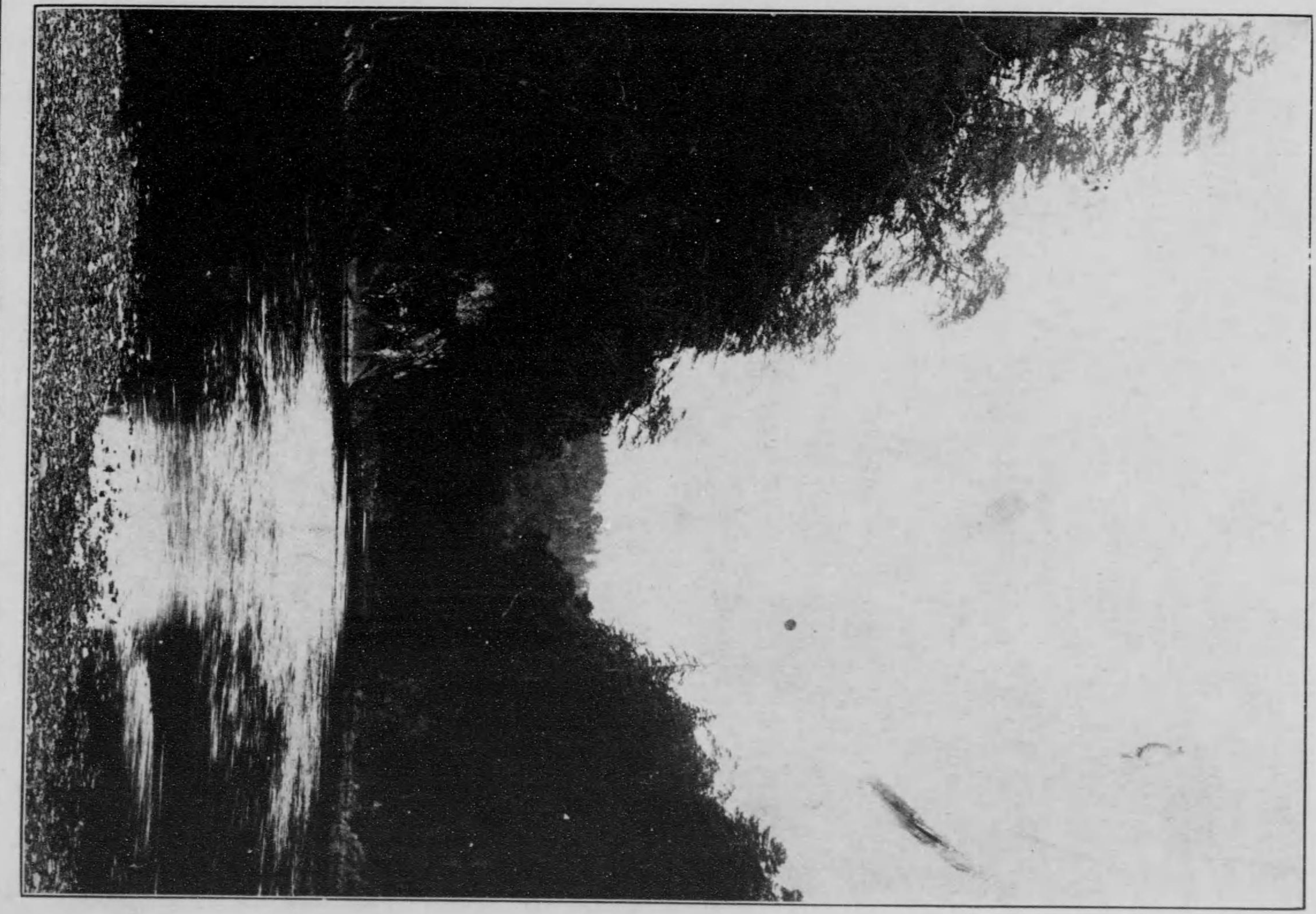
半に時ち、標

夕張 山 谷 及 兼 治 す。東 方

(島津家近代の祠廟)招魂社等あり。廣瀬淡窓の詩に「蜻蜒洲盡海南涯、觀俗遙雷使者車、良耜耕來煙作草、傾筐摘去雪爲芽、蒔舒昔日周要服、許史今日漢外家、賓前酒濃鄉思破、臥聽蠻女弄琵琶」



(道海北) 洲ヶ鐘張夕

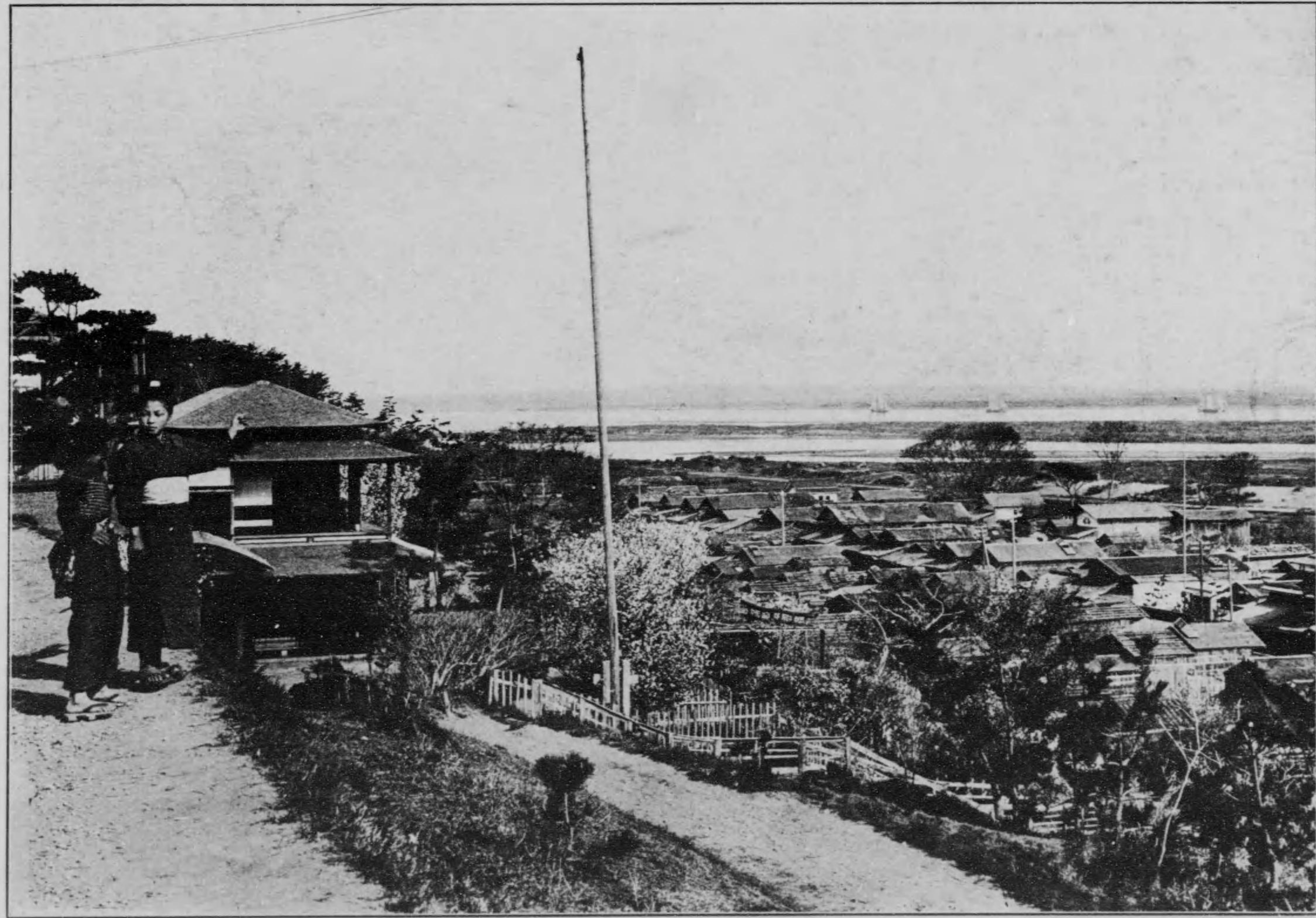


Kanegafuchi (Deep water) of Yūbari River, Ishikari.

半に峠あり、標高約二〇〇〇米あり。水漉三十里に及び溪谷所々に砂金を産する夕張川は源を此山中に發す。圖は山中鐘ヶ淵の奇勝と爲す。

夕張は山谷及び下海卑低の地を以て一部を成せり。その山谷は南に男柳及千歳、北に東空知の各峰と接す。低地は水脈が以て空知千歳と別の所あり。東西十五里南北六里、空知支廳兼治す。東方は峰稍重疊し南西は峻澤多く、耕稼に適する地は尠からずと雖も、地下に藏する無盡の石炭は北海道産業上重要な位置を占む。その山脈の最高峰は膽振國境を距る一里

能代公園の眺望 (後羽)



(版藏堂長一田島 代能)

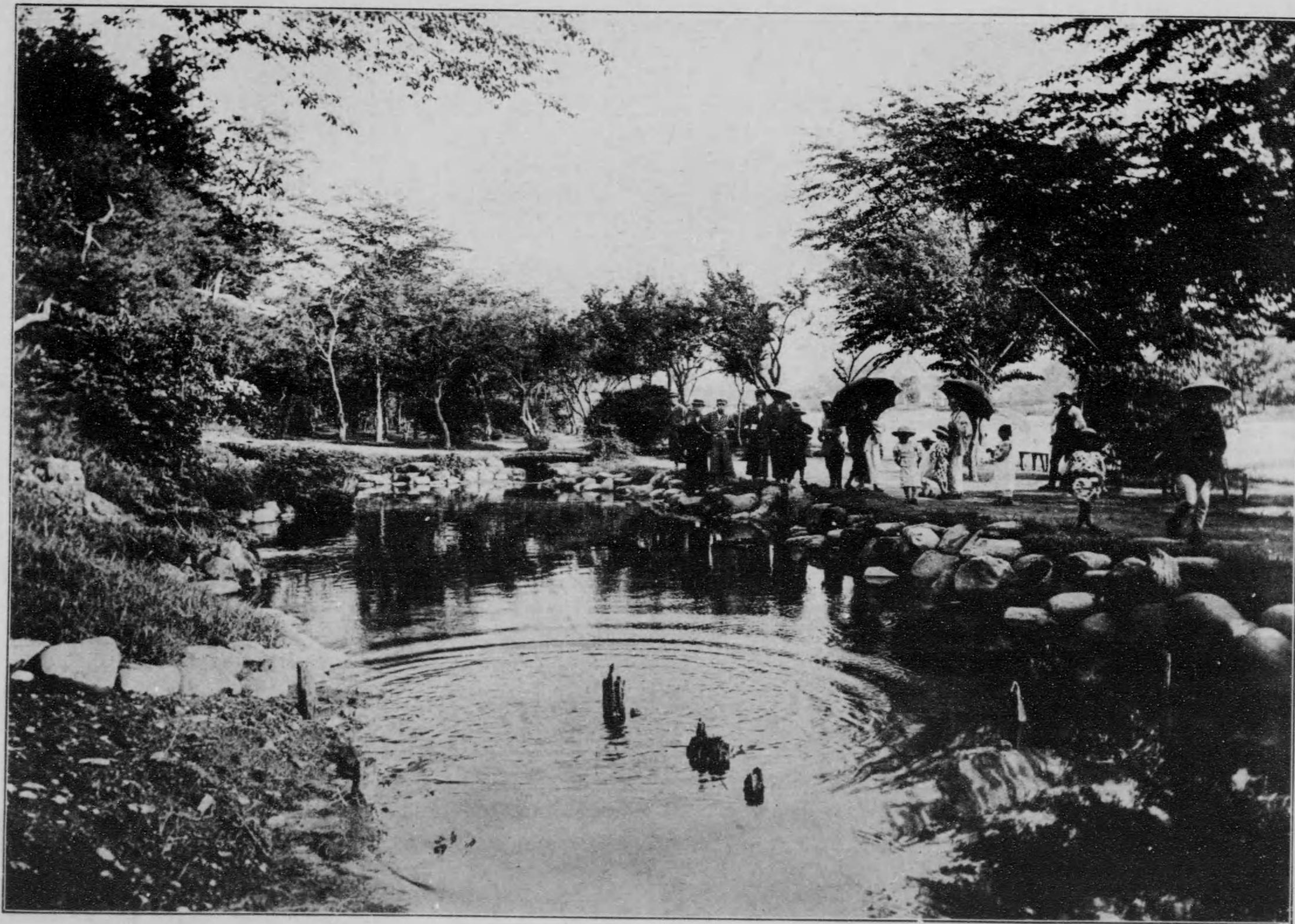
Prospect of the Noshiro Park, Ugo.

口八千を算す。此地木材伐採の業進み、曩に 聖上東宮にあらせられし砌、見學行啓の光榮に浴せり。寄の港する船舶は米代の河  
流を避け、河口を距る南方約一海里、底質沙泥の邊に投錨す。園は公園より其河口を望む所と爲す。

古來佳景を以て稱せらるゝ頼政神社と接壤して烏川の清流に臨み、遠くは淺間、榛名、妙義の諸山、近くは觀音山根古屋の城山等を  
一眸の内に收め、風光恰も畫圖に似たり。明治九年舊大染寺跡の地を以て公園地に宛て、梅櫻を始め多數の樹木を植えたり。日露戰

能代公園は能代町警若山上にあり。此に登れば展望甚だ佳にして股賑の市街眼下に開け、東に檜山川帯に似て細く、北は米代川清々  
と流れて日本海に注ぎ、能代橋長蛇の如く之に懸るを見る。米代川は水流約五十三哩。河口は左右より露沙堆出し、中央に岡洲あり。  
洲間航路の幅僅に一鏈半、その水深は十呎乃至五呎なり。能代港は此河口内にあり。町は上流左岸に布置し、奥羽線の車驛たり、人

高崎公園(上野)



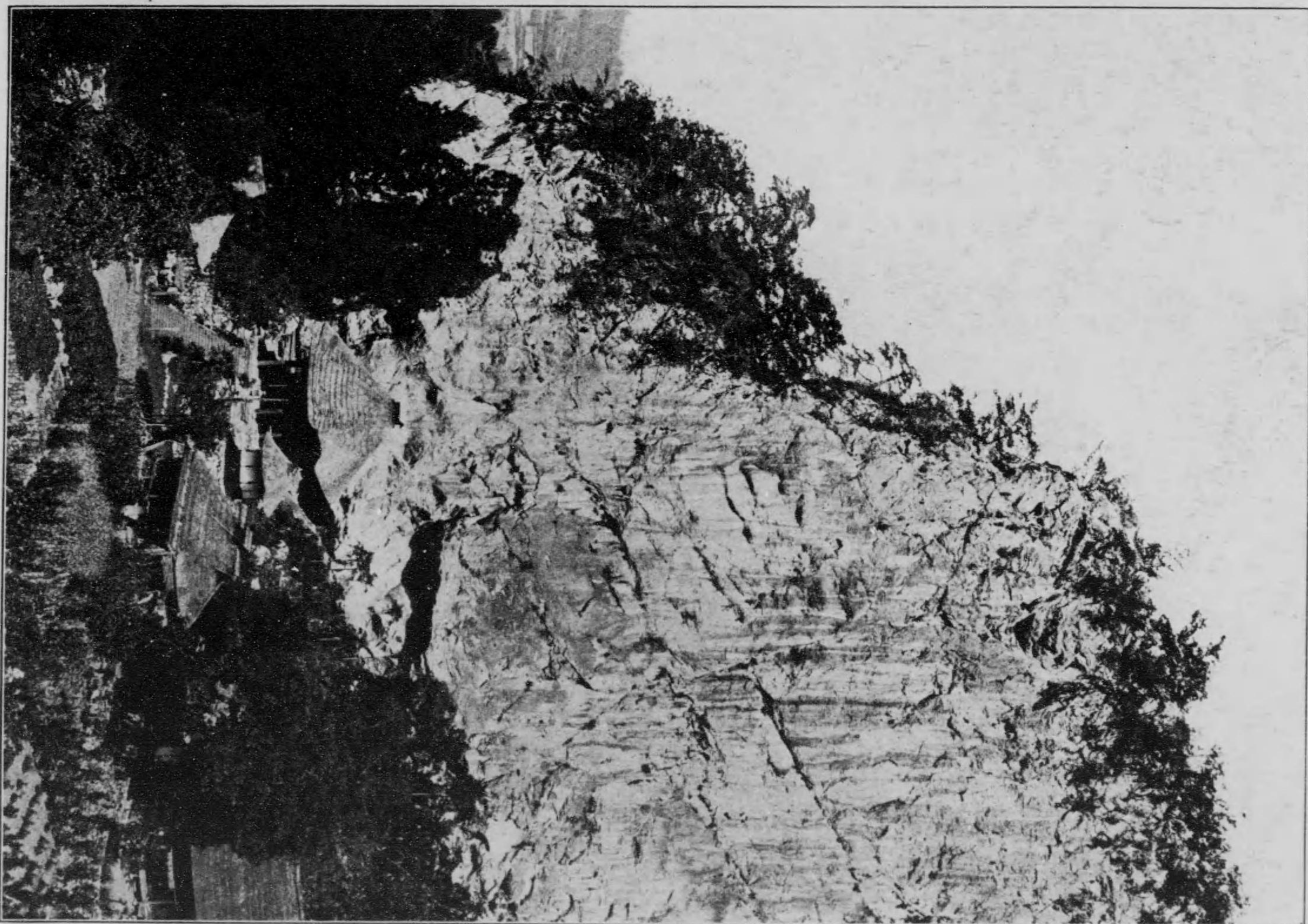
Takasaki Park, Kōzuke.

後、高崎市は巨多の費用を投じて監獄署の移轉、陸軍作業場の交換等を請ひ、更に擴張して今日に至る。園中池あり。樹影參差たる邊り、噴水五彩の虹を發し佳致掬すべし。坂を下りて烏川畔に至れば千仞直下の瀑布あり。又、園の中央に招魂社(英靈殿)あり。

古來佳景を以て稱せらるゝ頼政神社と接壤して烏川の清流に臨み、遠くは淺間、榛名、妙義の諸山、近くは觀音山根古屋の城山等を一眸の内に收め、風光恰も畫圖に似たり。明治九年舊大柴寺跡の地を以て公園地に宛て、梅櫻を始め多數の樹木を植えたり。日露戰

口八千を算す。此地木材伐採の業進み、曩に 聖上東宮にあらざられし砌、見學行啓の光榮に浴せり。寄の港する船舶は米代の河流を避け、河口を距る南方約一海里、底質沙泥の邊に投錨す。圖は公園より其河口を望む所と爲す。寄の港する船舶は米代の河流

(藏 武) 洞 岩 乳 鐘 立 橋



石龍山橋立寺の堂後に時つ武甲山の絶壁なり。光彩燦然として高さ四十八丈に及び東西に伸びて幅二町餘に亘る。岩窟は其西邊にあり。洞内には鐘乳、底鐘其他石灰の洞壁に沈澱せしもの多く所謂石灰洞なり。之を蛤内潜りと呼ぶ。橋を穿らしめて入るに、穴口を下る事漸く深くして或は高く或は低く、陸降二町餘の間に梯子を設くる事五箇所、又木村を構築して

渉る所其数少なからず。且つ其間には岩石自然に佛體佛具の形狀を獲し、比類なき靈蹤として傳へらる。詠歌に「霧の海立ちかきなるは雲の波類ひあらしと渡る橋立。」

Hashidate Stalactite Cave, Musashi.

駿州の天地、到る處佳景ならざるはなし。沼津はその東南端に位し、北方愛鷹山の縁を超えて海拔一萬二千四百尺の富嶽は純白の英姿を浮べ、永へに此地を擁護するものと如く、東には足柄箱根の群山連り、伊豆の翠巒は遙かに洋々たる駿河灣の一角に添ふて聳え、

静 浦 の 富 士 ( 駿 河 ) 沼 津 御 用 邸

翠碧萬里の海洋一帯、平和の色の漂へるを見る。閑雅清絶、照憲皇太后の御愛賞ありし又宜べなりと言ふべし。静浦は沼津町より一里、桃を以て聞ゆる桃郷の南に在り。煙霞漂渺、遠淺にして水清く、四季を通じて静養遊覧の客絶ゆる事なし。



Mt. Fuji From Shizu-ura (Sea-coast), Suruga.

駿州の天地、到る處佳景ならざるはなし。沼津はその東南端に位し、北方愛鷹山の緑を超えて海拔一萬二千四百尺の富嶽は純白の英姿を浮べ、永へに此地を擁護するものと如く、東には足柄箱根の群山連り、伊豆の翠巒は遙かに洋々たる駿河灣の一角に添ふて聳え、

Hashidate Stalactite Cave, Misashi.

洞窟に沈んで  
木村を鑑賞して

（張 尾） 音 觀 須 大 屋 古 名

眞福寺と言ひ名古屋の名藍なり。古典籍の收藏を以て世に知らる。所謂大須本、眞福寺本の出でし所とす。寺は眞言宗にして初め大須村に在り。北野山寶生院と號したりしを慶長十七年此地に移轉し、猶舊地の名を呼びて大須と曰ふ。開基能信上人は伊勢神主度會



行家の子にして佛通禪師の弟子となり且つ密教を學び、正平五年南朝の論旨を給はりて本寺を建て、任法法親王その遺跡を相續し給ひて教願所に列せらる。其經藏に格納せる内典外典證文の類、傳へて近年に至れるもの數百卷。稀世の史料擧げて數ふべからず。

近江八景の一にして、靈驗世に開ゆる大師堂なり。天平年中、聖武天皇僧良辨をして建立せしめ、歷代嘉承の御持尊を八葉の巖石に安置し、以て百代の皇祚を守護し給ふ。一度荒廢に歸せしを僧觀賢中興し且つ密教を傳へたり。本尊は二臂如意輪觀音にして巨像丈

（版藏堂京中 屋古名） Ōsu Kwanon Temple at Nagoya, Owari.

石 山 寺 (近 江)



Ishiyama-dera (Temple), Ōmi.

近江八景の一にして、靈驗世に聞ゆる大師堂なり。天平年中、聖武天皇僧良辨をして建立せしめ、歷代崇奉の御持尊を八葉の巖石に安置し、以て百代の皇祚を守護し給ふ。一度荒廢に歸せしを僧觀賢中興し且つ密教を傳へたり。本尊は二臂如意輪觀音にして巨像丈

六の腹内に籠る。御即位の初曆に於て開扉するの舊例あり。又三十三年目毎に開帳す。鐘樓多寶塔祖師堂觀月亭等あり。亭は塔北にありて琵琶湖上の景指呼の裡にあり。原氏間と言ふは本堂の傍なる一室にて、紫式部此に籠居し、源氏五十四帖をつどりたるを以て知らる。

行家の子にして佛通禪師の弟子となり且つ密教を學び、正平五年南朝の繪旨を給はりて本寺を建て、任法法親王その遺跡を相續し給ひて救願所に列せらる。其經藏に格納せる内典外典證文の類、傳へて近年に至れるもの數百卷。稀世の史料擧げて數ふべからず。



木 津 川 (山 城)

山背川とも稱す。水源は伊賀國にありて伊賀川及び名張川と云ふ。二水相樂郡の東境大河原に來會し、西流木津の北に至り更に北折して綾喜郡八幡を経て淀の大河に合す。大河原以下八幡に至るまで十里。小舟の水運あり。日本書紀云、仁德皇后不泊于大津、更引

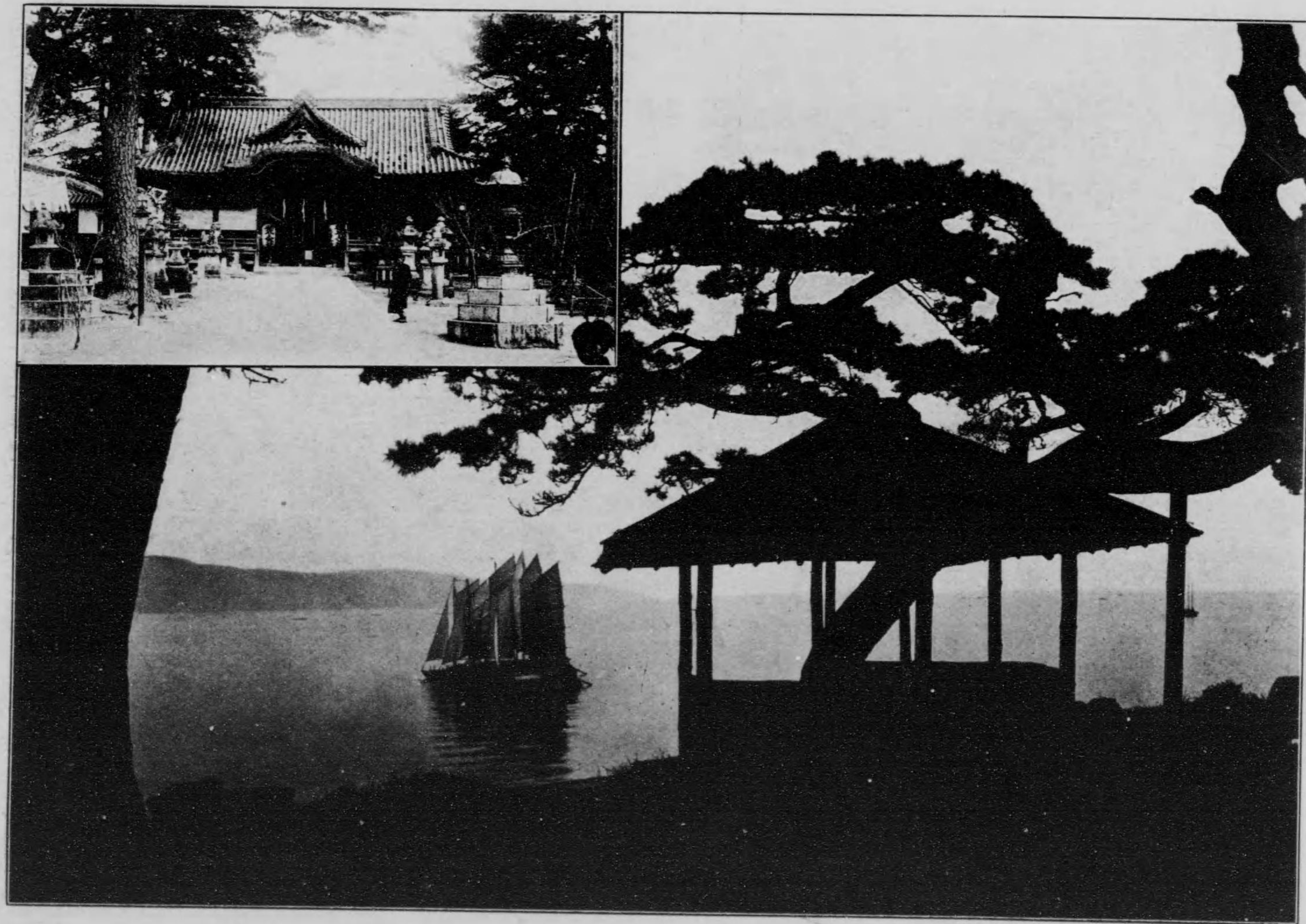


Kitsu River, Yamashiro.

之浜江、自山背廻而向倭、天皇遣舍人令還之、皇后不還、猶行之至山背河、即越那羅山、望葛城歌之、兔糞泥ふ、椰莽之呂飯波を、かほのほり云々。此川、古名を泉川とも言ふ。古來世に知られたる川にして流水玲瓏珠の如く、沿岸亦賞すべきの佳處多し。

風光明媚。古來須磨と並び稱されて屢々詩歌の詠題に入る。殊に月と千鳥を以て名あり。潮聲白砂嘯く處松風絶えず琴韻を傳ふ。明石湯とも呼び垂見の鳥崎以西の曲浦を言ふ。蛭巖の詩に曰く「二十三年赤浦秋、瑤簫金管慣同遊、樽前無復專誠思、轉盤如山月滿樓」人丸神社(小園)は明石大藏谷に在り。明石の浦を一眸に集む。別當を月照寺と云ふ。元和中明石城を築かるゝ時此處に移さる、歌

（磨 播） 社 神 丸 人 と 浦 の 石 明



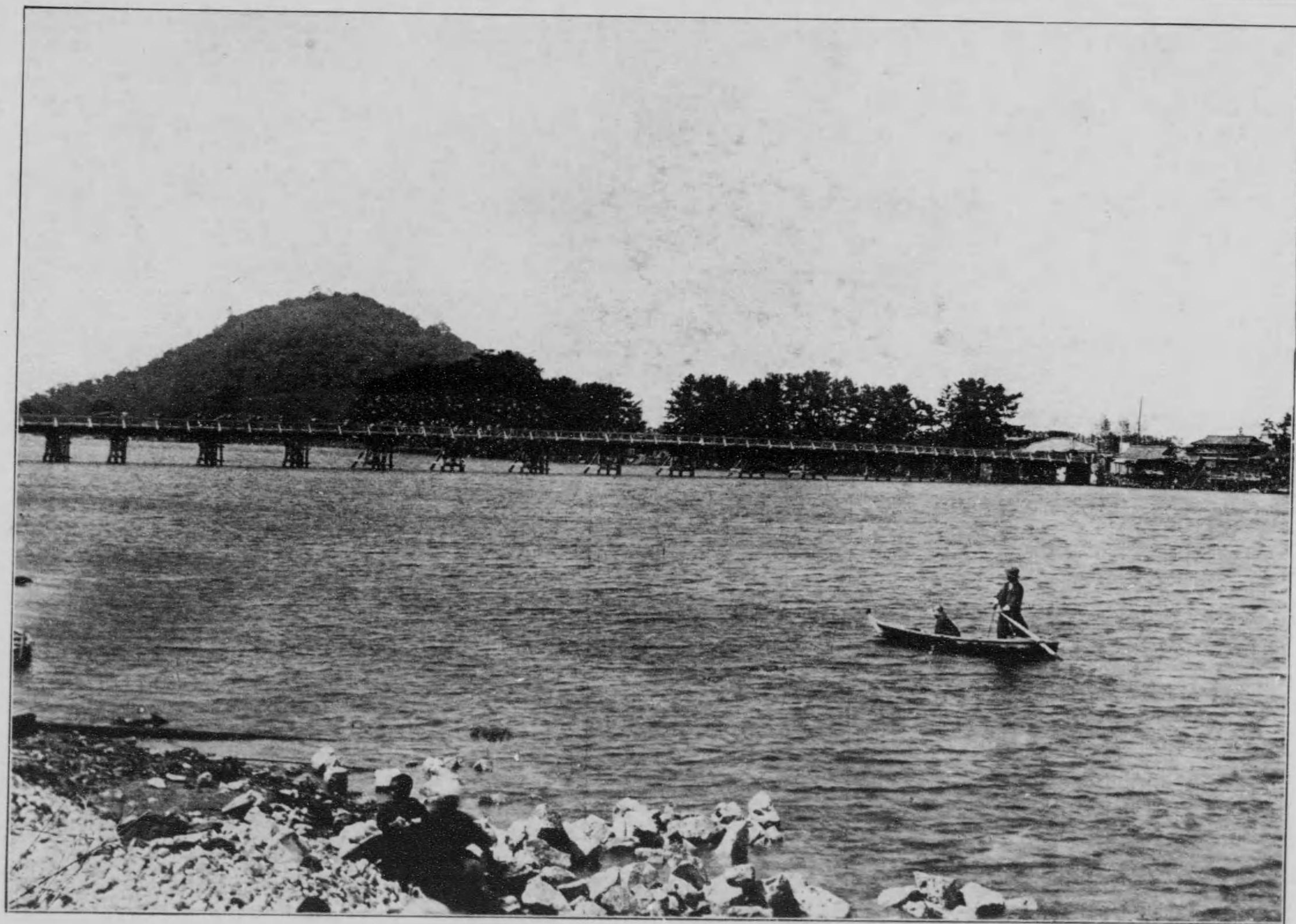
聖柿本人丸を祭れる所なり。昔は人丸塚と言ふもの今の城中に在りしとぞ。社前に盲杖櫻と呼ぶ一樹あり、盲人の挿し置きし杖なりしとして此名あり。

風光明媚。古來須磨と並び稱されて屢々詩歌の詠題に入る。殊に月と千鳥を以て名あり。潮聲白砂嘯く處松風絶えず采霞を傳ふ。明石湯とも呼ぶ垂見の島崎以西の曲浦を言ふ。蛭巖の詩に曰く「二十三年赤浦秋、瑤簫金管慣同遊、樽前無復專鱸思、轉巖如山月滿樓」人丸神社（小園）は明石大藏谷に在り。明石の浦を一眸に集む。別當を月照寺と云ふ。元和年中明石城を築かるゝ時此處に移さる、歌

之浜江、自由背廻而向倭、天皇遣舍人令還之、皇后不還、猶行之至山背河、即越那羅山、望葛城歌之、兎糞泥ふ、椰芥之呂俄波を、かはのほり云々」此川、古名を泉川とも言ふ。古來世に知られたる川にして流水玲瓏珠の如く、沿岸亦賞すべきの佳景多し。

（版 藏 氏 田 上 濱 横） The Akashi Sea-coast and Hitomaru Shrine, Harima.

阿武河玉江橋(長門)



阿武川は萩川又は大川とも呼ぶ。長門阿武郡の東堺嘉年村の山中に發し、南流應佐に至り西流地福村を経て又北折し篠目、生雲、吉部の諸溪流を併せて稍西北流し佐々並、明木の二川と合して萩町の東南に至り、二分して市街を抱きて海に入る。玉江橋は其河口に

架り、海に臨み萩城の西に位し、水趣風光亦三顧の價あり。而して北隣に櫻江を控へ八江名勝の一に數へらる。玉江の東北に倉江あり。所謂玉江秋月、倉江歸帆之なり。山縣周南の詩に「一碧瑠璃凝不流、波光始自月滿樓、笙歌忽入西風起、人住廣寒宮裡秋」

(版藏館眞寫巴萩) Tamaye Bridge over the Abu River, Nagato.

奥羽線本庄を距る十里。羽後街道の名驛象潟と相接す。地、島海山の西北に位し、西には怒濤澎湃たる日本海を控ふ。海岸到る處奇景に富むと雖も、交通不便にして且つ舟楫の利なく、唯僅に越羽の街道此處を過ぐるのみなるを以て、廣く世に知られず。若し男鹿半

上 濱 海 岸 (後 羽)



奥羽線本庄を距る十里。羽後街道の名驛象潟と相接す。地、鳥海山の西北に位し、西には怒濤澎湃たる日本海を控ふ。海岸到る處奇景に富むと雖も、交通不便にして且つ舟楫の利なく、唯僅に越羽の街道此處を過ぐるのみなるを以て、廣く世に知られず。若し男鹿半

島に遊ばく、旅序必ず訪ふべきの勝地なり。出羽新風土記に「戊辰の役、官軍、關中野澤小瀧等の諸村へ出張したるに、八月朔日、賊兵本道山手兩道より襲來る。中野澤村にて砲戰、官軍前後に敵を引受け、關村に撤兵防戦す。云々」とあるは此附近なり。

(版藏館眞寫山徳 濱上) Kamihama Shore, Ugo.

架り、海に臨み萩城の西に位し、水趣風光亦三顧の價あり。而して北陸に櫻江を控へ八江名勝の一に數へらる。玉江の東北に倉江あり。所謂玉江秋月、倉江歸帆之なり。山縣周南の詩に「一碧瑤瑤凝不流、波光始自月滿樓、笙歌忽入西風起、人住廣寒宮裡秋」